

令和6年度
大学院 シラバス

横浜創英大学
大学院看護学研究科

令和6年度 シラバス目次

(奇数偶数は西暦)

NO	授業科目	配当年次	頁
1	看護理論	1 前	1
2	看護研究の原理と方法	1 前	4
3	看護倫理学	1 前	6
4	看護教育学	1 後	8
5	看護マネジメント論	1 前	9
6	看護専門職論 (奇数年開講)	1 後	12
7	チーム医療実践論 (偶数年開講)	1 後	15
8	健康情報処理論	2 前	17
9	看護現象論 (偶数年開講)	1 前	19
10	ケア技術学特論Ⅰ	1 前	21
11	ケア技術学特論Ⅱ	1 後	23
12	ケア技術学特論Ⅲ	2 前	25
13	母性看護学特論Ⅰ	1 前	27
14	母性看護学特論Ⅱ	1 後	29
15	母性看護学特論Ⅲ	2 前	30
16	小児看護学特論Ⅰ	1 前	31
17	小児看護学特論Ⅱ	1 後	33
18	小児看護学特論Ⅲ	2 前	36
19	成人看護学特論Ⅰ	1 前	37
20	成人看護学特論Ⅱ	1 後	40
21	成人看護学特論Ⅲ	2 前	42
22	老年看護学特論Ⅰ	1 前	44
23	老年看護学特論Ⅱ	1 後	47
24	老年看護学特論Ⅲ	2 前	50
25	地域・在宅看護学特論Ⅰ	1 前	51
26	地域・在宅看護学特論Ⅱ	1 後	53
27	地域・在宅看護学特論Ⅲ	2 前	55
28	精神看護学特論Ⅰ	1 前	57
29	精神看護学特論Ⅱ	1 後	59
30	精神看護学特論Ⅲ	2 前	61
31	看護管理学特論Ⅰ	1 前	62
32	看護管理学特論Ⅱ	1 後	65
33	看護管理学特論Ⅲ	1 後	67
34	特別研究Ⅱ	2 通	69

講義科目名称： 看護理論

授業コード： 24MK101

英文科目名称： Nursing Theory

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	必修
担当教員			
鈴木 恵/大学院看護学研究科 横山 恵子/大学院看護学研究科 染谷 奈々子/大学院看護学研究科 西出 久美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・実践における様々な現象を言語化し判断することができる ・多様な対象に合わせた教育指導ができる ・研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ・組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を發揮することができる		
履修条件			
授業概要	看護理論の基本的構造を理解し、看護実践及び看護研究への適用について検討する。また、看護実践の基盤となる大理論、概念モデル、中範囲理論について理解し、看護実践上の現象について、理論を用いた考察を行う。		
履修目標	①質の高い看護実践を先導していく看護実践家として主要な看護理論を理解する。 ②看護実践の基盤となる看護理論を用いて、看護の実践上の現象を考察することができる。 ③看護研究、教育、看護実践を行う上での看護理論の必要性と有用性について述べるができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス、看護理論とは、看護理論の意義、看護理論の歴史、看護理論の評価、看護理論の分類；理論のレベル 1) 大理論、2) 中範囲理論、3) 状況特定看護実践を伝えてみよう 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	2	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 看護理論の分類；理論のレベル 1) 大理論、2) 中範囲理論、3) 状況特定 看護理論を使って看護実践を伝えてみよう 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	3	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 基礎看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	4	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 成人看護学領域（急性期・回復期）における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	5	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 成人看護学領域（急性期・回復期）における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	6	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 成人看護学領域（慢性期・終末期）における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	7	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 成人看護学領域（慢性期・終末期）における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
		授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分）	

	8	小児看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（９０分）
	9	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（９０分） 小児看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（９０分）
	10	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（９０分） 小児看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（９０分）
	11	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（９０分） 小児看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（９０分）
	12	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（９０分） 精神看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（９０分）
	13	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（９０分） 精神看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（９０分）
	14	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（９０分） 精神看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（９０分）
	15	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（９０分） まとめ 看護理論の看護実践への貢献：各自の課題レポートを基に発表・討議 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 課題レポートをまとめる。（９０分） 授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（９０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッション、プレゼンテーションを行う	
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法・評価割合・評価基準： ・授業への参加態度（30%）：自分の考えを述べ、討議に参加している。 ・プレゼンテーションの内容と発表および質疑応答の内容（30%）：資料の要点を整理し提示しており、質疑応答が明快である。 ・課題レポート（40%）：理論に関する文献レビューのクリティークの視点が明確に記載されている。	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	教科書 ・『看護理論家の業績と理論評価 第2版』筒井真優美編集(2020). 医学書院 参考書 ・『やさしく学ぶ看護理論(改訂4版)』黒田裕子監修(2016). 日総研. ・『Theoretical nursing; development & progress (Fourth Ed.). Philadelphia』Meleis, A. I. (2007). Lippincott Williams & Wilkins. ・『Concept development in nursing: Foundations, techniques, and applications (Sec. Ed.)』Rodgers, B. L. & Knafl, K. A. (2000). Philadelphia: W. B. SAUNDERS CO. ・『看護実践に活かす中範囲理論 第2版』野川道子編著(2016). メディカルフレンド社 ・フォーセット看護理論の分析と評価, 太田喜久子・筒井真優美（監訳）, 医学書院	
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師の臨床経験を有しており、授業では事例を通して生きた実践の知を踏まえた内容を伝えます。	

オフィスアワー・ 連絡先	木曜日13:00-18:00 連絡先：鈴木mail:msuzuki@soei.ac.jp 横山mail: kyokoyama@soei.ac.jp 西出mail: knishide@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	必修
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究科 染谷 奈々子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護における研究の意義と特徴を理解し、研究における理論・概念枠組み、研究デザイン、方法についての理解を深め、量的研究、質的研究の原則、特徴を学修する。また、統計の基礎を理解し、検定法やデータ解析法について学修する。さらに研究計画の立案プロセスおよび、倫理的配慮、文献のクリティークの方法などについて学修する。
履修目標	① 看護における基本的な研究デザインとその研究プロセスを説明できる ② 研究者の責任と倫理的配慮を説明できる ③ 研究論文をクリティークする方法を説明できる ④ 量的研究方法、統計の基礎と量的研究データ分析について説明できる ⑤ 質的研究方法における質的研究が理解できる ⑥ 研究計画書および修士論文の構成を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1 看護研究概論 (上條) 看護研究の目的、概念、 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 2 量的研究 (上條) 研究デザインと概念枠組み、方法の選択 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 3 量的研究 (上條) 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 4 量的研究 (上條) 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 5 量的研究 (上條) 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 6 量的研究 (上條) 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 7 量的研究 (上條) 量的研究の論文のクリティーク 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 8 量的研究 (上條) 量的研究の論文のクリティーク 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 9 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 10 質的研究

	その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	参加型の授業である。
課題のフィードバック方法と時期	授業内、e-mailなどで質問を受け付ける。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：量的研究課題 評価割合：50% 評価基準：課題の完成度 履修目標との対応：①②③④⑥ 評価方法：質的研究課題 評価割合：50% 評価基準：課題の完成度 履修目標との対応：①②③⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 系統看護学講座別巻 看護研究 医学書院 佐藤郁也. 質的データ分析法. 新曜社. 参考文献： D.F. ボーリット & B.P. ハングラー. 押尾祥子 他（訳）. 看護研究 原理と方法. 医学書院. 早川和生. JJMスペシャル看護研究の進め方 論文の書き方 第2版. 医学書院. その他適宜提示します。
実務経験のある教員による授業	看護師経験、および研究職の経験のある看護職による講義。
オフィスアワー・連絡先	e-mailによる事前連絡にて日時をちょうせいする 連絡先： 上條 ykamiyo@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	必修
担当教員			
横山 恵子/大学院看護学研究科 吉武 久美子 山本 洋美/大学院看護学研究科 佐野 望/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①実践における様々な現象を言語化し判断することができる ②多様な対象に合わせた教育指導ができる ③研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ④組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる		
履修条件	特になし		
授業概要	倫理とは何か、倫理学の系譜、法律と倫理の関係、応用倫理学・メタ倫理学について学修し、看護実践力向上に何故倫理学を学ぶことが重要かについて考察する。さらに、組織としての倫理的課題への対策・取り組み、倫理的意思決定支援のあり方についても考究する。		
履修目標	①倫理学の形成過程、看護倫理、倫理原則、倫理綱領等通して看護における倫理の課題分析ができる。 ②看護倫理に高い関心と親しみをもち、自己の実践を通して倫理的省察ができる。 ③法律と倫理の関係を事例を通して説明ができる。 ④看護における倫理、教育における倫理、研究における倫理について理解を深め、実践に活用できる。 ⑤倫理的視点から多様な看護場面に役割を探究できる。 ⑥病院や大学の倫理委員会の意義・役割・活動について理解し行動に移せる。		
授業計画・授業外学修課題	1	看護実践における倫理の基礎知識①・倫理とは、法と倫理 倫理理論とその歴史 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 過去の臨床経験で倫理的に気になった場面のメモをしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	2	看護実践における倫理の基礎知識②・倫理原則、倫理綱領 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 看護者の倫理綱領、倫理原則について読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	3	看護実践における多様な価値と意思決定①・自己決定論・インフォームド・コンセント 授業外事前学修課題：課題内容（時間） インフォームド・コンセントに関して過去に気になった場面についてメモしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	4	看護実践における多様な価値と意思決定②・患者の意思決定・代諾・ACP 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 患者の意思決定能力がない場合における看護者のジレンマを整理しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	5	看護実践における倫理的課題とその対応・倫理的課題解決の考え方とその方法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 臨床倫理4分割法、倫理的合意形成について読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	6	倫理的課題解決方法①ナラティブアプローチ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 倫理的に気になった事例について学生個人のナラティブを書いてまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	7	倫理的課題解決方法②・臨床倫理4分割法と倫理的合意形成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事例を読んで問いについて考えておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	8	看護研究における倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 看護研究と倫理についてまとめておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	

	9	家族看護における倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 生殖補助医療について予習しておく（90分）
	10	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 生命始期における倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 出生前診断、人工妊娠中絶について予習しておく（90分）
	11	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 倫理コンサルテーション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自身の倫理的ジレンマ事例についてまとめておく（90分）
	12	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 倫理コンサルテーション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自身の組織における倫理的取り組みをまとめておく（90分）
	13	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神科看護における倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 精神科看護における倫理的課題について調べておく（90分）
	14	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） エンド・オブ・ライフケアにおける倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） エンド・オブ・ライフケアにおけるジレンマ事例をまとめておく（90分）
	15	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 多職種協働の実践現場における倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 多職種協働における倫理的ジレンマ事例をまとめておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		事前課題のプレゼンテーションを教材とし、ディスカッション形式で学修する
課題のフィードバック方法と時期		授業内やGoogleClassroomを活用してフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：プレゼンテーションの資料と発表内容 評価割合：40% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑥ 評価方法：グループワークへの参加 評価割合：10% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑥ 評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		テキスト 吉武久美子「看護者のための倫理的合意形成の考え方・進め方」医学書院 2017. 参考文献 鶴若麻里・麻原きよみ編「ナラティブでみる看護倫理」南江堂 2013. Megan-Jane Johnstone, Bioethics: A Nursing Perspective 7e, Elsevier, 2019. トム・L・ビーチャム、ジェイムズ・F・チルドレス「生命医学倫理」麗澤大学出版会 2009. サラT. フライ他（片田範子他訳）「看護実践の倫理」第3版 日本看護協会出版会 2010. 日本看護協会 「看護倫理」 日本看護協会サイト 2020. 今井道夫「生命倫理学入門」第3版 産業図書 2011. バーナード・ロウ（北野喜良他監訳）「医療の倫理ジレンマ」西村書店 2003. 池永満「患者の権利」九州大学出版会 1997. アルバートR. ジョンセン（赤林朗他監訳）「臨床倫理学」新興医学出版社 2006. その他、適宜紹介する
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先	横山 恵子 メールアドレス kyokoyama@soei.ac.jp 吉武 久美子 メールアドレス yoshitake.kumiko@twmu.ac.jp 山本 洋美 メールアドレス hyamamoto@soei.ac.jp 佐野 望 メールアドレス nsano@soei.ac.jp	
備考		

講義科目名称： 看護教育学

授業コード： 24MK105

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	必修
担当教員			
山本 洋美/大学院看護学研究科 榊原 哲也 小林 貴子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護教育学に関する基本的な原理、教育制度、教育内容の変遷について理解した上で、人間に関する哲学的洞察を踏まえて、看護における教育とは何か、人の発達を促進すること、人を育てることとはどのようなことかについて考察する。また、クリティークの成果発表と議論を通して、実践的看護教育方法および教育評価について多角的に学修し、理解を深める。
履修目標	①人間についての哲学的洞察ができる。 ②看護教育に関連する様々な概念を理解できる。 ③現象学的視点から看護教育のあり方を考察できる。 ④看護教育の授業展開を支える理論を理解する。 ⑤看護教育カリキュラム・授業設計、教授方法、授業評価などに関する基礎知識を理解する。 ⑥実際に授業を展開し、評価できる。
授業計画・授業外学修課題	1 人間とは、人間に関する哲学的洞察を踏まえて、人間の成長や発達課題についてそして教育を考える 授業外事前学修課題：「現象学的人間論と看護」第2章を中心に、第1～第3章を読んで参加する 2 現象学的教育論 授業外事前学修課題：「現象学的人間論と看護」第2章を中心に、第1～第3章を読んで参加する 3 看護サービス提供場面を現象学的看護論から捉える① 授業外事前学修課題：「現象学的人間論と看護」第2章を中心に、第1～第3章を読んで参加する 4 看護サービス提供場面を現象学的看護論から捉える② 授業外事前学修課題：「現象学的人間論と看護」第2章を中心に、第1～第3章を読んで参加する 5 看護教育学と今日の課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6 看護学教育の新しいパラダイム① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7 看護学教育の新しいパラダイム② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8 看護教育制度、看護学教育課程、教育内容の変遷 授業外事前学修課題：「看護教育学」第1～3、5～6章を読み、プレゼンできるようにしておく。 9 看護学教育授業展開論① 授業外事前学修課題：「看護教育学」第1～3、5～6章を読み、プレゼンできるようにしておく。 10 看護学教育授業展開論② 授業外事前学修課題：「看護教育学」第1～3、5～6章を読み、プレゼンできるようにしておく。

	11	看護学教育授業展開論③ 授業外事前学修課題：「経験型実習教育」を読み、プレゼンできるようにしておく。
	12	看護学教育授業展開論④ 授業外事前学修課題：困った指導・教育場面の提示
	13	看護学教育授業展開論⑤ 授業外事前学修課題：困った指導・教育場面の提示
	14	授業展開の実際① 模擬授業 授業外事前学修課題：授業案の作成とその模擬授業（アクティブラーニング）を行い、相互評価する。
	15	授業展開の実際② 模擬授業 授業外事前学修課題：授業案の作成とその模擬授業（アクティブラーニング）を行い、相互評価する。
アクティブラーニングを用いた授業方法		
課題のフィードバック方法と時期		
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：課題のプレゼンテーション・討議 評価割合：50% 評価方法：授業案の作成・模擬授業 評価割合：50%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		・ベナー／ルーベル（難波卓志訳）現象学的人間論と看護 医学書院 ・杉森みど里 舟島なをみ著 看護教育学 医学書院 ・安酸史子、経験型実習教育、医学書院 ・E. オリヴィア・ペヴィス、ジーン・ワトソン：ケアリングカリキュラム、看護教育の新しいパラダイム、医学書院 その他授業時に提示、配布する。
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先		
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究所			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	今日の保健・医療・福祉を取り巻く社会状況や医療制度改革の背景を認識し、看護マネジメントの視点から、組織において看護専門職が果たす役割と課題を捉える。ケアサービスの対象とサービス提供者の特性を踏まえ、看護マネジメントの場をどのように創造していくか、組織分析の方法、人的資源活用、リーダーシップ等について学修し、ケア改善に向けた組織化・制度化、マネジメントの在り方や施策への提言等についての理解を深める。
履修目標	① 保健医療福祉制度、医療制度改革について理解し、今日的課題を踏まえ看護専門職の役割を追求する。 ② 組織運営に関連する理論や組織分析の手法を学び、医療サービスの向上について考察する。 ③ ケア改善に向けたマネジメントのあり方、効果的なリーダーシップ、看護政策への提言について考究する。
授業計画・授業外学修課題	1 看護管理学概論 看護管理学概論：管理過程、看護管理の要素とプロセス理論、看護提供方式について学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 2 組織管理論 組織理念、組織構造、組織文化、目標管理、マグネットホスピタルについて学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 3 組織管理論 組織分析、マーケティングについて学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 4 看護サービスと質管理 サービスの概念、医療・看護サービスの質管理、ドナベディアンズの医療の質、ベンチマーク、アウトカムマネジメントについて学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 5 看護制度・看護政策 診療報酬制度における看護の評価、看護職のための政策について学修し政策提言を考える 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 6 問題解決手法、目標設定 真の問題を探る方法、ギャップ分析の方法を学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 7 人的資源活用 グループマネジメント、ファシリテーション、チームビルディング、諸外国の勤務表について学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 8 人的資源活用 文献検討を行い最新の状況を把握する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 9 リーダーシップ理論

	リーダーシップとフォロワーシップについて、状況・場面における様々なリーダーシップ理論について学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） リーダーシップ理論 組織における看護の質向上のために必要なスキルとしてのリーダーシップとフォロワーシップについて学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） リーダーシップ理論 VUCAの時代のリーダーシップとフォロワーシップについて考える 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 医療安全学と看護の質管理 言葉の定義、最近の動向について学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 医療安全とその戦略 最近の動向について学修する（ナッジ理論、Safety1&Safety2） 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 看護専門職論 スペシャリストの育成と課題；高度専門看護師、CNS、NP、特定行為研修、外来看護師のスペシャリティ等について学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 看護管理学の課題 現在の看護管理学、施設の管理などの課題とその対策を考えてプレゼンテーションを行う 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読みプレゼンテーション準備をする（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	質疑、討論、プレゼンテーションを用いた授業である。
課題のフィードバック方法と時期	授業内、または授業外の質問などは電子メールでフィードバックする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：質疑・討論 評価割合：20% 評価基準：授業項目の内容に合っているか、今後に活かすことができるか。 履修目標との対応：①②③ 評価方法：プレゼンテーション・文献検討 評価割合：50% 評価基準：授業項目の内容に合っているか、今後に活かすことができるか。 履修目標との対応：①②③ 評価方法：レポートの内容 評価割合：30% 評価基準：授業項目の内容に合っているか、今後に活かすことができるか、新しい知見があるか。 履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：看護管理学習テキスト第3版 第1～4巻 日本看護協会出版会（2023） 参考文献：Avedis Donabedian（著），東尚弘（訳），医療の質の定義と評価方法，iHope.（2010） 見藤隆子，他．看護職者のための政策過程入門．日本看護協会出版会．（2017）
実務経験のある教員による授業	大学および大学院における看護管理学教育経験14年。認定看護管理者研修講師として13年。職場での管理職経験10年以上。
オフィスアワー・連絡先	メールによる事前連絡にて日時を調整する 連絡先（e-mail） ykamiyo@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
佐野 望/大学院看護学研究科 山口 智美/大学院看護学研究科 横山 恵子/大学院看護学研究科 山本 洋美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①多様な看護実践・看護教育の場で教育・研究的視点を持ち看護を創造することができる ②社会貢献を役割として地域医療の質向上に向けて看護実践力を発揮することができる ③組織の看護の向上に向けて役割を発揮することができる ④学問的裏付けに基づく看護管理力を発揮することができる		
履修条件	特になし		
授業概要	看護は実践の科学であり、看護の理論を基盤にして実践され研究されることによって学問的に体系化されていくことを理解する。また、看護専門職についての概念を理解し、看護実践者としての自己を省察し専門職の在り方について考察するとともに、看護が提供される対象や場に対し、質の改善に向けて実践する専門職の在り方を多面的に多様な立場から分析し、専門職としての責任を果たす能力の育成について考察する。		
履修目標	①看護は実践の科学であることを理解する ②看護実践と理論活用文献を検討し、看護実践上の課題を分析する ③看護実践者としての自己を省察し、専門職の在り方について考察できる ④看護のスペシャリストの現状について理解できる ⑤米国の看護の専門性について理解できる ⑥病院、福祉施設、在宅での看護の専門性や現状について理解できる		
授業計画・授業外学修課題	1	看護科学発展の歴史 実践の科学とは何か 授業外事前学修課題： 看護の専門性たる所以を整理する（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	2	看護における専門職性と看護専門職者の能力 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業テーマについて状況を把握し、A4用紙1枚にまとめて授業で発表できるようにする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	3	看護専門職として実践・指導に必要な理論と技術 授業外事前学修課題： 授業テーマについて状況を把握し、A4用紙1枚にまとめて授業で発表できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	4	看護専門職者の能力開発に関する文献検討 授業外事前学修課題： 授業テーマについて状況を把握し、A4用紙1枚にまとめて授業で発表できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	5	修士課程で習得すべき10の能力 授業外事前学修課題： 授業テーマについてのトピックスや状況を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	6	看護師の専門性（専門性と専門職） 授業外事前学修課題： 授業テーマについてのトピックスや状況を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	7	看護の専門職性に関する研究 授業外事前学修課題： 授業テーマについてのトピックスや状況を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	8	母性看護専門看護師の役割	

	9	授業外事前学修課題： 授業テーマについてのトピックスや状況を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 地域包括的ケアシステムにおける看護職の専門性と役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについての、最近の情勢（報道等）を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業に持参すること（90分）
	10	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 日本の健康課題と健康日本21（第2次）政策と看護職の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについての、最近の情勢（報道等）を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業に持参すること（90分）
	11	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 健やか親子21（第2次）・次世代育成支援における看護職の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについての、最近の情勢（報道等）を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業に持参すること（90分）
	12	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 専門職としてのコミュニケーション能力 授業外事前学修課題： 自己のコミュニケーションの特徴について、A4用紙1枚にまとめて授業に持参する（90分）
	13	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） メンタルヘルス問題を抱える人への支援 授業外事前学修課題： 関心のあるメンタルヘルス問題を調べ、A4用紙1枚にまとめて授業で報告する（90分）
	14	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 看護職の家族支援と自助グループの機能 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分）
	15	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神看護専門看護師の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	事前課題のプレゼンテーションを教材とし、ディスカッション形式で学修する	
課題のフィードバック方法と時期	授業内やGoogleClassroomを活用してフィードバックする	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：プレゼンテーションの資料と発表内容 評価割合：40% 評価基準：課題の内容が十分表現でき、ディスカッションの材料となれば60点 履修目標との対応：①～⑥ 評価方法：グループワークへの参加 評価割合：10% 評価基準：自己の体験を元に課題内容について発言し、他者の意見を聞きながら思考の深まりを表現できれば60点 履修目標との対応：①～⑥ 評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：授業内容を含め、さらに自己学習を加えてレポートでいれば60点 履修目標との対応：①～⑥	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する	
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う	
オフィスアワー・連絡先	横山 恵子 山口 智美 山本 洋美	メールアドレス kyokoyama@soei.ac.jp tyamaguchi@soei.ac.jp hyamamoto@soei.ac.jp

	佐野 望 メールアドレス sano@soei.ac.jp
備考	本科目は実務経験がない学生が入学した場合の必修科目である。看護実践学をふまえ各看護領域のスペシャリストから講義を受け広く看護の専門性について理解してもらえるよう組み立てている。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
山口 智美/大学院看護学研究科 西出 久美/大学院看護学研究科 山下 麻実/大学院看護学研究科 澤登 久雄 門倉 光隆			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	特になし
授業概要	医療を取り巻く環境と医療提供の変遷におけるチーム医療の形成過程および現状のチーム医療の課題について探求するとともに、保健・医療・福祉の連携と法理、施設内のチーム医療、専門職のチーム医療、他施設との連携等、チーム医療の意義と実態並びに多職種間の協働の促進について考察する。
履修目標	①保健医療福祉の連携と法理、施設内・外のチーム医療の現状と課題が理解できる。 ②チームを形成し、専門性の相違を尊重したうえで多職種間の協働についてデザインできる。 ③チーム医療と他職種間の協働の促進についてデザインできる。
授業計画・授業外学修課題	1 患者中心のチーム医療概論、チーム医療の変遷 「患者中心のチーム医療概論、チーム医療の変遷」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 2 あなたにとって「チーム医療」とは？ 「あなたにとって「チーム医療」とは？」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 3 チーム医療を構成する要素とその困難性 「チーム医療を構成する要素とその困難性」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 4 これからの「チーム医療」、その推進にむけて 「これからの「チーム医療」、その推進にむけて」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 5 医療効率・経済的視点のチーム医療 「医療効率・経済的視点のチーム医療」の講義を聞き、討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 6 チーム医療への期待と課題(Doctor's Viewpoints) 「チーム医療への期待と課題(Doctor's Viewpoints)」の講義を聞き、討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べる（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 7 小児看護におけるチーム医療① 「小児看護におけるチーム医療」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 8 小児看護におけるチーム医療② 「小児看護におけるチーム医療」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 9 がん看護とチーム医療① 「がん看護とチーム医療」について、各自のレポートを発表・討議を行う。

	授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） がん看護とチーム医療② 「がん看護とチーム医療」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 地域包括ケアと地域共生社会における連携・協働① 「地域包括ケアと地域共生社会における連携・協働」の講義を聞き、討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 地域包括ケアと地域共生社会における連携・協働② 「地域包括ケアと地域共生社会における連携・協働」の講義を聞き、討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 地域完結型医療でのチーム医療とは 「地域完結型医療でのチーム医療とは」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 保健医療福祉サービスの改革と求められる多職種連携 「保健医療福祉サービスの改革と求められる多職種連携」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） チーム医療の展望と今後の課題 「チーム医療の展望と今後の課題」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分）
10	
11	
12	
13	
14	
15	
アクティブラーニングを用いた授業方法	授業テーマについて各自がレポートを作成し、発表・討議を行う。
課題のフィードバック方法と時期	授業中の発表・討議の中でフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：文献を使用し、課題についてまとめ、自分の考えが述べられていれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇 評価方法：討議への参加度 評価割合：20% 評価基準：積極的に討議に参加すれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇 評価方法：課題作詞の資料 評価割合：50% 評価基準：レポートの書き方、文献の活用、要点を整理し、わかりやすく記載できていれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：10% 評価基準：課題について資料に基づき、時間内でわかりやすくプレゼンテーションできれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	参考書 水元清久ほか編著：実践チーム医療論（医歯薬出版株式会社） 篠田道子著：多職種連携を高めるチームマネジメントの知識とスキル（医学書院） 細田満知子著：「チーム医療」とは何か（日本看護協会出版会） 上記以外については、随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	それぞれの分野でチーム医療や多職種連携・協働の実践を経験をいかして講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	山口智美・山下麻実、西出久美：担当の初回授業で説明する。 門倉光隆・澤登久雄：授業時別途支持する。
備考	・自らの実践現場のチーム医療の現状を明らかにして、より効果的な実践に向けた戦略と一緒に学んでいけることを期待します。 ・臨床思考型研究能力を培うため実際に使用しているチーム医療の題材を収集しておくこと ・講義の進行、内容などは受講生との調整を行い一部変更の可能性がある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
後で入力			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	健康について学際的な視点から捉えるとともに、多様なデータを読み取り分析する能力を身につける。また、看護の対象に対して、疫学的な知識を活用して実践に応用する、さらに、研究において統計学的な視点から分析・評価できる力を修得する。
履修目標	看護の現場において、量的データを収集し、これを分析・評価することができるようになることを目指す。また、その結果を看護現場へ還元することで看護実践の向上に活かすことができる。
授業計画・授業外学修課題	1 保健統計学、健康情報とは 授業外事前学修課題：毎回事前に課題を提示する。 2 根拠に基づく医療・看護の実践 3 データの特徴とその読み取り① 尺度の種類と特徴 4 データの特徴とその読み取り② 5 研究デザイン① 記述統計学・生態学研究 6 研究デザイン② 症例対象研究・コホート研究 7 アンケート調査とその処理 8 心理・調査データの解析 尺度とは 9 因果関係と相関関係 10 健康情報処理演習①；SPSSを用いたデータ分析 項目分析 相関 11 健康情報処理演習②；SPSSを用いたデータ分析 t検定 χ^2検定 12 健康情報処理演習③；SPSSを用いたデータ分析 多変量分散分析 13 健康情報処理演習④；SPSSを用いたデータ分析 因子分析 14 健康情報処理演習⑤；Amosを用いたデータ分析 15 健康情報と看護への活用
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：授業の事前準備 評価割合：10% 評価方法：質疑・討論 評価割合：20% 評価方法：SPSSによる課題提出 評価割合：50%

	評価方法：レポート 評価割合：20%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	参考文献は適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
榊原 哲也			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護がどのような人間の営みであるのかを、近年、看護実践における質的研究で注目されている現象学という哲学の思想を手がかりに見つめ直す。また人と人が複雑に関わり合う看護ケアの場面において、その人が経験している意味世界に関心を向け、現象の本質を解き明かす試みを展開する。
履修目標	①人々を全人的に理解し尊重する在り方について考え、説明できる。 ②看護ケアの営みを考えるための現象学の思想について、その基本的な論点を説明できる。 ③看護ケアの場面におけるその人の経験の意味を考え、討論することができる。
授業計画・授業外学修課題	1 イントロダクション：ケアの本質 「ケアの本質」を読んでおく 2 看護の臨床判断のプロセス：倫理的基盤としてのケアリング 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 3 ケアの場面で何が起きているのか：病いの語り 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 4 ケアの場面で何が起きているのか：ケアリングにおける身体観/ホリスティック・コミュニケーション 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 5 看護のための現象学 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 6 「疾患」と「病い」：人はどのように病気を経験するのか 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 7 自然科学的思考とその問題点 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 8 「病い」体験を理解するために：現象学という哲学の導入 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 9 フッサールの現象学：人は意味の世界に生きている 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 10 ハイデガーの現象学：人間の本質はケアすることにある 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 11 ハイデガーの現象学：この世に生まれ、生き、そして死ぬということ 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 12 メルロ＝ポンティの現象学：身体の働き 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 13 事例提示と討論：現象学的還元を試み看護ケアの場面におけるその人の経験の意味を解き明かし、確信として成立している構造やパターン（本質観取）について討論する 人との関わりのなかで遭遇した、生きてゆくことへの苦悩など、その人の意識に生じた現象とその意味について、事例として提示できるようにしておく。 14 事例提示と討論：現象学的還元を試み看護ケアの場面におけるその人の経験の意味を解き明かし、確信として成立している構造やパターン（本質観取）について討論する 人との関わりのなかで遭遇した、生きてゆくことへの苦悩など、その人の意識に生じた現象とその意味について、事例として提示できるようにしておく。 15 事例提示と討論：現象学的還元を試み看護ケアの場面におけるその人の経験の意味を解き明かし、確信として成立している構造やパターン（本質観取）について討論する 人との関わりのなかで遭遇した、生きてゆくことへの苦悩など、その人の意識に生じた現象とその意味について、事例として提示できるようにしておく。
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学	討議への取り組み30% 課題レポート70%

修到達目標との対応	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	榊原哲也（2018）．医療ケアを問いなおす―患者をトータルにみることの現象学．ちくま新書． 西村ユミ・榊原哲也編著（2017）．ケアの実践とは何か：現象学からの質的研究アプローチ．ナカニシヤ出版． Benner, P. & Wrubel, J, (1989)／難波卓志訳（1999）．現象学的人間論と看護．医学書院． Arthur Kleinman（1989）／江口重幸・上野豪志・五木田紳訳（1996）．病いの語り．誠信書房． Milton Mayeroff（1971）／山村真・向野亘之訳（1987）．ケアの本質．ゆみる出版
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	本授業の履修に先立ち、共通科目の「看護教育学」を履修していることが望ましい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2 単位	選択
担当教員			
鈴木 恵/大学院看護学研究科 本多和子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・実践における様々な現象を言語化し判断することができる ・研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ・組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる		
履修条件	特になし		
授業概要	ケアの本質について考察し、研究の動向を概観する。 自身が経験した中で、着目すべき看護現象を探索し、その現象の中にある問題と、その問題を解決するための看護支援を抽出し、その支援の目的、支援のプロセスと構造、周囲の環境、実施する際の倫理上の懸念事項等について、実践のあり方を文献精読とディスカッションを通じて探究する。		
履修目標	①ケアの本質について、関連する内外の文献を通して理解する ②自身が経験した中で、着目すべき看護現象の中にある問題と、その問題を解決するための看護支援を抽出する。 ③着目すべき看護現象に対する支援の目的、支援のプロセスと構造、周囲の環境、実施する際の倫理上の懸念事項等について明確にし、実践のあり方を探求できる。		
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス・文献検索方法についてケアの本質について看護技術について 担当：鈴木 授業外事前学修課題：シラバスを読み、講義目標と内容を理解する（60分） 授業外事後学修課題：授業内容の理解を深め、自身の中で不足する学習内容を補完する（90分） 2 ケアの本質について看護技術について 担当：鈴木 授業外事前学修課題：ケアの本質について考察してくる（60分） 授業外事後学修課題：授業内容の理解を深め、自身の中で不足する学習内容を補完する（90分） 3 看護技術における今日的課題と看護職の役割 担当：鈴木 授業外事前学修課題：看護技術における今日的課題と看護職の役割について調べる（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークから看護技術における今日的課題と看護職の役割について学習内容を補完する（90分） 4 看護技術における今日的課題と看護職の役割 担当：鈴木 授業外事前学修課題：看護技術における今日的課題と看護職の役割について調べる（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークから看護技術における今日的課題と看護職の役割について学習内容を補完する（90分） 5 死にゆく人へのケア 担当：鈴木 授業外事前学修課題：死にゆく人へのケアについて看護職の役割を考察する（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、書籍や資料を考察し学習内容を補完する（90分） 6 死にゆく人へのケア 担当：鈴木 授業外事前学修課題：死にゆく人へのケアについて看護職の役割を考察する（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、書籍や資料を考察し学習内容を補完する（90分） 7 自身が経験した中で、着目すべき看護現象を探索し、その現象の中にある問題と、その問題を解決するための看護支援を抽出する。 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索しクリティークする（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークを深め看護現象について学習内容を補完する（90分） 8 関心のある看護支援の目的、支援のプロセスと構造について、実践のあり方を探究する。 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し実践のあり方を探求する（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークを深め看護現象について学習内容を補完する（90分） 9 関心のある看護支援の目的、支援のプロセスと構造について、実践のあり方を探究する。 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し実践のあり方を探求する（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークを深め看護現象について		

	1 0 学習内容を補完する（90分） 関心のある看護支援の周囲の環境、実施する際の倫理上の懸念事項等について、実践のあり方を探究する。 担当：本多 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し実践のあり方を探求する（90分） 1 1 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークを深め看護現象について学習内容を補完する（90分） 関心のある看護支援の周囲の環境、実施する際の倫理上の懸念事項等について、実践のあり方を探究する。 担当：本多 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し実践のあり方を探求する（90分） 1 2 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークを深め看護現象について学習内容を補完する（90分） 自身の関心がある看護支援上の課題について、文献や書籍等から現状を把握し、その動向を明らかにして発表する 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探し精読する（90分） 1 3 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、学習内容を補完する（90分） 自身の関心がある看護支援上の課題について、文献や書籍等から現状を把握し、その動向を明らかにして発表する 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探し精読する（90分） 1 4 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、学習内容を補完する（90分） 関心のある看護支援の現時点でのエビデンスを明らかにし、今後の研究の方向性について探究する。 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し現時点でのエビデンスを明らかにする（90分） 1 5 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看護現象について研究の方向性について学習内容を補完する（90分） 関心のある看護支援の現時点でのエビデンスを明らかにし、今後の研究の方向性について探究する。 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し現時点でのエビデンスを明らかにする（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看護現象について研究の方向性について学習内容を補完する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	プレゼンテーションとディスカッション
課題のフィードバック方法と時期	プレゼンテーションとディスカッションとディスカッションの後に、フィードバック・講評をする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題資料の作成とプレゼンテーション、レポート 評価割合：資料作成とプレゼンテーション50%、レポート50%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	日本看護技術学会誌、日本看護科学学会誌、日本看護学教育学会誌等から論文を紹介する。 参考図書： 川島みどり著：看護技術の現在 勁草書房 ミルトン・メイヤロフ著：ケアの本質 その他、講義に関連するテキストや文献を随時提示する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床経験、教員としての研究実績を活かした講義演習を行います。
オフィスアワー・連絡先	木曜日：9:00-12:00 連絡先：msuzuki@soei.ac.jp
備考	受講者によるプレゼンテーション、ディスカッションを中心にすすめるので準備学習を行い授業に参加してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2 単位	選択
担当教員			
鈴木 恵/大学院看護学研究科 本多和子/大学院看護研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・実践における様々な現象を言語化し判断することができる ・研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ・組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる		
履修条件	特になし		
授業概要	人生の最期に関わるケアについて、関連する諸理論や研究論文のレビューとクリティークをとおして、多角的に探求、考察する。		
履修目標	1. 人生の最期に関わるケアについて研究論文をクリティーク及びプレゼンテーションし、討議できる。 2. 人生の最期に関わるケアについて知識を深め、より質の高い看取りケアの実践について考察できる 3. 看取りの実践の場で対応する多職種の役割を認識し、円滑な連携について考察できる。 4. 人生の最期に関わるケアについて言語化し、探求できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	看取りを取り巻く日本の状況 担当：鈴木 授業外事前学修課題：看取りを取り巻く日本の状況について調べる（90分） 授業外事後学修課題：看取りを取り巻く日本の状況についてまとめる（90分）	
	2	死を迎える人の身体的・心理的变化 担当：鈴木 授業外事前学修課題：死を迎える人の身体的・心理的变化について調べる（90分） 授業外事後学修課題：死を迎える人の身体的・心理的变化についてまとめる（90分）	
	3	終末期の痛みや不安感への対応 担当：鈴木 授業外事前学修課題：終末期の痛みや不安感への対応について調べる（90分） 授業外事後学修課題：終末期の痛みや不安感への対応についてまとめる（90分）	
	4	終末期の食べること（食べられないこと）への対応 担当：鈴木 授業外事前学修課題：終末期の食べること（食べられないこと）への対応について調べる（90分） 授業外事後学修課題：終末期の食べること（食べられないこと）への対応についてまとめる（90分）	
	5	人生の最期に関わるケア： がん患者 担当：本多 授業外事前学修課題：がん患者の人生の最期に関わるケアについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：がん患者の人生の最期に関わるケアについてまとめる（90分）	
	6	人生の最期に関わるケア： がん患者 担当：本多 授業外事前学修課題：がん患者の人生の最期に関わるケアについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：がん患者の人生の最期に関わるケアについてまとめる（90分）	
	7	人生の最期に関わるケア： 地域で暮らす高齢者 担当：鈴木 授業外事前学修課題：地域で暮らす高齢者の人生の最期に関わるケアについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：地域で暮らす高齢者の人生の最期に関わるケアについてまとめる（90分）	
	8	人生の最期に関わるケア： 地域で暮らす高齢者 担当：鈴木 授業外事前学修課題：地域で暮らす高齢者の人生の最期に関わるケアについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：地域で暮らす高齢者の人生の最期に関わるケアについてまとめる（90分）	
	9	人生の最期のケアについてコーチングの視点から考える 担当：鈴木 授業外事前学修課題：事前資料を熟読しわからない言葉について調べる（90分） 授業外事後学修課題：コーチングの視点から人生の最後のケアについて考察を深める（90分）	
	10	人生の最期のケアについてコーチングの視点から考える 担当：鈴木 授業外事前学修課題：事前資料を熟読しわからない言葉について調べる（90分） 授業外事後学修課題：コーチングの視点から人生の最後のケアについて考察を深める（90分）	
	11	関心のある看取りケアの現時点でのエビデンスを明らかにし、今後の研究の方向性について探究するとともに、人生の最期のケアについて、看護師が果たすべき役割と支援について考える 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看取りケアを含む文献を探索し現時点でのエビデンスを明らかにする（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看取りケアに関する研究の方向性について	

	1 2 学習内容を補完する（90分） 関心のある看取りケアの現時点でのエビデンスを明らかにし、今後の研究の方向性について探究するとともに、人生の最期のケアについて、看護師が果たすべき役割と支援について考える 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看取りケアを含む文献を探索し現時点でのエビデンスを明らかにする（90分） 1 3 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看取りケアに関する研究の方向性について学習内容を補完する（90分） 事例学習：看取りケアについて、看護師が果たすべき役割を理解し、模擬的に支援計画を立案する 担当：鈴木 授業外事前学修課題：自身で検討する事例を作成もしくは選定する（90分） 1 4 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看取りケアに関する学習内容を補完する（90分） 事例学習：看取りケアについて、看護師が果たすべき役割を理解し、模擬的に支援計画を立案する 担当：鈴木 授業外事前学修課題：自身で検討する事例を作成もしくは選定する（90分） 1 5 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看取りケアに関する学習内容を補完する（90分） 事例学習：看取りケアについて、看護師が果たすべき役割を理解し、模擬的に支援計画を立案する 担当：鈴木 授業外事前学修課題：自身で検討する事例を作成もしくは選定する（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看取りケアに関する学習内容を補完する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	プレゼンテーションとディスカッション
課題のフィードバック方法と時期	プレゼンテーションとディスカッション後に、フィードバック・講評をする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題資料の作成とプレゼンテーション、レポート 評価割合：資料作成とプレゼンテーション50%、レポート50%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	日本看護技術学会誌、日本看護科学学会誌、日本看護学教育学会誌等から論文を紹介する。 参考図書・資料： E・キューブラーロス 死ぬ瞬間 柏木哲夫 死にゆく人々のケア 日本財団 人生の最後の迎え方に関する全国調査、日本財団. 2021 その他、講義に関連するテキストや文献を随時提示する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床経験、教員としての研究実績を活かした講義演習を行います。
オフィスアワー・連絡先	木曜日：9:00-12:00 連絡先：msuzuki@soei.ac.jp
備考	受講者によるプレゼンテーション、ディスカッションを中心にすすめるので準備学習を行い授業に参加してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
鈴木 恵/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・実践における様々な現象を言語化し判断することができる ・研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ・組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を發揮することができる		
履修条件	特になし		
授業概要	対象の生活の拠点を基盤として、全人的ケアに取り組んでいる施設に出向いて視察し、ケア要素と提供システムについて理解し、質の高い看護師の専門的実践能力のあり方について探求する。		
履修目標	①自身の研究課題に関連した臨床現場における現状を理解する ②臨地実習を通して、看護ケアの実践例とその利点・課題を述べられる ③臨地実習を通して、質の高い看護実践について考察できる ④臨地実習を通して、自己の研究課題の妥当性や実現可能性を検討し、研究内容を具体化することができる		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンスと実習計画立案 授業外事前学修課題：ケア技術特論ⅠⅡで学んだことを基盤として、実習を依頼する施設を調べてくる（90分）	
	2	授業外事後学修課題：実習計画の洗練（90分） 実習計画立案 授業外事前学修課題：ケア技術特論ⅠⅡで学んだことを基盤として、実習を依頼する施設を調べてくる（90分）	
	3	授業外事後学修課題：実習計画の洗練（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	4	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	5	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	6	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	7	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	8	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	9	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	10	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	11	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	12	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分） 授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分）	

	13 実習計画に沿って実習を实践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分） 14 授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実践プロセスにおいて、自身の研究についての関心を見出し、研究内容を洗練させる 授業外事前学修課題：質の高い看護実践について、文献を踏まえて検討する（90分） 15 授業外事後学修課題：研究内容について考察するとともに、質の高い看護実践についてレポートを作成する（90分） 実践プロセスにおいて、自身の研究についての関心を見出し、研究内容を洗練させる 授業外事前学修課題：質の高い看護実践について、文献を踏まえて検討する（90分） 授業外事後学修課題：研究内容について考察するとともに、質の高い看護実践についてレポートを作成する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	実習中のカンファレンスやディスカッション
課題のフィードバック方法と時期	ディスカッション後に、フィードバック・講評をする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：演習、カンファレンスやディスカッション、レポート 評価割合：演習内容40%、カンファレンスやディスカッション20%、レポート40%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	特に指定しない。 必要時提示する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床経験、教員としての研究実績を活かし演習を支援します。
オフィスアワー・連絡先	木曜日：9:00-12:00 連絡先：msuzuki@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
山本 洋美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	女性の発達段階の各期の特徴と健康問題を分析し、母性看護学で適用される理論をふまえ、女性やその家族に生じている様々な健康問題を認識し、今日的な課題を把握する。また、課題を解決するための理論、実践方法、研究方法を研究論文野検討を通して探求する。
履修目標	①女性やその家族の健康問題を適切に把握、分析するための理論を学ぶ ②女性やその家族の健康に影響する諸因子と今日的な健康問題を学ぶ ③女性やその家族の健康課題の解決に際して、高度な看護実践を行うための理論、個別性に応じた看護実践の方法、研究方法を文献検討を通して考察する。
授業計画・授業外学修課題	1・2 母性看護に関する研究文献の検索と活用 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 3・4 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 女性の発達段階の各期の特徴と健康問題 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 5・6 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 女性の健康に影響を及ぼす諸因子と今日的な健康課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 7・8 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 璃ブラダくていぶ・ヘルス／ライツの概念と母性看護 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 9・10 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） ジェンダー・しえくしゅアリティの視点と母子看護 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 11・12 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） ヘルスプロモーション理論と母性看護 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 13～26 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 母親役割、プレコンセプション、パートナーシップ、周産期メンタルヘルス等母性看護特有の理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 27・28 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 母子保健医療福祉制度、女性の健康政策、ヘルスケアシステム 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 29・30 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 母性看護における今日的課題と看護職の役割、多職種連携 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ディスカッションをとおして課題や問題を明確にする
課題のフィードバック方法と時期	

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：プレゼンテーション、課題レポート、その他（参加度、予習・復習） 評価割合：プレゼンテーション30%、課題レポート30%、その他40% 評価基準： 履修目標との対応：
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する
実務経験のある教員による授業	看護師・助産師・保健師経験、研究指導の経験や査読経験がある。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
山本 洋美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	母性看護学特論Ⅱ看護学における看護論文オ文献レビュー、クリティーク、プレゼンテーション、ディスカッションを通して、様々な研究課題を論理的・批判的・分析的に探求する。母性看護学における研究方法とその課題及び展墓について検討し、事故の研究課題に関連付けて探求する。
履修目標	①研究論文の文献レビュー、クリティークの目的と方法を習得できる ②研究の目的を明確にし母性看護学特有の研究問題を定義できる。 ③PICO/PECOの要素を考慮しながら、研究デザインを決定できる ④研究プロトコルを作成することができる ⑤自己の研究課題に関連付けたプレゼンテーション、ディスカッションができる ⑥母性看護学特有の倫理観について探求できる
授業計画・授業外学修課題	1・2 研究論文のレビュー・クリティーク 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 3～20 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） プレコンセプションケア、周産期メンタルヘルス、妊娠・出産・育児期のケア、母性看護学における研究論文クリティーク 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 21～24 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） PICO/PECO、研究プロトコルの作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 25～28 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 母性看護学における研究方法（量的・質的研究） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 29・30 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 母性看護学の研究の動向と自己の研究課題に関する考察 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ディスカッションをとおして課題や問題を明確にする
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：プレゼンテーション、課題レポート、その他（参加度、予習・復習） 評価割合：プレゼンテーション30%、課題レポート30%、その他40% 履修目標との対応：
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する
実務経験のある教員による授業	看護師・助産師・保健師経験、研究指導の経験や査読経験がある。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する
備考	

講義科目名称： 母性看護学特論Ⅲ

授業コード： 24MS113

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
山本 洋美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	母性看護の対象に実践看護学分野の諸理論やエビデンスに基づく臨床判断のもとに専門的知識・技術を適用し、看護実践を行うことによって健康問題を専門的・統合的にとらえ、看護実践の質向上に向けた看護について追求する
履修目標	①母性看護学の対象及び場の特徴を把握し、対象の健康問題をアセスメントできる ②母性看護学の視点から対象の問題解決策を立案できる ③女性・子どもと家族に対して適切な理論を活用した看護援助を実践し、評価できる ④女性・子どもと家族に対する看護実践をとおして研究課題を見出すことができる ⑤実習を通して専門性の追求や質の高い看護実践について考察できる
授業計画・授業外学修課題	実習期間；2週間 実習の進め方： 共通科目、母性看護学特論Ⅰ及び特論Ⅱで履修したことを基盤として医療施設において実習を行う。 1. 母性看護の教員と相談し、実習計画を立案する 2. 母性看護学の専門的な視点から看護の対象に看護過程を展開する 3. 看護実践のプロセスにおいて自ら研究への関心を見出す 4. 実習を通して専門性の追究や質の高い看護実践にいて文献をふまえて考察し、レポートを作成する 授業外事前学修課題：課題内容（時間）学習課題について資料を作成する（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）実習内容がわかる記録物やカンファレンス資料を提出し、教員から助言を受けて修正する（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ディスカッションをとおして課題や問題を明確にする
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：プレゼンテーション、課題レポート、その他（参加度、予習・復習） 評価割合：プレゼンテーション30%、課題レポート30%、その他40% 履修目標との対応： ※適宜追加してください
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する
実務経験のある教員による授業	看護師・助産師・保健師経験、研究指導の経験や査読経験がある。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
染谷 奈々子/大学院看護学研究科 山下 麻実/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	小児医療や小児看護の現状や課題について学び、子どもと家族の成長・発達や生活環境について理解し、変化する社会の中で子どもと家族が抱える課題について検討する。また、子どもとその家族が置かれているさまざまな状況を理解し、成長発達各期における子ども、親子関係、家族関係、さらに健康問題のある子どもと家族への看護援助の在り方を理論的視点から考察する。
履修目標	①子どもの成長発達に関する理論を理解できる。 ②子どもをケアするうえで必要な理論・概念を理解できる。 ③小児政策や小児看護の現状と課題について理解できる。 ④子どもの理解や看護援助に理論をどのように活用できるかを理解できる。
授業計画・授業外学修課題	1 イントロダクション 子どもを取り巻く環境の変化と健康課題 課題は、事前に提示する 2 文献を活用し概要を把握しておく こども観の変遷と小児看護 課題は、事前に提示する 3 文献を活用し概要を把握しておく 医療政策からみた小児看護学の課題；主な母子保健対策，学校保健対策 課題は、事前に提示する 4 文献を活用し概要を把握しておく 医療政策からみた小児看護学の課題；事故防止，予防接種，児童虐待 課題は、事前に提示する 5 文献を活用し概要を把握しておく 子どもの成長発達に関する理論の理解 愛着・親子関係理論 課題は、事前に提示する 6 文献を活用し概要を把握しておく 子どもの成長発達に関する理論の理解 自我・社会性の発達理論 課題は、事前に提示する 7 文献を活用し概要を把握しておく 子どもの成長発達に関する理論の理解 認知理論 課題は、事前に提示する 8 文献を活用し概要を把握しておく 子どもの成長発達とは；概念や原則，影響因子 課題は、事前に提示する 9 文献を活用し概要を把握しておく 子どもとその家族への看護実践に必要な理論 家族発達理論 課題は、事前に提示する 10 文献を活用し概要を把握しておく 子どもとその家族への看護実践に必要な理論 家族システム理論 課題は、事前に提示する 11 文献を活用し概要を把握しておく 子どもとその家族への看護実践に必要な理論 家族ストレス・対処理論 課題は、事前に提示する 12 文献を活用し概要を把握しておく 子どもとその家族への看護実践に必要な理論 エンパワメントモデル，カリガリー家族アセスメントモデル 課題は、事前に提示する 文献を活用し概要を把握しておく

	13	家族支援の実際 課題は、事前に提示する
	14	文献を活用し概要を把握しておく 諸外国の子育て支援の実際と日本の子育て支援の現状課題 課題は、事前に提示する
	15	文献を活用し概要を把握しておく まとめ：子どもの理解や看護援助に各理論をどのように活用できるかディスカッションする 課題は、事前に提示する 文献を活用し概要を把握しておく
アクティブラーニングを用いた授業方法		
課題のフィードバック方法と時期		
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：討議への参加態度 評価割合：20% 評価方法：課題資料提出 評価割合：20% 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：30% 評価方法：課題レポート 評価割合：30%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		適宜提示する
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先		
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
染谷 奈々子/大学院看護学研究科 山下 麻実/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	多様な対象に合わせた教育指導ができる。 研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる。		
履修条件			
授業概要	小児看護がもつさまざまな課題を医療・保健・福祉・教育など広い視野から理解し、子どもとその家族の健康保持増進・健康の回復のための健康問題をアセスメントし、その支援の在り方について研究論文の検討を通して子どもと家族の効果的な看護援助の方法や研究方法について探求する。また、関連諸領域の研究のクリティックを行い小児看護学領域の研究の動向と課題を検討し考察する。		
履修目標	①子どもたちをとりまく現状と課題について研究論文等から分析し、小児看護における課題について理解できる。 ②子どもの発達段階別の健康課題や健康問題についてアセスメントし、自らの小児看護の役割について説明できる。 ③研究課題に関連する小児看護に関する知識を確実なものとして修得する方法が説明できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	イントロダクション 子ども発達段階および発達課題に関する論文を購読する 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	2	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達に関連する理論とその活用 1 総論 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	3	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達に関連する理論とその活用 2 各論；フロイト、エリクソン 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	4	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達に関連する理論とその活用 3 各論；ピアジェ 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	5	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達と家族発達に関連する理論とその活用 1；システム理論・家族発達理論 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	6	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達と家族発達に関連する理論とその活用 2；カルガリー家族アセスメント 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	7	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達と家族発達に関連する理論とその活用 3；カルガリー家族アセスメント 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。	

	受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 小児看護における実践 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 注目される小児看護トピックス 1 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 注目される小児看護トピックス 2 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 小児看護におけるマネジメントと看護の役割 1 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 小児看護におけるマネジメントと看護の役割 2 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 小児看護の専門性の確保 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 小児看護の学会活動、社会的役割の意義 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 まとめ 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ形式でおこなう。 各回のテーマに基づいて学生がプレゼンテーション資料を作成する。 そのプレゼンテーションをもとに参加者でディスカッションをする。
課題のフィードバック方法と時期	プレゼンテーションやディスカッションの課題はタイムリーにフィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：討議への参加態度 評価割合：20% 評価方法：課題資料の提出 評価割合：20%

	評価方法：プレゼンテーション 評価割合：30% 評価方法：課題レポート 評価割合：30%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	山下 麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 必要時、アポイントメントを取ってください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
染谷 奈々子/大学院看護学研究科 山下 麻実/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	小児の発達段階各期の特徴と健康問題を分析し、小児の臨床現場における個人及び家族等が抱える問題を明らかにして看護実践を行うことにより、小児とその家族への質の高い看護実践を探究する。
履修目標	①発達段階各期の特徴と健康問題を分析し、臨床現場における個人及び家族等が抱える問題を把握して、対象である小児と家族の健康問題をアセスメントできる。 ②小児看護学の視点から、対象である小児と家族の問題解決策を立案できる。 ③対象に対して看護実践するにあたって、適切な理論を活用した看護援助を実施し、評価できる。 ④実習での看護実践を通して、研究課題を明らかにすることができる。 ⑤実習を通して、専門性の追求および質の高い看護実践について考察でき、小児看護学で用いられる理論を踏まえて課題を把握する。また、理論や実践方法、研究方法を研究論文の検討を通して探究し、実践に応用できる。
授業計画・授業外学修課題	<実習期間：2週間> 1. 共通科目、小児看護学特論Ⅰおよび小児看護学特論Ⅱで履修し学んだことを基盤として、小児看護の臨床現場において実習を行う。2. 小児看護学の専門的な視点から、対象である小児と家族に看護援助を実践する。なお、小児看護学の指導教員と相談して実習計画を立案し、看護を実践する。 指定するテーマに関する資料や論文を用いてプレゼンテーションおよび討議の準備をする (英文抄読を含む) <実習の進め方> 3. .実習を通して、小児看護の専門性の追求や質の高い看護実践について文献を踏まえて考察し、レポートを作成する。4. 看護実践のプロセスにおいて、自らの研究についての関心を見出す。5. 作成した実習計画に基づいて実習を進める。なお、自らの看護実践を振り返って評価し、適宜実習指導者および教員とカンファレンスを行うなどして、学生自身が主体的に計画・運営する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	実習・ゼミ形式でおこなう。 研究テーマに基づいて学生が実習計画を作成し実習に臨む。 実習後は成果と課題をプレゼンテーションし、参加者でディスカッションをする。
課題のフィードバック方法と時期	プレゼンテーションやディスカッションの課題はタイムリーにフィードバックします。 実習終了時には学内で、実習全体を通したフィードバックを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題の準備・討議への参加度 評価割合：40% 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：30% 評価方法：課題レポート 評価割合：30%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	山下 麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 必要時、アポイントメントを取ってください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
西出 久美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1) 実践における様々な現象を言語化し判断することができる。 2) 多様な対象に合わせた教育指導ができる。 3) 研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる。 4) 組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる。		
履修条件	専門科目の中で専攻領域の特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの他、専攻以外の領域の特論から1科目2単位以上を履修してください。看護管理学以外の専攻領域を選択する場合、特論Ⅰ、特論Ⅱ、特論Ⅲは、特論Ⅰから先に履修し、特論Ⅲは、当該専攻領域のみ履修可能です。		
授業概要	成人期にある人の看護援助を行うために必要となる看護理論を理解する。成人期の書く健康レベル（急性・回復・慢性・終末期）に応じた健康上の問題・課題を抱える成人とその家族の特徴を理解し、各期の対象を理解するのに適した看護理論を用いて、具体的な看護の適応を考察する。看護理論、事例検討を通して、各健康レベルにある人の生活を援助するための問題・課題を議論し、成人を対象とした看護援助の在り方を探求する。		
履修目標	①成人看護における看護理論の活用の意義を修得できる。 ②成人期の各健康レベルにおける代表的な理論の枠組みと看護への適応を修得できる。 ③成人期の各健康レベルにおける看護援助体験をもとに事例分液を行い、成人を対象とした看護援助の在り方を探求する。		
授業計画・授業外学修課題	1	成人看護における看護理論活用の意義 授業外事前学修課題：テキスト該当ページを精読する。（60分）	
	2	授業外事後学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成する。課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（120分） 成人期にある人とその家族への教育と看護援助① セルフケア・自己効力理論－成人教育モデル－	
	3	授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 成人期にある人とその家族への教育と看護援助② セルフケア・自己効力理論－成人教育モデル－	
	4	授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 急性・回復期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用① －ストレス・コーピング、危機理論－	
	5	授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 急性・回復期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用② －ストレス・コーピング、危機理論－	
	6	授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 慢性期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用① －トランスセオリティカルモデル、病みの軌跡、セルフケア理論－	
	7	授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 慢性期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用② －トランスセオリティカルモデル、病みの軌跡、セルフケア理論－	

	授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 終末期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用① -悲嘆、死の受容、アドバンストケアプランニング、がん看護- 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 終末期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用② -悲嘆、死の受容、アドバンストケアプランニング、がん看護- 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 急性・回復期にある人とその家族の事例検討① 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 急性・回復期にある人とその家族の事例検討② 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 慢性期にある人とその家族の事例検討① 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 慢性期にある人とその家族の事例検討② 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 終末期にある人とその家族の事例検討① 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 終末期にある人とその家族の事例検討② 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッション、プレゼンテーションを行う
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①授業への参加態度 ②プレゼンテーションの内容と発表および質疑応答の内容 ③課題レポート 評価割合：①30%、②30%、③40% 評価基準：①自分の考えを述べ、討議に参加している。 ②資料の要点を整理し提示しており、質疑応答が明快である。

	③理論に関する文献レビューのクリティークの視点が明確に記載されている。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	看護実践に活かす中範囲理論, 野川道子, メヂカルフレンド社, 2016年
実務経験のある教員による授業	各回は看護師として、看護研究者としての実務経験を生かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する。knishide@soei.ac.jp
備考	ゼミ形式で行う。各回のテーマに基づいて学生がプレゼンテーション資料を作成する。その資料・発表をもとにゼミ参加者でディスカッションする。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
西出 久美/大学院看護学研究所			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1) 実践における様々な現象を言語化し判断することができる。 2) 多様な対象に合わせた教育指導ができる。 3) 研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる。 4) 組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる。		
履修条件	専門科目の中で専攻領域の特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの他、専攻以外の領域の特論から1科目2単位以上を履修してください。看護管理学以外の専攻領域を選択する場合、特論Ⅰ、特論Ⅱ、特論Ⅲは、特論Ⅰから先に履修し、特論Ⅲは、当該専攻領域のみ履修可能です。		
授業概要	成人期にある患者の急性・慢性・終末期における看護援助に関する包括的アセスメントやその支援及び評価方法に関する研究論文の検討を通して、対象と家族に対する効果的な看護援助の方法や研究方法について探究する。		
履修目標	①研究論文のクリティークの目的と方法を修得できる。 ②成人期にある人を対象にした研究論文のクリティークを行い、必要な看護援助について探求する。 ③研究論文のクリティークを通して探求した内容についてプレゼンテーションを行い、次の研究活動につなげることができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	研究論文のクリティーク、サブストラクション① 授業外事前学修課題：テキスト該当ページを精読する。（60分） 授業外事後学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成する。課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（120分）	
	2	研究論文のクリティーク、サブストラクション② 授業外事前学修課題：テキスト該当ページを精読する。（60分） 授業外事後学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成する。課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（120分）	
	3	急性期・回復期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク① 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	4	研究論文（和文）のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	5	急性期・回復期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク② 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	6	研究論文（英文）のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	7	慢性期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク① 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	8	研究論文（和文）のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	9	慢性期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク② 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分）	

	分) 10 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) 研究論文(英文)のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む(150分) 11 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) 終末期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク① 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む(150分) 12 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) 研究論文(和文)のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む(150分) 13 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) 終末期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク② 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む(150分) 14 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) 研究論文(英文)のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む(150分) 15 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) まとめ 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッション、プレゼンテーションを行う
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①授業への参加態度 ②プレゼンテーションの内容と発表および質疑応答の内容 ③課題レポート 評価割合：①30%、②30%、③40% 評価基準：①自分の考えを述べ、討議に参加している。 ②資料の要点を整理し提示しており、質疑応答が明快である。 ③理論に関する文献レビューのクリティークの視点が明確に記載されている。
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	よくわかる看護研究論文のクリティーク, 山川みやえ/牧本清子編著, 日本看護協会出版会, 2014年
実務経験のある教員による授業	各回は看護師として、看護研究者としての実務経験を生かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する。knishide@soei.ac.jp
備考	ゼミ形式で行う。各回のテーマに基づいて学生がプレゼンテーション資料を作成する。その資料・発表をもとにゼミ参加者でディスカッションする。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
西出 久美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1) 実践における様々な現象を言語化し判断することができる。 2) 多様な対象に合わせた教育指導ができる。 3) 研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる。 4) 組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる。		
履修条件	専門科目の中で専攻領域の特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの他、専攻以外の領域の特論から1科目2単位以上を履修してください。看護管理学以外の専攻領域を選択する場合、特論Ⅰ、特論Ⅱ、特論Ⅲは、特論Ⅰから先に履修し、特論Ⅲは、当該専攻領域のみ履修可能です。		
授業概要	成人急性/慢性疾患・がん患者の緩和ケアなどのPBLを通して、患者の健康問題を専門的・統合的に捉え、看護の質向上に向けた実践のあり方を追及する。		
履修目標	①自己の研究課題に関連した臨床現場の現状を理解する。 ②臨地での実習または演習を通して、自己の研究課題の意義や妥当性を確認し、研究の実現可能性などについて検討する。 ③臨地での実習または演習を通して、自己の研究内容を洗練させ、具体化することができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	臨床現場の現状とその課題 授業外事前学修課題：研究論文や参考資料を基にプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む。(150分) 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分)	
	2	PBLテーマ選定 授業外事前学修課題：研究論文や参考資料を基にプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む。(150分) 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分)	
	3	実習または演習計画立案 授業外事前学修課題：研究論文や参考資料を基にプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む。(150分) 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分)	
	4	計画に沿って実習または演習の実施① 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	5	計画の沿って実習または演習の実施② 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	6	計画の沿って実習または演習の実施③ 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	7	計画の沿って実習または演習の実施④ 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	8	計画の沿って実習または演習の実施⑤ 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	9	中間報告会 授業外事前学修課題：発表資料等準備(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	10	計画の沿って実習または演習の実施⑥ 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	11	計画の沿って実習または演習の実施⑦ 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分)	

	12 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。（30分） 計画の沿って実習または演習の実施⑧ 授業外事前学修課題：実習事前準備。（150分） 13 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。（30分） 計画の沿って実習または演習の実施⑨ 授業外事前学修課題：実習事前準備。（150分） 14 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。（30分） 計画の沿って実習または演習の実施⑩ 授業外事前学修課題：実習事前準備。（150分） 15 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。（30分） 成果報告会・まとめ 授業外事前学修課題：発表資料等準備（150分） 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておく。（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッション、プレゼンテーションを行う
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①授業への参加態度 ②プレゼンテーションの内容と発表および質疑応答の内容 ③課題レポート 評価割合：①30%、②30%、③40% 評価基準：①自分の考えを述べ、討議に参加している。 ②資料の要点を整理し提示しており、質疑応答が明快である。 ③理論に関する文献レビューのクリティークの視点が明確に記載されている。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	特に指定しない。必要に応じて適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	各回は看護師として、看護研究者としての実務経験を生かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する。knishide@soei.ac.jp
備考	ゼミ形式で行う。各回のテーマに基づいて学生がプレゼンテーション資料を作成する。その資料・発表をもとにゼミ参加者でディスカッションする。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
佐野 望/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①多様な看護実践・看護教育の場で教育・研究的視点をもち看護を創造することができる。 ②社会貢献を役割として地域医療の質向上に向けて看護実践力を発揮することができる。 ③組織の看護の向上に向けて役割を発揮することができる。 ④学問的裏付けに基づく看護管理力を発揮することができる。		
履修条件	特になし		
授業概要	老年医療や老年看護の現状と課題について学び、老年期にある人と家族の成長・発達や生活環境を理解し、変化する社会のなかで当事者が抱える健康課題について検討する。また老年看護の諸理論を学び老年期にある人と家族への主体的参加と医師決定を支える看護援助の在り方を理論的視点から考察する。		
履修目標	①老年期にある人と家族を取り巻く環境の変化と健康課題を説明できる ②老年看護の実践に必要な腫瘍な理論・概念を説明できる ③老年期にある人と家族への科学的根拠に基づく看護ケアについて文献を検索し討議ができる ④看護ケア提供の専門知識を深め、理論に基づいた看護援助を考察できる		
授業計画・授業外学修課題	1	老年期にある人と家族の看護に関する概念とその変遷 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	2	老年期にある人と家族の理解と課題 1 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	3	老年期にある人と家族の理解と課題 2 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	4	老年期にある人と家族の理解と課題 3 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	5	老年看護学における諸理論 1 エイジング フレイル ICF ウェルネス エンパワーメント セルフエフェカシー 等 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	6	老年看護学における諸理論 2 エイジング フレイル ICF ウェルネス エンパワーメント セルフエフェカシー 等 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	7	老年看護学における諸理論 3 エイジング フレイル ICF ウェルネス エンパワーメント セルフエフェカシー 等 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題：	

	8 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護援助 1 研究論文のクリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 9 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護援助 2 研究論文のクリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 10 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護援助 3 研究論文のクリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 11 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護援助 4 研究論文のクリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 12 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 地域を基盤とする高齢者とその家族への支援システム 1 研究論文クリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 13 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 地域を基盤とする高齢者とその家族への支援システム 2 研究論文クリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 14 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 地域を基盤とする高齢者とその家族への支援システム 3 研究論文クリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 15 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 多職種との協働・連携と看護職の役割と課題 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	課題の事前準備と、発表・討議により学習を深める
課題のフィードバック方法と時期	講義中、Google Classroomにて配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題レポート 評価割合：60% 評価基準： 履修目標との対応： 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 評価方法：発表・討議の内容 評価割合：20% 評価基準： 履修目標との対応： 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 評価方法：討議への参加状況

	評価割合：20% 評価基準： 履修目標との対応：1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	随時紹介する
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	佐野 望 nsano@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
佐野 望/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①多様な看護実践・看護教育の場で教育・研究的視点を持ち看護を創造することができる。 ②社会貢献を役割として地域医療の質向上に向けて看護実践力を発揮することができる。 ③組織の看護の向上に向けて役割を発揮することができる。 ④学問的裏付けに基づく看護管理力を発揮することができる。		
履修条件	特になし		
授業概要	老年看護の理論と実践方法を学ぶ。老年看護がもつさまざまな課題を、社会・保健・医療・福祉など広い視野から理解し、老年期にある人とその家族の健康課題について包括アセスメントを行い、その支援の在り方について研究論文の検討を通して、老年看護の理論や看護実践について探求する。		
履修目標	①地域で健康課題を抱え生活する老年期にある人とその家族の看護実践に有用な理論の文献検討ができる ②老年看護の実践における研究論文の分析を通し、老年看護の役割が説明できる ③老年看護の実践における倫理的課題を明らかにし、倫理的に配慮されたケアが説明できる ④実践能力を向上させるための協働チームの理論と老年看護の実践と研究との統合について探求する		
授業計画・授業外学修課題	1	導入：健康な老い、加齢社会 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	2	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 1 発達段階と発達課題 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	3	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 1 自損感情、自己実現 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	4	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 2 老性変化と生活への影響 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	5	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 2 安全と保護のニーズ 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	6	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 3 ライフ 生活者 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	7	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 3 ライフ 生活者 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする	

	る (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老性変化と心身機能の調和を図る健康問題のアセスメント 老性変化とフィジカルアセスメントの事例検討 1 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老性変化と心身機能の調和を図る健康問題のアセスメント 老性変化とフィジカルアセスメントの事例検討 2 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 高齢者および家族への看護の実践における倫理的課題 1 医療的処置と緩和ケア 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 高齢者および家族への看護の実践における倫理的課題 2 経口食と胃瘻の選択 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護 論文クリティーク 1 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護 論文クリティーク 2 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護 論文クリティーク 3 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 実践能力を向上させるための協働・連携と看護職の役割 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	課題の事前準備と、発表・討議により学習を深める
課題のフィードバック方法と時期	講義中、Google Classroomにて配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題レポート 評価割合：60% 評価基準： 履修目標との対応： 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 評価方法：発表・討議の内容 評価割合：20% 評価基準： 履修目標との対応： 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 評価方法：討議への参加状況

	評価割合：20% 評価基準： 履修目標との対応：1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	随時紹介する
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	佐野 望 nsano@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
佐野 望/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①多様な看護実践・看護教育の場で教育・研究的視点を持ち看護を創造することができる ②社会貢献を役割として地域医療の質向上に向けて看護実践力を発揮することができる ③組織の看護の向上に向けて役割を発揮することができる ④学問的裏付けに基づく看護管理力を発揮することができる		
履修条件	老年看護学特論Ⅰ を履修していること		
授業概要	自らの研究課題をもとに実習計画を立案し、老年看護学分野の諸理論やエビデンスに基づくケアの実践・分析・評価を行うことによって、老年期にある人と家族の健康問題を専門的・統合的に捉え看護の質向上に向けた実践のあり方を探求する。		
履修目標	①自己の研究課題を明確にして主体的に演習・実習計画を立案する ②老年看護学の視点からケアの実践を分析・評価し、自己の研究課題を見出すことができる ③研究課題の焦点化や研究方法について考査し実現可能性を検討する ④実習を通して専門性の高い老年看護実践について探求する		
授業計画・授業外学修課題	2週間 老年看護学特論Ⅲ 内容 実習の進め方： 共通科目、老年看護学特論Ⅰ・Ⅱで履修したことを基盤として老年期にある人とその家族へのケア提供の場において行う。 1. 老年看護学の教員と相談し、演習・実習計画を立案する 2. 老年看護学の専門的視点から看護ケア緒場において展開する 3. 看護実践のプロセスにおいて自らの研究関心を言い出す 4. 実習を通して専門性の追求うあ質の高い看護J視線について文献を踏まえて考察し、レポートを作成する 実習方法： 実習場の担当者と相談しながら作成した実習計画に基づき十種を進める。自らの看護実践を振り返り評価し、適宜担当者緒及び教員とカンファレンスを行うなど学生が主体的に計画運営する。		
アクティブラーニングを用いた授業方法	研究課題を明確にし、課題を探求すべく学習（実習）計画からマネジメントと実践を自ら行う		
課題のフィードバック方法と時期	演習・実習中もしくは、Google Classroomにて配信する		
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：演習・実習計画、実習内容・カンファレンスへの参加状況 評価割合：60% 評価基準： 履修目標との対応： ① ○ ② ○ ③ ○ ④ ○ 評価方法：課題レポート 評価割合：40% 評価基準： 履修目標との対応： ① ○ ② ○ ③ ○ ④ ○		
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜紹介する		
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う		
オフィスアワー・連絡先	佐野望 nsano@soei.ac.jp		
備考			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
山口 智美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	特になし
授業概要	地域・在宅看護学の変遷および関連する法やケアシステムと保健医療福祉の諸制度、訪問看護事業制度について理解する。地域在宅看護学で活用される理論と方法を学修し、事例や文献をもとに地域・在宅看護における個人と家族、集団、地域における健康問題の特性、および支援方法について文献検討や討議を通して看護実践に活用する方法を検証する。
履修目標	①. 地域・在宅療養に関わる保健・医療・福祉行政について理解できる。 ②. 在宅・療養移行支援のための看護ケアと訪問看護事業所との連携について説明できる。 ③. 地域・在宅療養者を取り巻く要素と資源の連携、課題について、考察することができる。 ④. 地域・在宅看護の専門職倫理を理解し、人間関係づくり、コラボレーション、コンサルテーション、家族へのアプローチの方法を修得する。 ⑤. 地域・在宅看護におけるセルフケア能力や療養環境の社会的背景と課題について討議できる。
授業計画・授業外学修課題	1 国民の健康課題と社会ニーズの変化 「国民の健康課題と社会ニーズの変化」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 2 地域・在宅看護に関わる保健・医療・福祉行政 「地域・在宅看護に関わる保健・医療・福祉行政」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 3 地域包括ケアシステムと共生社会① 「地域包括ケアシステムと共生社会」各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 4 地域包括ケアシステムと共生社会② 「地域包括ケアシステムと共生社会」各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 5 地域包括ケアシステムの事例から地域包括ケアのあり方の検討① 「地域包括ケアシステムの事例から地域包括ケアのあり方」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 6 地域包括ケアシステムの事例から地域包括ケアのあり方の検討② 「地域包括ケアシステムの事例から地域包括ケアのあり方」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 7 在宅療養移行支援の中の看護に関する文献検討① 「在宅療養移行支援の中の看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 8 在宅療養移行支援の中の看護に関する文献検討② 「在宅療養移行支援の中の看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）

	9	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護に関する文献検討① 「地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	10	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護に関する文献検討② 「地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	11	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護に関する文献検討③ 「地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	12	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 要介護者を介護する家族の健康課題と看護に関する文献検討① 「要介護者を介護する家族の健康課題と看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	13	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 要介護者を介護する家族の健康課題と看護に関する文献検討② 「要介護者を介護する家族の健康課題と看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	14	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 要介護者を介護する家族の健康課題と看護に関する文献検討③ 「要介護者を介護する家族の健康課題と看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	15	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 地域・在宅で看取るケアシステムの現状と課題 「地域・在宅で看取るケアシステムの現状と課題」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		課題について各自でレポートを作成し、発表・討議を行う
課題のフィードバック方法と時期		授業のグループワーク・討議でフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：課題レポート 評価割合：70% 評価基準：課題内容が記載されていれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇、④〇、⑤〇 評価方法：課題レポートでのグループワーク参加度 評価割合：30% 評価基準：グループワークの参加度（発表、発言内容等） 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇、④〇、⑤〇
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		授業前、授業時に適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業		保健師、訪問看護師、退院調整看護師、病棟看護師の経験を活かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先		山口智美 tyamaguchi@soei.ac.jp 時間は初回に説明します。
備考		これからは地域・在宅を意識した看護が重要です。今までの各自の看護経験を振り返り、生活者である患者の支援について一緒に考えていきましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
山口 智美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	特になし
授業概要	さまざまな健康問題を持ち地域や施設で生活する個人とその家族への看護ケアの現状を理解し、現在起きている現象を多角的に評価する視点を持ち、課題と解決方法を探求する。そのために必要となる理論を活用して対象のフィジカルアセスメントの視点、家族の視点、セルフケアの視点から地域在宅看護の在り方を学び、倫理的判断・臨床的判断に基づき地域在宅看護実践および研究への適用可能性と課題、今後の研究の方向性について探求する。
履修目標	①地域で生活する対象の健康および家族への看護ケアの現状と評価ができる。 ②. 地域や施設で生活する対象と家族への看護ケアの評価に基づき課題について考察できる。 ③疾患や障害をもち、地域・在宅で生活する人への看護について考察できる。 ④. 公衆衛生看護活動方法に理解し、地域における保健師活動について考察できる。
授業計画・授業外学修課題	1 公衆衛生看護の歴史と変遷 「公衆衛生看護の歴史と変遷」についてレポートを作成し、公衆衛生看護の歴史と今後の方向について討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 2 社会環境の変化と健康課題① 「社会環境の変化と健康課題」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 3 社会環境の変化と健康課題② 「社会環境の変化と健康課題」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 4 公衆衛生看護の対象と活動方法① 「公衆衛生看護の対象とその特性および健康課題」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 5 公衆衛生看護の対象と活動方法② 「公衆衛生看護活動方法」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 6 公衆衛生看護の対象と活動方法③ 「公衆衛生看護活動方法」についてレポートを作成し、公衆衛生看護の歴史と今後の方向について討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 7 公衆衛生看護活動理論モデルと方法論① 「保健行動理論」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 8 公衆衛生看護活動理論モデルと方法論② 「保健行動理論」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分）

	9	公衆衛生看護活動理論モデルと方法論③ 「地域診断に関する理論」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	10	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 保健政策のPDCAサイクル（計画、実践、評価、査定） 「保健政策のPDCAサイクル（計画、実践、評価、査定）」についてレポートを作成し、保健活動及び看護活動におけるPDCSサイクルの必要性・意義について討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	11	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 健康危機管理（災害・感染症暴露等）と リスクマネジメント① 「健康危機管理（災害・感染症暴露等）と リスクマネジメント」について今までの事例を用いてレポートを作成し、地域における健康危機管理について討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	12	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 健康危機管理（災害・感染症暴露等）と リスクマネジメント② 「健康危機管理（災害・感染症暴露等）と リスクマネジメント」について今までの事例を用いてレポートを作成し、地域における健康危機管理について討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	13	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 健康レベルに応じたヘルスプロモーションと看護活動① 各自の経験した事例を用いて、地域で暮らす患者を支える看護活動についてのレポートを作成し、事例検討を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	14	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 健康レベルに応じたヘルスプロモーションと看護活動② 各自の経験した事例を用いて、地域で暮らす患者を支える看護活動についてのレポートを作成し、事例検討を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	15	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 健康レベルに応じたヘルスプロモーションと看護活動③ 各自の経験した事例を用いて、地域で暮らす患者を支える看護活動についてのレポートを作成し、事例検討を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		毎時、課題レポートを発表し、討議を行う。
課題のフィードバック方法と時期		授業時に、発表内容等についてフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：課題レポート 評価割合：70% 評価基準：課題内容が記載されていれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇、4〇 評価方法：課題レポートでのグループワーク参加度 評価割合：30% 評価基準：グループワークの参加度（発表、発言内容等） 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇、4〇
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		授業時に、説明する。
実務経験のある教員による授業		保健師・訪問看護師・人間ドック情報管理指導士・退院調整看護師・病棟師長の経験を活かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先		山口智美 tyamaguchi@soei.ac. 時間は初回に説明します。
備考		公衆衛生看護は生活者をその人の暮らす地域で支援するものです。看護職は生活者を支援します。生活者が生活する地域を理解し、病院看護師としての役割を考えましょう。 課題については文献を活用してレポートを作成すること 今までの経験をもとに地域での暮らす生活者の看護を考えてください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
山口 智美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	地域・在宅看護学特論Ⅰ・Ⅱを履修していること
授業概要	さまざまな健康問題を持ちながら地域や在宅で生活する個人と家族を対象に、実践看護学分野の諸理論やエビデンスに基づく判断のもと、専門的知識・技術を適用し、看護実践を行うことによって健康問題を専門的・統合的に捉え、看護実践の質の向上に向けた看護について探求する。
履修目標	①1. 自己の研究課題に関連した地域・在宅での看護の現状を理解する。 ②地域・在宅での実習または演習を通して、自己の研究課題の意義や妥当性を確認し、研究の実現可能性などについて検討する。 ③. 地域・在宅での実習または演習を通して、自己の研究内容を洗練させ、具体化することができる。
授業計画・授業外学修課題	1 自己の研究課題に関連する地域・在宅の現状とその課題 「自己の研究課題に関連する地域・在宅の現状とその課題」についてレポートを作成し、討議を行う 授業外事前学修課題：課題について文献を活用しレポートを作成する。（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、自己の研究課題を再考する。（90分） 2 PBLテーマ選定 PBLテーマ選定を行う 授業外事前学修課題：PBLテーマについて検討し、レポートを作成する。（90分） 授業外事後学修課題：PBLテーマについて決定し、実習または演習計画を立案する。（90分） 3 実習または演習計画立案 実習または演習計画立案 授業外事前学修課題：：PBLテーマについての実習または演習計画を立案する。（90分） 授業外事後学修課題：計画実施のための具体的な方法を検討する（90分） 4 計画に沿って実習または演習の実施① 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 5 計画に沿って実習または演習の実施② 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 6 計画に沿って実習または演習の実施③ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 7 計画に沿って実習または演習の実施④ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 8 計画に沿って実習または演習の実施⑤ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 9 中間発表会 実習または演習計画の実施状況・評価を行う

	授業外事前学修課題：実施した5回分の実習または演習内容をまとめ、評価を行い、レポートを作成する。（時間） 10 授業外事後学修課題：評価から次回からの実施計画を修正する。（時間） 計画に沿って実習または演習の実施⑥ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 11 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 計画に沿って実習または演習の実施⑦ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 12 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 計画に沿って実習または演習の実施⑧ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 13 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 計画に沿って実習または演習の実施⑨ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 14 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 計画に沿って実習または演習の実施⑩ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 15 授業外事後学修課題：実施した10回の内容を振り返り、PBLテーマの達成状況を確認し、評価kを行う。（90分） まとめ 10回分の実習または演習の目標の達成状況を確認し、評価を行う。 授業外事前学修課題：実施した10回分の実習または演習の目標達成状況をまとめ、評価を行い、レポートを作成する。（90分） 授業外事後学修課題：15回の実習または演習からの学びについてレポートを作成する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	課題解決のための演習・実習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	演習・実習時にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：演習または実習への取り組み 評価割合：50% 評価基準：演習または実習目標を達成すれば合格 履修目標との対応：①○、②○、③○ 評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：演習または実習での学びを十分に記載していれば合格 履修目標との対応：①○、②○、③○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	地域・在宅看護学特論Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト。その他、随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	保健師、訪問看護師、退院調整看護師、病棟師長等の経験を活かした演習や実習を行います。
オフィスアワー・連絡先	山口智美 tyamaguccho@soei.ac.jp 時間は初回に伝えます。
備考	自分の課題を明らかにした上で、演習や実習に臨んでください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
横山 恵子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①実践における様々な現象を言語化し判断することができる ②多様な対象に合わせた教育指導ができる ③研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ④組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる		
履修条件			
授業概要	精神医療の歴史的背景および精神保健医療福祉の制度やシステムを理解し、精神障害者や家族、学校、職場、地域など、さまざまな場や人々に対する、精神保健看護の役割と機能を学ぶ。		
履修目標	①精神保健医療福祉の歴史的変遷を踏まえた精神保健福祉制度が説明できる。 ②精神障害者の人権と精神看護における倫理的課題、精神看護の在り方が説明できる。 ③精神保健医療福祉の連携、地域精神保健活動（産業保健、学校保健）における、看護専門職の在り方が探求できる。 ④精神専門看護師の実践から、これからの精神看護の可能性が説明できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション 学習内容と課題・目標の設定 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学びたい内容を整理しておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	2	精神医療・看護の歴史的変遷、保護隔離の時代から、精神障害者福祉の時代への展望 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	3	精神医療・看護の歴史的変遷、保護隔離の時代から、精神障害者福祉の時代への展望 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	4	精神保健福祉法の歴史と位置付け、精神障害とスティグマ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	5	精神保健福祉法の歴史と位置付け、精神障害とスティグマ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	6	各国の精神医療保健福祉に関するさまざまな制度やシステムとの比較から、精神保健看護のありかたを考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	7	精神障害者の人権とアドボカシー、精神看護における倫理的課題（隔離・拘束、インフォームドコンセント） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	8	精神障害者の人権とアドボカシー、精神看護における倫理的課題（隔離・拘束、インフォームドコンセント） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	9	授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 家族心理教育など家族に対する基本的支援のあり方、医療保護入院における家族の役割、成年後見人制度などの法律 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	10	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 家族心理教育など家族に対する基本的支援のあり方、医療保護入院における家族の役割、成年後見人制度などの法律 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	11	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 産業保健・学校保健とメンタルヘルスに関する理解、精神保健看護の新しい動きについて洞察する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	12	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 産業保健・学校保健とメンタルヘルスに関する理解、精神保健看護の新しい動きについて洞察する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	13	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 地域における精神保健医療福祉の連携、当事者の生活を支える地域資源（デイケア、訪問看護、グループホーム、地域活動支援センター、など）における看護者の役割と地域ケアシステム 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	14	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 地域における精神保健医療福祉の連携、当事者の生活を支える地域資源（デイケア、訪問看護、グループホーム、地域活動支援センター、など）における看護者の役割と地域ケアシステム 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	15	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神看護専門看護師の役割と機能、リエゾン精神看護の実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	事前課題のプレゼンテーションを教材とし、ディスカッション形式で学修する	
課題のフィードバック方法と時期	授業内やGoogleClassroomを活用してフィードバックする	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：プレゼンテーションの資料と発表内容 評価割合：40% 評価基準： 履修目標との対応：①～④ 評価方法：ディスカッションへの参加 評価割合：30% 評価基準： 履修目標との対応：①～④ 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準： 履修目標との対応：①～④	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜紹介する	
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先	横山 恵子 メールアドレス kyokoyama@soei.ac.jp	
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
横山 恵子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①実践における様々な現象を言語化し判断することができる ②多様な対象に合わせた教育指導ができる ③研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ④組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる		
履修条件			
授業概要	精神看護の理論と実践方法を学ぶ。地域における、精神保健上の問題を抱えた個人、集団および家族を対象とした精神看護のあり方を考える。また、当事者や家族へのさまざまなアプローチの理論と援助方法、セルフヘルプグループによるピアサポートや連携の在り方の実際を学ぶ。		
履修目標	①患者・看護師関係における援助者としての自己活用について説明できる。 ②地域精神看護における当事者性、セルフヘルプグループと専門家との関係の在り方が説明できる。 ③精神障害者や家族の孤立から起きる問題を理解し、早期介入やアウトリーチサービスの必要性を説明できる。 ④リカバリー、ストレングスモデル、オープンダイアログ、WRAPなど、当事者性の視点と理論を説明できる。 ⑤地域における精神科事例を取り上げ、支援の意味付けや看護者の役割について説明できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション 学習内容と課題・目標の設定 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学びたい内容を整理しておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	2	力動的看護者－患者関係、援助者としての自己活用、看護者－患者の治療的関係に関する理解を深める 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	3	力動的看護者－患者関係、援助者としての自己活用、看護者－患者の治療的関係に関する理解を深める 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	4	地域精神看護における当事者性と専門性、医学モデルとリカバリーモデルの相違、当事者と家族のリカバリー、パーソナルリカバリーと臨床的リカバリー、エンパワメント、ストレングスモデル、権利擁護 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	5	地域精神看護における当事者性と専門性、医学モデルとリカバリーモデルの相違、当事者と家族のリカバリー、パーソナルリカバリーと臨床的リカバリー、エンパワメント、ストレングスモデル、権利擁護 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	6	当事者活動としてのセルフヘルプグループ、専門家とのパートナーシップのあり方、当事者会、精神障害者家族会、AA、NA、断酒会 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	7	当事者活動としてのセルフヘルプグループ、専門家とのパートナーシップのあり方、当事者会、精神障害者家族会、AA、NA、断酒会 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	8	授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） アウトリーチ支援事業、ACT（Assertive Community Treatment）の発展の歴史と概要、地域包括ケアシステムと精神障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	9	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） アウトリーチ支援事業、ACT（Assertive Community Treatment）の発展の歴史と概要、地域包括ケアシステムと精神障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	10	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神障害者家族の現状、家庭内での暴力など問題の理解、早期介入方法、家族支援のあり方地域における家族のピアサポートの実践、家族ピア教育（家族による家族学習会） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	11	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神障害者家族の現状、家庭内での暴力など問題の理解、早期介入方法、家族支援のあり方地域における家族のピアサポートの実践、家族ピア教育（家族による家族学習会） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	12	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） WRAP（Wellness Recovery Action Plan/元気回復行動プラン）、オープンダイアログ、当事者研究の理論と活用の実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	13	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） WRAP（Wellness Recovery Action Plan/元気回復行動プラン）、オープンダイアログ、当事者研究の理論と活用の実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	14	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 訪問看護での具体事例から地域支援を考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分）
	15	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 訪問看護での具体事例から地域支援を考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		事前課題のプレゼンテーションを教材とし、ディスカッション形式で学修する
課題のフィードバック方法と時期		授業内やGoogleClassroomを活用してフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：プレゼンテーションの資料と発表内容 評価割合：40% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤ 評価方法：ディスカッションへの参加 評価割合：30% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤ 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		参考文献 ・精神科訪問看護のいろは - 「よき隣人」から「仲間」へ（精神看護出版） その他、適宜紹介する
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先		横山 恵子 メールアドレス kyokoyama@soei.ac.jp
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
横山 恵子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①実践における様々な現象を言語化し判断することができる ②多様な対象に合わせた教育指導ができる ③研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ④組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる
履修条件	
授業概要	自らの関心のある領域から選択した精神科臨床現場における個人及び集団が抱える問題に対して、実践看護学分野の諸理論やエビデンスに基づく判断のもと、専門的知識・技術を適用し、看護実践を行うことによって健康問題を専門的・統合的に捉え、看護実践の質の向上に向けた看護について探求する。
履修目標	①精神科臨床現場における個人及び集団が抱える問題を把握し、対象の健康問題をアセスメントできる。 ②精神看護学の視点から対象の問題解決策を立案できる。 ③対象に対して適切な理論を活用した看護援助を実施し、評価できる。 ④精神科臨床現場における個人及び集団が抱える問題に対する看護実践を通し研究課題を見出すことができる。 ⑤実習を通して専門性の追求や質の高い看護実践について考察できる。
授業計画・授業外学修課題	精神看護学実習 実習期間：2週間 実習の進め方： 共通科目、地域精神看護学特論Ⅰ及び地域精神看護学特論Ⅱで履修したことを基盤として精神科臨床現場において実習を行う。 1. 精神看護学の教員と相談し、実習計画を立案する。 2. 地域精神看護学の専門的な視点から看護の対象に看護援助を実践する。 3. 看護実践のプロセスにおいて自らの研究関心を見出す。 4. 実習を通して専門性の追求や質の高い看護実践について文献を踏まえて考察し、レポートを作成する。 実習方法 選択した精神科臨床現場の担当者と相談しながら作成した実習計画に基づき実習を進める。自らの看護実践を振り返り評価し、適宜担当者および教員とカンファレンスを行うなど学生が主体的に計画運営する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	事前課題のプレゼンテーションを教材とし、ディスカッション形式で学修する
課題のフィードバック方法と時期	授業内やGoogleClassroomを活用してフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習内容 評価割合：40% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤ 評価方法：カンファレンスやディスカッションへの参加 評価割合：20% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤ 評価方法：実習レポート 評価割合：40% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	横山 恵子 メールアドレス kyokoyama@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護管理史および看護管理のプロセス、組織論、リーダーシップ論について学修を深める。さらに、キャリア開発、人的資源活用に必要な知識や理論を学修する。様々な事象を統合的にとらえ、看護管理の在り方を研究的視点から考究する。
履修目標	① 管理とは何か、管理プロセスとは何かを理解する。 ② 看護管理に関連する歴史的経緯を看護管理者の教育的体系とともに理解する。 ③ 組織の定義、組織文化、組織変革、組織分析の手法を学び、事例分析を通じて、改善・変革に向け主体的に思考することができる。 ④ 看護マネジメントに必要なリーダーシップ・フォロワーシップについて追求する。 ⑤ 看護専門職の人材活用や労務管理の基礎となる法律や制度について理解する。 ⑥ キャリア開発、人材育成について文献クリティークを行い課題を明らかにする。
授業計画・授業外学修課題	1 看護管理学の概念、看護管理の歴史 看護管理の概念、看護管理史について 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 2 マネジメントプロセス、看護管理者の教育制度の変遷 マネジメントプロセスとは システムアプローチ 看護管理者の教育制度の変遷 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 3 組織論・経営管理論 組織の定義、組織図、組織文化、経営理念 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 4 マーケティングと組織分析 ・マーケティングとは ・組織分析 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 5 変革理論 変革理論 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 6 リーダーシップ理論 リーダーシップとフォロワーシップ 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 7 人的資源活用論 グループマネジメント 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）

	8	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 労務人事管理 労務管理、人事管理 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	9	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 看護要員算定（Sfaffing） 看護要員算定（staffing） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	10	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 看護職員配置 研究論文の動向 看護職員配置 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	11	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） キャリア開発 キャリア開発 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	12	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） キャリアマネジメント キャリアマネジメント 自施設のラダーについて 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	13	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 看護専門職論 質の高い医療の実践とスペシャリストの活用 米国との比較：APN（アドバンス・プラクティス・ナース）とDNP（ドクター・オブ・ナーシング・プラクティス） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	14	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 看護継続教育（基礎教育と現任教育） 看護継続教育 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	15	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 看護教育の課題 看護教育の課題 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる。プレゼンテーション準備をする（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		講義形式でなくディスカッションをしながら授業をすすめる 事前に資料を読みプレゼンテーション準備をすることで、課題について深く知ることができ、ディスカッションも深まることが期待できる
課題のフィードバック方法と時期		質疑・討論は授業内で回数や内容を評価する プレゼンテーションや文献検討は、提出したプレゼンテーション資料、授業内での発言、プレゼンテーションを評価する（ルーブリック評価） レポートは返却し内容のフィードバックをする（ルーブリック評価）
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：質疑・討論 評価割合：30% 評価基準：授業内での発言回数、討論の内容 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 評価方法：プレゼンテーション（文献検討のプレゼンテーション含む） 評価割合：50% 評価基準：授業内でのプレゼンテーションの内容（ルーブリック評価） 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 評価方法：レポート 評価割合：20%

	評価基準：レポートの内容（ルーブリック評価） 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ ⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 井部俊子(監修)．(2023)．看護管理学習テキスト第3版第1巻，ヘルスケアシステム論．日本看護協会出版会． 手島恵(監修)．(2023)．看護管理学習テキスト第3版第3巻，人材管理論．日本看護協会出版会． 井部俊子(監修)．(2023)．看護管理学習テキスト第3版第4巻，組織管理論．日本看護協会出版会． 参考文献： 見藤隆子ほか(2017)．看護職者のための政策過程入門．日本看護協会出版会． 浅見 浩(2010)．離職防止・働きやすい職場をつくる;看護管理者の労務管理かんたんQ&A．日総研．
実務経験のある教員による授業	大学および大学院における看護管理学教育経験14年。認定看護管理者研修講師として13年。職場での管理職経験10年以上。
オフィスアワー・連絡先	e-mail による事前連絡にて日時を調整する 連絡先： e-mail ykamiyo@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護管理学におけるサービス提供論について、質の保証、医療安全、看護管理に必要な情報管理の側面から学修を深める。看護サービス提供のための運営管理の方法や、ナレッジマネジメントに関する理論を理解し、看護管理の実践と合わせ、看護の質を保証するために、組織的な取り組みはいかにあるべきかについて探求する。
履修目標	① サービスの概念、看護サービス提供システムを理解する。 ② 安全な医療提供のため看護管理者が担うべき役割について追求する。 ③ 質評価の方法、ナレッジマネジメントを理解し、所属する組織の質保証の課題と方策について考える。 ④ 医療におけるデータの重要性・情報管理について看護管理的側面、倫理的側面、教育的側面から考察する。
授業計画・授業外学修課題	1 サービスの概念と定義 サービスとは 医療サービスとは 授業外事前学修課題：テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業をまとめる。指定された論文を読みクリティークする（90分） 2 医療の質について（Donabedianの定義） 医療の質評価 授業外事前学修課題：テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業をまとめる。英語の論文を読む（90分） 3 看護管理における情報管理 看護における情報管理 授業外事前学修課題：テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業をまとめる。（90分） 4 医療情報の扱いと倫理的問題、看護研究倫理 看護研究倫理（捏造、改ざん、剽窃、オーサiership等） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストを読む。APAマニュアルを読む。 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 5 医療サービスの評価 医療サービスの評価（論文抄読） 授業外事前学修課題：指定された論文を読んでまとめてくる。テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 6 看護サービスの改善と質保証 看護サービスの改善と質保証（英文論文抄読） 授業外事前学修課題：指定された論文を読み、内容をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 7 看護サービス提供システムと問題解決 看護サービス提供システムと問題解決 授業外事前学修課題：テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 8 DPC分析 DPC分析 授業外事前学修課題：DPCについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：自分の施設のDPCについて調べ考察する（90分） 9 ナレッジマネジメント； 暗黙知と形式知、経営資源としてのナレッジ ナレッジマネジメント

	授業外事前学修課題：ナレッジマネジメントの体験についてまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） ナレッジマネジメント； 看護実践・看護管理の中のナレッジマネジメント ナレッジマネジメント 授業外事前学修課題：文献検討（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 医療安全管理と患者安全 医療安全管理と患者安全 授業外事前学修課題：日本医療機能評価機構のレポートを読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 医療安全のための戦略 教育、ガイドライン、工学的解決、コミュニケーション 授業外事前学修課題：テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 医療安全管理と患者安全（文献検討） 医療安全管理と患者安全（文献検討） 授業外事前学修課題：文献検討（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 医療安全管理と患者安全（文献検討） 医療安全管理と患者安全（文献検討） 授業外事前学修課題：プレゼンテーション準備をする（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 看護サービス・質保証における課題 看護サービス・質保証における課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間）プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で考えたことをまとめレポートを作成する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	講義形式でなくディスカッションをしながら授業をすすめる 事前に資料を読みプレゼンテーション準備をすることで、課題について深く知ることができ、ディスカッションも深まることが期待できる
課題のフィードバック方法と時期	質疑・討論は授業内で回数や内容を評価する プレゼンテーションや文献検討は、提出したプレゼンテーション資料、授業内での発言、プレゼンテーションを評価する（ループリック評価） レポートは返却し内容のフィードバックをする（ループリック評価）
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：質疑・討論 評価割合：30% 評価基準：授業内での発言内容・発言の数 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：プレゼンテーション・文献検討 評価割合：50% 評価基準：内容が的確であること 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：レポート 評価割合：20% 評価基準：APA形式で書かれていること、内容が的確であること 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 井部俊子（監修），秋山智弥（編）（2022）．看護管理学習テキスト第3版第2巻，看護サービスの質管理．日本看護協会出版会． 参考文献： Avedis Donabedian, 東 尚弘（訳）（2010）．医療の質の定義と評価方法．iHope． 相馬孝博（監訳），上條優子（訳）（2006）．患者安全のシステムを創る－米国JCAHO推奨のノウハウ．医学書院． 大串正樹（2007）．ナレッジマネジメントー創造的な看護管理のための12章．医学書院． DPC点数早見表2024年4月版．医学通信社． American Psychological Association(2019)．Publication Manual of the American Psychological Association: The Official Guide to Apa Style
実務経験のある教員による授業	大学および大学院における看護管理学教育経験14年。認定看護管理者研修講師として13年。職場での管理職経験10年以上。
オフィスアワー・連絡先	e-mail による事前連絡にて日時を調整する 連絡先： e-mail ykamijo@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究科 金井Pak雅子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護管理学に必要な、経済・経営、看護政策の知識・理論を学修し、それらの動向を身近な情報として活用し働きかける力を養う。看護経済・経営、保健医療福祉政策に関する概念と動向について学修し、現状の課題を探究する。また、政策が及ぼす健康や看護への影響を把握し、管理者として改善にむけた行動について考察する。
履修目標	① 保健・医療・福祉の主要な法律とその基盤となるシステムについて理解する。 ② 専門職としてより質の高いケアの提供を保証するための政策提言について検討する。 ③ 看護サービスの経済評価について考察する。
授業計画・授業外学修課題	1 政策決定プロセスとロビー活動（上條） 授業外事前学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第1章、第2章を読みまとめ、プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第1章、第2章について考えたことをまとめる（90分） 2 看護職者の政策過程への参画（上條） 授業外事前学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第3章を読みまとめ、プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第3章について考えたことをまとめる。政策提言を考える（90分） 3 看護に関する政策：保健師助産師看護師法の課題、診療報酬における看護職員配置、平均在院日数の短縮（上條） 授業外事前学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第4章を読みまとめ、プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第4章について考えたことをまとめる。文献検討をしながら政策提言を考える（90分） 4 看護に関する政策：看護師等人材確保法と看護教育大学化、卒後研修・特定行為研修。（上條） 授業外事前学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第4章を読みまとめ、プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第4章について考えたことをまとめる。ベッドサイドから政策を変えるための行動について考察する（90分） 5 ヘルスケア提供システム； 医療制度改革と地域包括ケア（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 6 ヘルスケア提供システム； 看護の評価（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 7 医療福祉と経済（金井） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 8 財務管理と看護（金井） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 9 経営分析の手法（金井） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 10 看護における制度・政策（金井） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分）

	11 医療福祉の経営、看護経営の現状（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む。指定された論文をよみプレゼンテーションの準備をする（90分） 12 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 医療福祉の経営、看護経営の現状（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む。指定された論文をよみプレゼンテーションの準備をする（90分） 13 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 看護経済・経営の課題（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 14 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 看護経済・経営の課題（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 15 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 看護経済・経営の課題（上條） 授業外事前学修課題：医療制度改革、地域包括ケアシステム、診療報酬など総合的にまとめ、政府・行政期間に対しての提言を考えプレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる。課題レポートの作成（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	講義形式でなくディスカッションをしながら授業をすすめる 事前に資料を読みプレゼンテーション準備をすることで、課題について深く知ることができ、ディスカッションも深まることが期待できる
課題のフィードバック方法と時期	質疑・討論は授業内で回数や内容を評価する プレゼンテーションや文献検討は、提出したプレゼンテーション資料、授業内での発言、プレゼンテーションを評価する（ループリック評価） レポートは返却し内容のフィードバックをする（ループリック評価）
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：質疑・討論 評価割合：30% 評価基準：授業内での発言回数、討論の内容 履修目標との対応：① ② ③ 評価方法：プレゼンテーション（文献検討のプレゼンテーション含む） 評価割合：40% 評価基準：授業内でのプレゼンテーションの内容（ループリック評価） 履修目標との対応：① ② ③ 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準：レポートの内容（ループリック評価） 履修目標との対応：① ② ③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 井部俊子（監修）. (2023). 看護管理学習テキスト第3版第5巻, 経営資源管理論. 日本看護協会出版会. 見藤隆子ほか. (2017). 看護職者のための政策過程入門. 日本看護協会出版会. 参考書： 福井トシ子 他. (2023). 看護管理者が知っておきたい「様式9」の基礎講座. メディカ出版.
実務経験のある教員による授業	大学および大学院における看護管理学教育経験14年。認定看護管理者研修講師として13年。職場での管理職経験10年以上。
オフィスアワー・連絡先	e-mailによる事前連絡にて日時を調整する 連絡先： ykami.jo@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2 年	8 単位	必修
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	各専門領域において研究計画書に基づき研究を実施し、その結果を踏まえて修士論文の作成の指導を行う。
履修目標	①各専門領域における研究課題に関する研究計画書に基づいて研究を実施することができる。 ②研究発表会においてプレゼンテーションを行うことができる。 ③修士論文を作成することができる。
授業計画・授業外学修課題	1～4 倫理審査申請後、研究計画に基づいてデータの収集を行う。研究フィールドの開拓 5～6 研究対象者の選択 研究協力依頼の検討 7～10 適切なデータ収集方法の検討 研究データ収集に伴う諸問題の検討および対処方法の検討 11～14 データ収集の実施 15～18 データ収集の実施とデータの分析 19～22 分析結果の検討分析結果を踏まえて文献検討 23～26 文献検討を踏まえて考察を深める 27～30 中間発表会に向けた準備 中間発表会でのプレゼンテーション 31～34 発表会で指摘された課題を確認し、問題解決を行う論文の全体構成の検討 35～39 資料・データの整理 図表作成など論文作成を目指し、指導を受けながら論文を作成させる。 40～45 考察、結論まで一連の研究成果をまとめる。 修士論文の作成 46～48 内容を点検・ブラッシュアップを行い修士論文を作成 49～54 55～60 論文審査、最終試験の準備 修士論文の最終提出
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	修士論文作成の過程において、研究に取り組む姿勢・研究発表内容・論文内容を総合的に評価する。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究テーマにそって適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	指導教員への事前連絡にて日時を調整する。
オフィスアワー・連絡先	

備考	特別研究以外の修了要件の単位が認定されているか、または同時履修中であること。
----	--

令和6年度 シラバス目次

(奇数偶数は西暦)

NO	授業科目	配当年次	頁
1	看護理論	1 前	1
2	看護研究の原理と方法	1 前	4
3	看護倫理学	1 前	6
4	看護教育学	1 後	8
5	看護マネジメント論	1 前	10
6	看護専門職論 (奇数年開講)	1 後	12
7	チーム医療実践論 (偶数年開講)	1 後	15
8	健康情報処理論	2 後	17
9	看護現象論 (偶数年開講)	1 前	19
10	ケア技術学特論Ⅰ	1 前	21
11	ケア技術学特論Ⅱ	1 後	23
12	ケア技術学特論Ⅲ	2 前	25
13	母性看護学特論Ⅰ	1 前	27
14	母性看護学特論Ⅱ	1 後	29
15	母性看護学特論Ⅲ	2 前	30
16	小児看護学特論Ⅰ	1 前	31
17	小児看護学特論Ⅱ	1 後	33
18	小児看護学特論Ⅲ	2 前	36
19	成人看護学特論Ⅰ	1 前	37
20	成人看護学特論Ⅱ	1 後	40
21	成人看護学特論Ⅲ	2 前	42
22	老年看護学特論Ⅰ	1 前	44
23	老年看護学特論Ⅱ	1 後	47
24	老年看護学特論Ⅲ	2 前	50
25	地域・在宅看護学特論Ⅰ	1 前	51
26	地域・在宅看護学特論Ⅱ	1 後	53
27	地域・在宅看護学特論Ⅲ	2 前	55
28	精神看護学特論Ⅰ	1 前	57
29	精神看護学特論Ⅱ	1 後	59
30	精神看護学特論Ⅲ	2 前	61
31	看護管理学特論Ⅰ	1 前	62
32	看護管理学特論Ⅱ	1 後	65
33	看護管理学特論Ⅲ	1 後	67
34	特別研究Ⅱ	2 通	69

講義科目名称： 看護理論

授業コード： 24MK101

英文科目名称： Nursing Theory

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	必修
担当教員			
鈴木 恵/大学院看護学研究科 横山 恵子/大学院看護学研究科 染谷 奈々子/大学院看護学研究科 西出 久美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・実践における様々な現象を言語化し判断することができる ・多様な対象に合わせた教育指導ができる ・研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ・組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を發揮することができる		
履修条件			
授業概要	看護理論の基本的構造を理解し、看護実践及び看護研究への適用について検討する。また、看護実践の基盤となる大理論、概念モデル、中範囲理論について理解し、看護実践上の現象について、理論を用いた考察を行う。		
履修目標	①質の高い看護実践を先導していく看護実践家として主要な看護理論を理解する。 ②看護実践の基盤となる看護理論を用いて、看護の実践上の現象を考察することができる。 ③看護研究、教育、看護実践を行う上での看護理論の必要性と有用性について述べるることができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス、看護理論とは、看護理論の意義、看護理論の歴史、看護理論の評価、看護理論の分類；理論のレベル 1) 大理論、2) 中範囲理論、3) 状況特定看護実践を伝えてみよう 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	2	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 看護理論の分類；理論のレベル 1) 大理論、2) 中範囲理論、3) 状況特定 看護理論を使って看護実践を伝えてみよう 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	3	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 基礎看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	4	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 成人看護学領域（急性期・回復期）における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	5	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 成人看護学領域（急性期・回復期）における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	6	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 成人看護学領域（慢性期・終末期）における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
	7	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 成人看護学領域（慢性期・終末期）における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）	
		授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分）	

	8	小児看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）
	9	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 小児看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）
	10	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 小児看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）
	11	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 小児看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）
	12	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 精神看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）
	13	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 精神看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）
	14	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） 精神看護学領域における汎用理論とその展開 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 心に残った看護実践について想起してくる。（90分）
	15	授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分） まとめ 看護理論の看護実践への貢献：各自の課題レポートを基に発表・討議 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所をよく読み、重要箇所にアンダーラインを付し、理解しておく。 課題レポートをまとめる。（90分）
		授業外事後学修課題：授業資料やテキストを読み直し、ノート整理をする。 全体発表やディスカッションを通して学んだことを整理しまとめておく（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		グループディスカッション、プレゼンテーションを行う
課題のフィードバック方法と時期		各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法・評価割合・評価基準： ・授業への参加態度（30%）：自分の考えを述べ、討議に参加している。 ・プレゼンテーションの内容と発表および質疑応答の内容（30%）：資料の要点を整理し提示しており、質疑応答が明快である。 ・課題レポート（40%）：理論に関する文献レビューのクリティックの視点が明確に記載されている。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		教科書 ・『看護理論家の業績と理論評価 第2版』筒井真優美編集(2020). 医学書院 参考書 ・『やさしく学ぶ看護理論(改訂4版)』黒田裕子監修(2016). 日総研. ・『Theoretical nursing; development & progress (Fourth Ed.). Philadelphia』Meleis, A. I. (2007). Lippincott Williams & Wilkins. ・『Concept development in nursing: Foundations, techniques, and applications (Sec. Ed.)』Rodgers, B. L. & Knaf, K. A. (2000). Philadelphia: W. B. SAUNDERS CO. ・『看護実践に活かす中範囲理論 第2版』野川道子編著(2016). メディカルフレンド社 ・フォーセット看護理論の分析と評価, 太田喜久子・筒井真優美（監訳）, 医学書院
実務経験のある教員による授業		担当教員は看護師の臨床経験を有しており、授業では事例を通して生きた実践の知を踏まえた内容を伝えます。

オフィスアワー・ 連絡先	木曜日13:00-18:00 連絡先：鈴木mail:msuzuki@soei.ac.jp 横山mail: kyokoyama@soei.ac.jp 西出mail: knishide@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	必修
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究科 染谷 奈々子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護における研究の意義と特徴を理解し、研究における理論・概念枠組み、研究デザイン、方法についての理解を深め、量的研究、質的研究の原則、特徴を学修する。また、統計の基礎を理解し、検定法やデータ解析法について学修する。さらに研究計画の立案プロセスおよび、倫理的配慮、文献のクリティークの方法などについて学修する。
履修目標	① 看護における基本的な研究デザインとその研究プロセスを説明できる ② 研究者の責任と倫理的配慮を説明できる ③ 研究論文をクリティークする方法を説明できる ④ 量的研究方法、統計の基礎と量的研究データ分析について説明できる ⑤ 質的研究方法における質的研究が理解できる ⑥ 研究計画書および修士論文の構成を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1 看護研究概論 (上條) 看護研究の目的、概念、 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 2 量的研究 (上條) 研究デザインと概念枠組み、方法の選択 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 3 量的研究 (上條) 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 4 量的研究 (上條) 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 5 量的研究 (上條) 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 6 量的研究 (上條) 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 7 量的研究 (上條) 量的研究の論文のクリティーク 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 8 量的研究 (上條) 量的研究の論文のクリティーク 授業外事前学修課題：テキストや参考書を読む。(90分) 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる (90分) 9 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 10 質的研究

	その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質的研究 その都度事前に課題を提示する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	参加型の授業である。
課題のフィードバック方法と時期	授業内、e-mailなどで質問を受け付ける。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：量的研究課題 評価割合：50% 評価基準：課題の完成度 履修目標との対応：①②③④⑥ 評価方法：質的研究課題 評価割合：50% 評価基準：課題の完成度 履修目標との対応：①②③⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 系統看護学講座別巻 看護研究 医学書院 佐藤郁也. 質的データ分析法. 新曜社. 参考文献： D.F. ボーリット & B.P. ハングラー. 押尾祥子 他（訳）. 看護研究 原理と方法. 医学書院. 早川和生. JJMスペシャル看護研究の進め方 論文の書き方 第2版. 医学書院. その他適宜提示します。
実務経験のある教員による授業	看護師経験、および研究職の経験のある看護職による講義。
オフィスアワー・連絡先	e-mailによる事前連絡にて日時をちょうせいする 連絡先： 上條 ykamiyo@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	必修
担当教員			
横山 恵子/大学院看護学研究科 吉武 久美子 山本 洋美/大学院看護学研究科 佐野 望/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①実践における様々な現象を言語化し判断することができる ②多様な対象に合わせた教育指導ができる ③研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ④組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる		
履修条件	特になし		
授業概要	倫理とは何か、倫理学の系譜、法律と倫理の関係、応用倫理学・メタ倫理学について学修し、看護実践力向上に何故倫理学を学ぶことが重要かについて考察する。さらに、組織としての倫理的課題への対策・取り組み、倫理的意思決定支援のあり方についても考究する。		
履修目標	①倫理学の形成過程、看護倫理、倫理原則、倫理綱領等を通して看護における倫理の課題分析ができる。 ②看護倫理に高い関心と親しみをもち、自己の実践を通して倫理的省察ができる。 ③法律と倫理の関係を事例を通して説明ができる。 ④看護における倫理、教育における倫理、研究における倫理について理解を深め、実践に活用できる。 ⑤倫理的視点から多様な看護場面に役割を探究できる。 ⑥病院や大学の倫理委員会の意義・役割・活動について理解し行動に移せる。		
授業計画・授業外学修課題	1 看護実践における倫理の基礎知識①・倫理とは、法と倫理 倫理理論とその歴史 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 過去の臨床経験で倫理的に気になった場面のメモをしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 2 看護実践における倫理の基礎知識②・倫理原則、倫理綱領 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 看護者の倫理綱領、倫理原則について読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 3 看護実践における多様な価値と意思決定①・自己決定論・インフォームド・コンセント 授業外事前学修課題：課題内容（時間） インフォームド・コンセントに関して過去に気になった場面についてメモしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 4 看護実践における多様な価値と意思決定②・患者の意思決定・代諾・ACP 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 患者の意思決定能力がない場合における看護者のジレンマを整理しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 5 看護実践における倫理的問題とその対応・倫理的問題解決の考え方とその方法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 臨床倫理4分割法、倫理的合意形成について読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 6 倫理的問題解決方法①ナラティブアプローチ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 倫理的に気になった事例について学生個人のナラティブを書いてまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 7 倫理的問題解決方法②・臨床倫理4分割法と倫理的合意形成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事例を読んで問いについて考えておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 8 看護研究における倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 看護研究と倫理についてまとめておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）		

	9	家族看護における倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 生殖補助医療について予習しておく（90分）
	10	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 生命始期における倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 出生前診断、人工妊娠中絶について予習しておく（90分）
	11	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 倫理コンサルテーション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自身の倫理的ジレンマ事例についてまとめておく（90分）
	12	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 倫理コンサルテーション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自身の組織における倫理的取り組みをまとめておく（90分）
	13	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神科看護における倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 精神科看護における倫理的課題について調べておく（90分）
	14	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） エンド・オブ・ライフケアにおける倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） エンド・オブ・ライフケアにおけるジレンマ事例をまとめておく（90分）
	15	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 多職種協働の実践現場における倫理的課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 多職種協働における倫理的ジレンマ事例をまとめておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		事前課題のプレゼンテーションを教材とし、ディスカッション形式で学修する
課題のフィードバック方法と時期		授業内やGoogleClassroomを活用してフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：プレゼンテーションの資料と発表内容 評価割合：40% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑥ 評価方法：グループワークへの参加 評価割合：10% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑥ 評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		テキスト 吉武久美子「看護者のための倫理的合意形成の考え方・進め方」医学書院 2017. 参考文献 鶴若麻里・麻原きよみ編「ナラティブでみる看護倫理」南江堂 2013. Megan-Jane Johnstone, Bioethics: A Nursing Perspective 7e, Elsevier, 2019. トム・L・ビーチャム、ジェイムズ・F・チルドレス「生命医学倫理」麗澤大学出版会 2009. サラT. フライ他（片田範子他訳）「看護実践の倫理」第3版 日本看護協会出版会 2010. 日本看護協会 「看護倫理」 日本看護協会サイト 2020. 今井道夫「生命倫理学入門」第3版 産業図書 2011. バーナード・ロウ（北野喜良他監訳）「医療の倫理ジレンマ」西村書店 2003. 池永満「患者の権利」九州大学出版会 1997. アルバートR. ジョンセン（赤林朗他監訳）「臨床倫理学」新興医学出版社 2006. その他、適宜紹介する
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先	横山 恵子 メールアドレス kyokoyama@soei.ac.jp 吉武 久美子 メールアドレス yoshitake.kumiko@twmu.ac.jp 山本 洋美 メールアドレス hyamamoto@soei.ac.jp 佐野 望 メールアドレス nsano@soei.ac.jp	
備考		

講義科目名称： 看護教育学

授業コード： 24MK105

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	必修
担当教員			
山本 洋美/大学院看護学研究科 榑原 哲也 小林 貴子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護教育学に関する基本的な原理、教育制度、教育内容の変遷について理解した上で、人間に関する哲学的洞察を踏まえて、看護における教育とは何か、人の発達を促進すること、人を育てることとはどのようなことかについて考察する。また、クリティークの成果発表と議論を通して、実践的看護教育方法および教育評価について多角的に学修し、理解を深める。
履修目標	①人間についての哲学的洞察ができる。 ②看護教育に関連する様々な概念を理解できる。 ③現象学的視点から看護教育のあり方を考察できる。 ④看護教育の授業展開を支える理論を理解する。 ⑤看護教育カリキュラム・授業設計、教授方法、授業評価などに関する基礎知識を理解する。 ⑥実際に授業を展開し、評価できる。
授業計画・授業外学修課題	1 人間とは、人間に関する哲学的洞察を踏まえて、人間の成長や発達課題についてそして教育を考える 授業外事前学修課題：「現象学的人間論と看護」第2章を中心に、第1～第3章を読んで参加する 2 現象学的教育論 授業外事前学修課題：「現象学的人間論と看護」第2章を中心に、第1～第3章を読んで参加する 3 看護サービス提供場面を現象学的看護論から捉える① 授業外事前学修課題：「現象学的人間論と看護」第2章を中心に、第1～第3章を読んで参加する 4 看護サービス提供場面を現象学的看護論から捉える② 授業外事前学修課題：「現象学的人間論と看護」第2章を中心に、第1～第3章を読んで参加する 5 看護教育学と今日の課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6 看護学教育の新しいパラダイム① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7 看護学教育の新しいパラダイム② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8 看護教育制度、看護学教育課程、教育内容の変遷 授業外事前学修課題：「看護教育学」第1～3、5～6章を読み、プレゼンできるようにしておく。 9 看護学教育授業展開論① 授業外事前学修課題：「看護教育学」第1～3、5～6章を読み、プレゼンできるようにしておく。 10 看護学教育授業展開論② 授業外事前学修課題：「看護教育学」第1～3、5～6章を読み、プレゼンできるようにしておく。

	11	看護学教育授業展開論③ 授業外事前学修課題：「経験型実習教育」を読み、プレゼンできるようにしておく。
	12	看護学教育授業展開論④ 授業外事前学修課題：困った指導・教育場面の提示
	13	看護学教育授業展開論⑤ 授業外事前学修課題：困った指導・教育場面の提示
	14	授業展開の実際① 模擬授業 授業外事前学修課題：授業案の作成とその模擬授業（アクティブラーニング）を行い、相互評価する。
	15	授業展開の実際② 模擬授業 授業外事前学修課題：授業案の作成とその模擬授業（アクティブラーニング）を行い、相互評価する。
アクティブラーニングを用いた授業方法		
課題のフィードバック方法と時期		
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：課題のプレゼンテーション・討議 評価割合：50% 評価方法：授業案の作成・模擬授業 評価割合：50%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		・ベナー／ルーベル（難波卓志訳）現象学的人間論と看護 医学書院 ・杉森みど里 舟島なをみ著 看護教育学 医学書院 ・安酸史子、経験型実習教育、医学書院 ・E. オリヴィア・ペヴィス、ジーン・ワトソン：ケアリングカリキュラム、看護教育の新しいパラダイム、医学書院 その他授業時に提示、配布する。
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先		
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究所			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	今日の保健・医療・福祉を取り巻く社会状況や医療制度改革の背景を認識し、看護マネジメントの視点から、組織において看護専門職が果たす役割と課題を捉える。ケアサービスの対象とサービス提供者の特性を踏まえ、看護マネジメントの場をどのように創造していくか、組織分析の方法、人的資源活用、リーダーシップ等について学修し、ケア改善に向けた組織化・制度化、マネジメントの在り方や施策への提言等についての理解を深める。
履修目標	① 保健医療福祉制度、医療制度改革について理解し、今日的課題を踏まえ看護専門職の役割を追求する。 ② 組織運営に関連する理論や組織分析の手法を学び、医療サービスの向上について考察する。 ③ ケア改善に向けたマネジメントのあり方、効果的なリーダーシップ、看護政策への提言について考究する。
授業計画・授業外学修課題	1 看護管理学概論 看護管理学概論：管理過程、看護管理の要素とプロセス理論、看護提供方式について学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 2 組織管理論 組織理念、組織構造、組織文化、目標管理、マグネットホスピタルについて学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 3 組織管理論 組織分析、マーケティングについて学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 4 看護サービスと質管理 サービスの概念、医療・看護サービスの質管理、ドナベディアン医療の質、ベンチマーク、アウトカムマネジメントについて学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 5 看護制度・看護政策 診療報酬制度における看護の評価、看護職のための政策について学修し政策提言を考える 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 6 問題解決手法、目標設定 真の問題を探る方法、ギャップ分析の方法を学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 7 人的資源活用 グループマネジメント、ファシリテーション、チームビルディング、諸外国の勤務表について学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 8 人的資源活用 文献検討を行い最新の状況を把握する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 9 リーダーシップ理論

	リーダーシップとフォロワーシップについて、状況・場面における様々なリーダーシップ理論について学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） リーダーシップ理論 組織における看護の質向上のために必要なスキルとしてのリーダーシップとフォロワーシップについて学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） リーダーシップ理論 VUCAの時代のリーダーシップとフォロワーシップについて考える 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 医療安全学と看護の質管理 言葉の定義、最近の動向について学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 医療安全とその戦略 最近の動向について学修する（ナッジ理論、Safety1&Safety2） 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 看護専門職論 スペシャリストの育成と課題；高度専門看護師、CNS、NP、特定行為研修、外来看護師のスペシャリティ等について学修する 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分） 看護管理学の課題 現在の看護管理学、施設の管理などの課題とその対策を考えてプレゼンテーションを行う 授業外事前学修課題：テキスト・参考資料・指定した論文を読みプレゼンテーション準備をする（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容および考えたことをまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	質疑、討論、プレゼンテーションを用いた授業である。
課題のフィードバック方法と時期	授業内、または授業外の質問などは電子メールでフィードバックする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：質疑・討論 評価割合：20% 評価基準：授業項目の内容に合っているか、今後活かすことができるか。 履修目標との対応：①②③ 評価方法：プレゼンテーション・文献検討 評価割合：50% 評価基準：授業項目の内容に合っているか、今後活かすことができるか。 履修目標との対応：①②③ 評価方法：レポートの内容 評価割合：30% 評価基準：授業項目の内容に合っているか、今後活かすことができるか、新しい知見があるか。 履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 看護管理学習テキスト第3版 第1～4巻 日本看護協会出版会（2023） 参考文献： Avedis Donabedian（著），東尚弘（訳），医療の質の定義と評価方法，iHope.（2010） 見藤隆子，他．看護職者のための政策過程入門．日本看護協会出版会．（2017）
実務経験のある教員による授業	大学および大学院における看護管理学教育経験14年。認定看護管理者研修講師として13年。職場での管理職経験10年以上。
オフィスアワー・連絡先	メールによる事前連絡にて日時を調整する 連絡先（e-mail） ykamiyo@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
佐野 望/大学院看護学研究科 山口 智美/大学院看護学研究科 横山 恵子/大学院看護学研究科 山本 洋美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①多様な看護実践・看護教育の場で教育・研究的視点を持ち看護を創造することができる ②社会貢献を役割として地域医療の質向上に向けて看護実践力を発揮することができる ③組織の看護の向上に向けて役割を発揮することができる ④学問的裏付けに基づく看護管理力を発揮することができる		
履修条件	特になし		
授業概要	看護は実践の科学であり、看護の理論を基盤にして実践され研究されることによって学問的に体系化されていくことを理解する。また、看護専門職についての概念を理解し、看護実践者としての自己を省察し専門職の在り方について考察するとともに、看護が提供される対象や場に対し、質の改善に向けて実践する専門職の在り方を多面的に多様な立場から分析し、専門職としての責任を果たす能力の育成について考察する。		
履修目標	①看護は実践の科学であることを理解する ②看護実践と理論活用文献を検討し、看護実践上の課題を分析する ③看護実践者としての自己を省察し、専門職の在り方について考察できる ④看護のスペシャリストの現状について理解できる ⑤米国の看護の専門性について理解できる ⑥病院、福祉施設、在宅での看護の専門性や現状について理解できる		
授業計画・授業外学修課題	1	看護科学発展の歴史 実践の科学とは何か 授業外事前学修課題： 看護の専門性たる所以を整理する（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	2	看護における専門職性と看護専門職者の能力 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業テーマについて状況を把握し、A4用紙1枚にまとめて授業で発表できるようにする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	3	看護専門職として実践・指導に必要な理論と技術 授業外事前学修課題： 授業テーマについて状況を把握し、A4用紙1枚にまとめて授業で発表できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	4	看護専門職者の能力開発に関する文献検討 授業外事前学修課題： 授業テーマについて状況を把握し、A4用紙1枚にまとめて授業で発表できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	5	修士課程で習得すべき10の能力 授業外事前学修課題： 授業テーマについてのトピックスや状況を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	6	看護師の専門性（専門性と専門職） 授業外事前学修課題： 授業テーマについてのトピックスや状況を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	7	看護の専門職性に関する研究 授業外事前学修課題： 授業テーマについてのトピックスや状況を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	8	母性看護専門看護師の役割	

	授業外事前学修課題： 授業テーマについてのトピックスや状況を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 地域包括的ケアシステムにおける看護職の専門性と役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについての、最近の情勢（報道等）を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業に持参すること（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 日本の健康課題と健康日本21（第2次）政策と看護職の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについての、最近の情勢（報道等）を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業に持参すること（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 健やか親子21（第2次）・次世代育成支援における看護職の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについての、最近の情勢（報道等）を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業に持参すること（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 専門職としてのコミュニケーション能力 授業外事前学修課題： 自己のコミュニケーションの特徴について、A4用紙1枚にまとめて授業に持参する（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） メンタルヘルス問題を抱える人への支援 授業外事前学修課題： 関心のあるメンタルヘルス問題を調べ、A4用紙1枚にまとめて授業で報告する（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 看護職の家族支援と自助グループの機能 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神看護専門看護師の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	9
	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 日本の健康課題と健康日本21（第2次）政策と看護職の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについての、最近の情勢（報道等）を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業に持参すること（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 健やか親子21（第2次）・次世代育成支援における看護職の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについての、最近の情勢（報道等）を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業に持参すること（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 専門職としてのコミュニケーション能力 授業外事前学修課題： 自己のコミュニケーションの特徴について、A4用紙1枚にまとめて授業に持参する（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） メンタルヘルス問題を抱える人への支援 授業外事前学修課題： 関心のあるメンタルヘルス問題を調べ、A4用紙1枚にまとめて授業で報告する（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 看護職の家族支援と自助グループの機能 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神看護専門看護師の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	10
	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 健やか親子21（第2次）・次世代育成支援における看護職の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについての、最近の情勢（報道等）を情報収集し、A4用紙1枚にまとめて授業に持参すること（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 専門職としてのコミュニケーション能力 授業外事前学修課題： 自己のコミュニケーションの特徴について、A4用紙1枚にまとめて授業に持参する（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） メンタルヘルス問題を抱える人への支援 授業外事前学修課題： 関心のあるメンタルヘルス問題を調べ、A4用紙1枚にまとめて授業で報告する（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 看護職の家族支援と自助グループの機能 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神看護専門看護師の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	11
	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 専門職としてのコミュニケーション能力 授業外事前学修課題： 自己のコミュニケーションの特徴について、A4用紙1枚にまとめて授業に持参する（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） メンタルヘルス問題を抱える人への支援 授業外事前学修課題： 関心のあるメンタルヘルス問題を調べ、A4用紙1枚にまとめて授業で報告する（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 看護職の家族支援と自助グループの機能 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神看護専門看護師の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	12
	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） メンタルヘルス問題を抱える人への支援 授業外事前学修課題： 関心のあるメンタルヘルス問題を調べ、A4用紙1枚にまとめて授業で報告する（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 看護職の家族支援と自助グループの機能 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神看護専門看護師の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	13
	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 看護職の家族支援と自助グループの機能 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神看護専門看護師の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	14
	授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分） 精神看護専門看護師の役割 授業外事前学修課題： 授業テーマについて、A4用紙1枚にまとめて授業で報告できるようにする（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	15
アクティブラーニングを用いた授業方法	事前課題のプレゼンテーションを教材とし、ディスカッション形式で学修する	
課題のフィードバック方法と時期	授業内やGoogleClassroomを活用してフィードバックする	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：プレゼンテーションの資料と発表内容 評価割合：40% 評価基準：課題の内容が十分表現でき、ディスカッションの材料となれば60点 履修目標との対応：①～⑥ 評価方法：グループワークへの参加 評価割合：10% 評価基準：自己の体験を元に課題内容について発言し、他者の意見を聞きながら思考の深まりを表現できれば60点 履修目標との対応：①～⑥ 評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：授業内容を含め、さらに自己学習を加えてレポートでいれば60点 履修目標との対応：①～⑥	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する	
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う	
オフィスアワー・連絡先	横山 恵子 メールアドレス kyokoyama@soei.ac.jp 山口 智美 メールアドレス tyamaguchi@soei.ac.jp 山本 洋美 メールアドレス hyamamoto@soei.ac.jp	

	佐野 望 メールアドレス sano@soei.ac.jp
備考	本科目は実務経験がない学生が入学した場合の必修科目である。看護実践学をふまえ各看護領域のスペシャリストから講義を受け広く看護の専門性について理解してもらえるよう組み立てている。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
山口 智美/大学院看護学研究科 西出 久美/大学院看護学研究科 山下 麻実/大学院看護学研究科 澤登 久雄 門倉 光隆			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	特になし
授業概要	医療を取り巻く環境と医療提供の変遷におけるチーム医療の形成過程および現状のチーム医療の課題について探求するとともに、保健・医療・福祉の連携と法理、施設内のチーム医療、専門職のチーム医療、他施設との連携等、チーム医療の意義と実態並びに多職種間の協働の促進について考察する。
履修目標	①保健医療福祉の連携と法理、施設内・外のチーム医療の現状と課題が理解できる。 ②チームを形成し、専門性の相違を尊重したうえで多職種間の協働についてデザインできる。 ③チーム医療と他職種間の協働の促進についてデザインできる。
授業計画・授業外学修課題	1 患者中心のチーム医療概論、チーム医療の変遷 「患者中心のチーム医療概論、チーム医療の変遷」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 2 あなたにとって「チーム医療」とは？ 「あなたにとって「チーム医療」とは？」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 3 チーム医療を構成する要素とその困難性 「チーム医療を構成する要素とその困難性」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 4 これからの「チーム医療」、その推進にむけて 「これからの「チーム医療」、その推進にむけて」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 5 医療効率・経済的視点のチーム医療 「医療効率・経済的視点のチーム医療」の講義を聞き、討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 6 チーム医療への期待と課題(Doctor's Viewpoints) 「チーム医療への期待と課題(Doctor's Viewpoints)」の講義を聞き、討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べる（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 7 小児看護におけるチーム医療① 「小児看護におけるチーム医療」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 8 小児看護におけるチーム医療② 「小児看護におけるチーム医療」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 9 がん看護とチーム医療① 「がん看護とチーム医療」について、各自のレポートを発表・討議を行う。

	授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） がん看護とチーム医療② 「がん看護とチーム医療」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 地域包括ケアと地域共生社会における連携・協働① 「地域包括ケアと地域共生社会における連携・協働」の講義を聞き、討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 地域包括ケアと地域共生社会における連携・協働② 「地域包括ケアと地域共生社会における連携・協働」の講義を聞き、討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 地域完結型医療でのチーム医療とは 「地域完結型医療でのチーム医療とは」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） 保健医療福祉サービスの改革と求められる多職種連携 「保健医療福祉サービスの改革と求められる多職種連携」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分） チーム医療の展望と今後の課題 「チーム医療の展望と今後の課題」について、各自のレポートを発表・討議を行う。 授業外事前学修課題：課題について文献を調べてレポートを作成する（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、まとめ、今後の看護実践での課題を考える（90分）
10	
11	
12	
13	
14	
15	
アクティブラーニングを用いた授業方法	授業テーマについて各自がレポートを作成し、発表・討議を行う。
課題のフィードバック方法と時期	授業中の発表・討議の中でフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：文献を使用し、課題についてまとめ、自分の考えが述べられていれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇 評価方法：討議への参加度 評価割合：20% 評価基準：積極的に討議に参加すれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇 評価方法：課題作詞の資料 評価割合：50% 評価基準：レポートの書き方、文献の活用、要点を整理し、わかりやすく記載できていれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：10% 評価基準：課題について資料に基づき、時間内でわかりやすくプレゼンテーションできれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	参考書 水元清久ほか編著：実践チーム医療論（医歯薬出版株式会社） 篠田道子著：多職種連携を高めるチームマネジメントの知識とスキル（医学書院） 細田満知子著：「チーム医療」とは何か（日本看護協会出版会） 上記以外については、随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	それぞれの分野でチーム医療や多職種連携・協働の実践を経験をいかして講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	山口智美・山下麻実、西出久美：担当の初回授業で説明する。 門倉光隆・澤登久雄：授業時別途支持する。
備考	・自らの実践現場のチーム医療の現状を明らかにして、より効果的な実践に向けた戦略と一緒に学んでいけることを期待します。 ・臨床思考型研究能力を培うため実際に使用しているチーム医療の題材を収集しておくこと ・講義の進行、内容などは受講生との調整を行い一部変更の可能性がある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
後で入力			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	健康について学際的な視点から捉えるとともに、多様なデータを読み取り分析する能力を身につける。また、看護の対象に対して、疫学的な知識を活用して実践に応用する、さらに、研究において統計学的な視点から分析・評価できる力を修得する。
履修目標	看護の現場において、量的データを収集し、これを分析・評価することができるようになることを目指す。また、その結果を看護現場へ還元することで看護実践の向上に活かすことができる。
授業計画・授業外学修課題	1 保健統計学、健康情報とは 授業外事前学修課題：毎回事前に課題を提示する。 2 根拠に基づく医療・看護の実践 3 データの特徴とその読み取り① 尺度の種類と特徴 4 データの特徴とその読み取り② 5 研究デザイン① 記述統計学・生態学研究 6 研究デザイン② 症例対象研究・コホート研究 7 アンケート調査とその処理 8 心理・調査データの解析 尺度とは 9 因果関係と相関関係 10 健康情報処理演習①；SPSSを用いたデータ分析 項目分析 相関 11 健康情報処理演習②；SPSSを用いたデータ分析 t検定 χ^2検定 12 健康情報処理演習③；SPSSを用いたデータ分析 多変量分散分析 13 健康情報処理演習④；SPSSを用いたデータ分析 因子分析 14 健康情報処理演習⑤；Amosを用いたデータ分析 15 健康情報と看護への活用
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：授業の事前準備 評価割合：10% 評価方法：質疑・討論 評価割合：20% 評価方法：SPSSによる課題提出 評価割合：50%

	評価方法：レポート 評価割合：20%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	参考文献は適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
榊原 哲也			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護がどのような人間の営みであるのかを、近年、看護実践における質的研究で注目されている現象学という哲学の思想を手がかりに見つめ直す。また人と人とが複雑に関わり合う看護ケアの場面において、その人が経験している意味世界に関心を向け、現象の本質を解き明かす試みを展開する。
履修目標	①人々を全人的に理解し尊重する在り方について考え、説明できる。 ②看護ケアの営みを考えるための現象学の思想について、その基本的な論点を説明できる。 ③看護ケアの場面におけるその人の経験の意味を考え、討論することができる。
授業計画・授業外学修課題	1 イントロダクション：ケアの本質 「ケアの本質」を読んでおく 2 看護の臨床判断のプロセス：倫理的基盤としてのケアリング 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 3 ケアの場面で何が起きているのか：病いの語り 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 4 ケアの場面で何が起きているのか：ケアリングにおける身体観/ホリスティック・コミュニケーション 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 5 看護のための現象学 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 6 「疾患」と「病い」：人はどのように病気を経験するのか 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 7 自然科学的思考とその問題点 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 8 「病い」体験を理解するために：現象学という哲学の導入 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 9 フッサールの現象学：人は意味の世界に生きている 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 10 ハイデガーの現象学：人間の本質はケアすることにある 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 11 ハイデガーの現象学：この世に生まれ、生き、そして死ぬということ 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 12 メルロ＝ポンティの現象学：身体の働き 提示された課題について、プレゼンテーション資料を作成し、討議できるよう準備する。 13 事例提示と討論：現象学的還元を試み看護ケアの場面におけるその人の経験の意味を解き明かし、確信として成立している構造やパターン（本質観取）について討論する 人との関わりのなかで遭遇した、生きてゆくことへの苦悩など、その人の意識に生じた現象とその意味について、事例として提示できるようにしておく。 14 事例提示と討論：現象学的還元を試み看護ケアの場面におけるその人の経験の意味を解き明かし、確信として成立している構造やパターン（本質観取）について討論する 人との関わりのなかで遭遇した、生きてゆくことへの苦悩など、その人の意識に生じた現象とその意味について、事例として提示できるようにしておく。 15 事例提示と討論：現象学的還元を試み看護ケアの場面におけるその人の経験の意味を解き明かし、確信として成立している構造やパターン（本質観取）について討論する 人との関わりのなかで遭遇した、生きてゆくことへの苦悩など、その人の意識に生じた現象とその意味について、事例として提示できるようにしておく。
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学	討議への取り組み30% 課題レポート70%

修到達目標との対応	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	榊原哲也（2018）．医療ケアを問いなおす―患者をトータルにみることの現象学．ちくま新書． 西村ユミ・榊原哲也編著（2017）．ケアの実践とは何か：現象学からの質的研究アプローチ．ナカニシヤ出版． Benner, P. & Wrubel, J, (1989)／難波卓志訳（1999）．現象学的人間論と看護．医学書院． Arthur Kleinman（1989）／江口重幸・上野豪志・五木田紳訳（1996）．病いの語り．誠信書房． Milton Mayeroff（1971）／山村真・向野亘之訳（1987）．ケアの本質．ゆみる出版
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	本授業の履修に先立ち、共通科目の「看護教育学」を履修していることが望ましい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2 単位	選択
担当教員			
鈴木 恵/大学院看護学研究科 本多和子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・実践における様々な現象を言語化し判断することができる ・研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ・組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる		
履修条件	特になし		
授業概要	ケアの本質について考察し、研究の動向を概観する。 自身が経験した中で、着目すべき看護現象を探索し、その現象の中にある問題と、その問題を解決するための看護支援を抽出し、その支援の目的、支援のプロセスと構造、周囲の環境、実施する際の倫理上の懸念事項等について、実践のあり方を文献精読とディスカッションを通じて探究する。		
履修目標	①ケアの本質について、関連する内外の文献を通して理解する ②自身が経験した中で、着目すべき看護現象の中にある問題と、その問題を解決するための看護支援を抽出する。 ③着目すべき看護現象に対する支援の目的、支援のプロセスと構造、周囲の環境、実施する際の倫理上の懸念事項等について明確にし、実践のあり方を探求できる。		
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス・文献検索方法についてケアの本質について看護技術について 担当：鈴木 授業外事前学修課題：シラバスを読み、講義目標と内容を理解する（60分） 授業外事後学修課題：授業内容の理解を深め、自身の中で不足する学習内容を補完する（90分） 2 ケアの本質について看護技術について 担当：鈴木 授業外事前学修課題：ケアの本質について考察してくる（60分） 授業外事後学修課題：授業内容の理解を深め、自身の中で不足する学習内容を補完する（90分） 3 看護技術における今日的課題と看護職の役割 担当：鈴木 授業外事前学修課題：看護技術における今日的課題と看護職の役割について調べる（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークから看護技術における今日的課題と看護職の役割について学習内容を補完する（90分） 4 看護技術における今日的課題と看護職の役割 担当：鈴木 授業外事前学修課題：看護技術における今日的課題と看護職の役割について調べる（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークから看護技術における今日的課題と看護職の役割について学習内容を補完する（90分） 5 死にゆく人へのケア 担当：鈴木 授業外事前学修課題：死にゆく人へのケアについて看護職の役割を考察する（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、書籍や資料を考察し学習内容を補完する（90分） 6 死にゆく人へのケア 担当：鈴木 授業外事前学修課題：死にゆく人へのケアについて看護職の役割を考察する（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、書籍や資料を考察し学習内容を補完する（90分） 7 自身が経験した中で、着目すべき看護現象を探索し、その現象の中にある問題と、その問題を解決するための看護支援を抽出する。 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索しクリティークする（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークを深め看護現象について学習内容を補完する（90分） 8 関心のある看護支援の目的、支援のプロセスと構造について、実践のあり方を探究する。 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し実践のあり方を探求する（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークを深め看護現象について学習内容を補完する（90分） 9 関心のある看護支援の目的、支援のプロセスと構造について、実践のあり方を探究する。 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し実践のあり方を探求する（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークを深め看護現象について		

	1 0 学習内容を補完する（90分） 関心のある看護支援の周囲の環境、実施する際の倫理上の懸念事項等について、実践のあり方を探究する。 担当：本多 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し実践のあり方を探求する（90分） 1 1 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークを深め看護現象について学習内容を補完する（90分） 関心のある看護支援の周囲の環境、実施する際の倫理上の懸念事項等について、実践のあり方を探究する。 担当：本多 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し実践のあり方を探求する（90分） 1 2 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、文献クリティークを深め看護現象について学習内容を補完する（90分） 自身の関心がある看護支援上の課題について、文献や書籍等から現状を把握し、その動向を明らかにして発表する 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探し精読する（90分） 1 3 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、学習内容を補完する（90分） 自身の関心がある看護支援上の課題について、文献や書籍等から現状を把握し、その動向を明らかにして発表する 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探し精読する（90分） 1 4 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、学習内容を補完する（90分） 関心のある看護支援の現時点でのエビデンスを明らかにし、今後の研究の方向性について探究する。 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し現時点でのエビデンスを明らかにする（90分） 1 5 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看護現象について研究の方向性について学習内容を補完する（90分） 関心のある看護支援の現時点でのエビデンスを明らかにし、今後の研究の方向性について探究する。 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看護現象を含む文献を探索し現時点でのエビデンスを明らかにする（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看護現象について研究の方向性について学習内容を補完する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	プレゼンテーションとディスカッション
課題のフィードバック方法と時期	プレゼンテーションとディスカッションとディスカッションの後に、フィードバック・講評をする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題資料の作成とプレゼンテーション、レポート 評価割合：資料作成とプレゼンテーション50%、レポート50%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	日本看護技術学会誌、日本看護科学学会誌、日本看護学教育学会誌等から論文を紹介する。 参考図書： 川島みどり著：看護技術の現在 勁草書房 ミルトン・メイヤロフ著：ケアの本質 その他、講義に関連するテキストや文献を随時提示する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床経験、教員としての研究実績を活かした講義演習を行います。
オフィスアワー・連絡先	木曜日：9:00-12:00 連絡先：msuzuki@soei.ac.jp
備考	受講者によるプレゼンテーション、ディスカッションを中心にすすめるので準備学習を行い授業に参加してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2 単位	選択
担当教員			
鈴木 恵/大学院看護学研究科 本多和子/大学院看護研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・実践における様々な現象を言語化し判断することができる ・研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ・組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる		
履修条件	特になし		
授業概要	人生の最期に関わるケアについて、関連する諸理論や研究論文のレビューとクリティークをとおして、多角的に探求、考察する。		
履修目標	1. 人生の最期に関わるケアについて研究論文をクリティーク及びプレゼンテーションし、討議できる。 2. 人生の最期に関わるケアについて知識を深め、より質の高い看取りケアの実践について考察できる 3. 看取りの実践の場で対応する多職種の役割を認識し、円滑な連携について考察できる。 4. 人生の最期に関わるケアについて言語化し、探求できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	看取りを取り巻く日本の状況 担当：鈴木 授業外事前学修課題：看取りを取り巻く日本の状況について調べる（90分） 授業外事後学修課題：看取りを取り巻く日本の状況についてまとめる（90分）	
	2	死を迎える人の身体的・心理的变化 担当：鈴木 授業外事前学修課題：死を迎える人の身体的・心理的变化について調べる（90分） 授業外事後学修課題：死を迎える人の身体的・心理的变化についてまとめる（90分）	
	3	終末期の痛みや不安感への対応 担当：鈴木 授業外事前学修課題：終末期の痛みや不安感への対応について調べる（90分） 授業外事後学修課題：終末期の痛みや不安感への対応についてまとめる（90分）	
	4	終末期の食べること（食べられないこと）への対応 担当：鈴木 授業外事前学修課題：終末期の食べること（食べられないこと）への対応について調べる（90分） 授業外事後学修課題：終末期の食べること（食べられないこと）への対応についてまとめる（90分）	
	5	人生の最期に関わるケア： がん患者 担当：本多 授業外事前学修課題：がん患者の人生の最期に関わるケアについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：がん患者の人生の最期に関わるケアについてまとめる（90分）	
	6	人生の最期に関わるケア： がん患者 担当：本多 授業外事前学修課題：がん患者の人生の最期に関わるケアについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：がん患者の人生の最期に関わるケアについてまとめる（90分）	
	7	人生の最期に関わるケア： 地域で暮らす高齢者 担当：鈴木 授業外事前学修課題：地域で暮らす高齢者の人生の最期に関わるケアについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：地域で暮らす高齢者の人生の最期に関わるケアについてまとめる（90分）	
	8	人生の最期に関わるケア： 地域で暮らす高齢者 担当：鈴木 授業外事前学修課題：地域で暮らす高齢者の人生の最期に関わるケアについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：地域で暮らす高齢者の人生の最期に関わるケアについてまとめる（90分）	
	9	人生の最期のケアについてコーチングの視点から考える 担当：鈴木 授業外事前学修課題：事前資料を熟読しわからない言葉について調べる（90分） 授業外事後学修課題：コーチングの視点から人生の最後のケアについて考察を深める（90分）	
	10	人生の最期のケアについてコーチングの視点から考える 担当：鈴木 授業外事前学修課題：事前資料を熟読しわからない言葉について調べる（90分） 授業外事後学修課題：コーチングの視点から人生の最後のケアについて考察を深める（90分）	
	11	関心のある看取りケアの現時点でのエビデンスを明らかにし、今後の研究の方向性について探究するとともに、人生の最期のケアについて、看護師が果たすべき役割と支援について考える 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看取りケアを含む文献を探索し現時点でのエビデンスを明らかにする（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看取りケアに関する研究の方向性について	

	1 2 学習内容を補完する（90分） 関心のある看取りケアの現時点でのエビデンスを明らかにし、今後の研究の方向性について探究するとともに、人生の最期のケアについて、看護師が果たすべき役割と支援について考える 担当：鈴木 授業外事前学修課題：関心のある看取りケアを含む文献を探索し現時点でのエビデンスを明らかにする（90分） 1 3 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看取りケアに関する研究の方向性について学習内容を補完する（90分） 事例学習：看取りケアについて、看護師が果たすべき役割を理解し、模擬的に支援計画を立案する 担当：鈴木 授業外事前学修課題：自身で検討する事例を作成もしくは選定する（90分） 1 4 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看取りケアに関する学習内容を補完する（90分） 事例学習：看取りケアについて、看護師が果たすべき役割を理解し、模擬的に支援計画を立案する 担当：鈴木 授業外事前学修課題：自身で検討する事例を作成もしくは選定する（90分） 1 5 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看取りケアに関する学習内容を補完する（90分） 事例学習：看取りケアについて、看護師が果たすべき役割を理解し、模擬的に支援計画を立案する 担当：鈴木 授業外事前学修課題：自身で検討する事例を作成もしくは選定する（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションを振り返り、看取りケアに関する学習内容を補完する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	プレゼンテーションとディスカッション
課題のフィードバック方法と時期	プレゼンテーションとディスカッション後に、フィードバック・講評をする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題資料の作成とプレゼンテーション、レポート 評価割合：資料作成とプレゼンテーション50%、レポート50%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	日本看護技術学会誌、日本看護科学学会誌、日本看護学教育学会誌等から論文を紹介する。 参考図書・資料： E・キューブラーロス 死ぬ瞬間 柏木哲夫 死にゆく人々のケア 日本財団 人生の最後の迎え方に関する全国調査、日本財団. 2021 その他、講義に関連するテキストや文献を随時提示する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床経験、教員としての研究実績を活かした講義演習を行います。
オフィスアワー・連絡先	木曜日：9:00-12:00 連絡先：msuzuki@soei.ac.jp
備考	受講者によるプレゼンテーション、ディスカッションを中心にすすめるので準備学習を行い授業に参加してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
鈴木 恵/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・実践における様々な現象を言語化し判断することができる ・研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ・組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる		
履修条件	特になし		
授業概要	対象の生活の拠点を基盤として、全人的ケアに取り組んでいる施設に出向いて視察し、ケア要素と提供システムについて理解し、質の高い看護師の専門的実践能力のあり方について探求する。		
履修目標	①自身の研究課題に関連した臨床現場における現状を理解する ②臨地実習を通して、看護ケアの実践例とその利点・課題を述べられる ③臨地実習を通して、質の高い看護実践について考察できる ④臨地実習を通して、自己の研究課題の妥当性や実現可能性を検討し、研究内容を具体化することができる		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンスと実習計画立案 授業外事前学修課題：ケア技術特論ⅠⅡで学んだことを基盤として、実習を依頼する施設を調べてくる（90分）	
	2	授業外事後学修課題：実習計画の洗練（90分） 実習計画立案 授業外事前学修課題：ケア技術特論ⅠⅡで学んだことを基盤として、実習を依頼する施設を調べてくる（90分）	
	3	授業外事後学修課題：実習計画の洗練（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	4	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	5	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	6	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	7	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	8	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	9	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	10	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	11	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分）	
	12	授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実習計画に沿って実習を実践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分） 授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分）	

	13 実習計画に沿って実習を实践する 授業外事前学修課題：一日の実習計画の立案（90分） 14 授業外事後学修課題：実習内容の振り返り（90分） 実践プロセスにおいて、自身の研究についての関心を見出し、研究内容を洗練させる 授業外事前学修課題：質の高い看護実践について、文献を踏まえて検討する（90分） 15 授業外事後学修課題：研究内容について考察するとともに、質の高い看護実践についてレポートを作成する（90分） 実践プロセスにおいて、自身の研究についての関心を見出し、研究内容を洗練させる 授業外事前学修課題：質の高い看護実践について、文献を踏まえて検討する（90分） 授業外事後学修課題：研究内容について考察するとともに、質の高い看護実践についてレポートを作成する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	実習中のカンファレンスやディスカッション
課題のフィードバック方法と時期	ディスカッション後に、フィードバック・講評をする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：演習、カンファレンスやディスカッション、レポート 評価割合：演習内容40%、カンファレンスやディスカッション20%、レポート40%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	特に指定しない。 必要時提示する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床経験、教員としての研究実績を活かし演習を支援します。
オフィスアワー・連絡先	木曜日：9:00-12:00 連絡先：msuzuki@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
山本 洋美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	女性の発達段階の各期の特徴と健康問題を分析し、母性看護学で適用される理論をふまえ、女性やその家族に生じている様々な健康問題を認識し、今日的な課題を把握する。また、課題を解決するための理論、実践方法、研究方法を研究論文野検討を通して探求する。
履修目標	①女性やその家族の健康問題を適切に把握、分析するための理論を学ぶ ②女性やその家族の健康に影響する諸因子と今日的な健康問題を学ぶ ③女性やその家族の健康課題の解決に際して、高度な看護実践を行うための理論、個別性に応じた看護実践の方法、研究方法を文献検討を通して考察する。
授業計画・授業外学修課題	1・2 母性看護に関する研究文献の検索と活用 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 3・4 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 女性の発達段階の各期の特徴と健康問題 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 5・6 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 女性の健康に影響を及ぼす諸因子と今日的な健康課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 7・8 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 璃ブラダくていぶ・ヘルス／ライツの概念と母性看護 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 9・10 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） ジェンダー・しえくしゅアリティの視点と母子看護 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 11・12 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） ヘルスプロモーション理論と母性看護 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 13～26 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 母親役割、プレコンセプション、パートナーシップ、周産期メンタルヘルス等母性看護特有の理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 27・28 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 母子保健医療福祉制度、女性の健康政策、ヘルスケアシステム 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 29・30 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 母性看護における今日的課題と看護職の役割、多職種連携 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ディスカッションをとおして課題や問題を明確にする
課題のフィードバック方法と時期	

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：プレゼンテーション、課題レポート、その他（参加度、予習・復習） 評価割合：プレゼンテーション30%、課題レポート30%、その他40% 評価基準： 履修目標との対応：
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する
実務経験のある教員による授業	看護師・助産師・保健師経験、研究指導の経験や査読経験がある。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
山本 洋美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	母性看護学特論Ⅱ看護学における看護論文オ文献レビュー、クリティーク、プレゼンテーション、ディスカッションを通して、様々な研究課題を論理的・批判的・分析的に探求する。母性看護学における研究方法とその課題及び展墓について検討し、事故の研究課題に関連付けて探求する。
履修目標	①研究論文の文献レビュー、クリティークの目的と方法を習得できる ②研究の目的を明確にし母性看護学特有の研究問題を定義できる。 ③PICO/PECOの要素を考慮しながら、研究デザインを決定できる ④研究プロトコルを作成することができる ⑤自己の研究課題に関連付けたプレゼンテーション、ディスカッションができる ⑥母性看護学特有の倫理観について探求できる
授業計画・授業外学修課題	1・2 研究論文のレビュー・クリティーク 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 3～20 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） プレコンセプションケア、周産期メンタルヘルス、妊娠・出産・育児期のケア、母性看護学における研究論文クリティーク 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 21～24 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） PICO/PECO、研究プロトコルの作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 25～28 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 母性看護学における研究方法（量的・質的研究） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 29・30 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 母性看護学の研究の動向と自己の研究課題に関する考察 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献・課題の準備（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ディスカッションをとおして課題や問題を明確にする
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：プレゼンテーション、課題レポート、その他（参加度、予習・復習） 評価割合：プレゼンテーション30%、課題レポート30%、その他40% 履修目標との対応：
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する
実務経験のある教員による授業	看護師・助産師・保健師経験、研究指導の経験や査読経験がある。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する
備考	

講義科目名称： 母性看護学特論Ⅲ

授業コード： 24MS113

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
山本 洋美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	母性看護の対象に実践看護学分野の諸理論やエビデンスに基づく臨床判断のもとに専門的知識・技術を適用し、看護実践を行うことによって健康問題を専門的・統合的にとらえ、看護実践の質向上に向けた看護について追求する
履修目標	①母性看護学の対象及び場の特徴を把握し、対象の健康問題をアセスメントできる ②母性看護学の視点から対象の問題解決策を立案できる ③女性・子どもと家族に対して適切な理論を活用した看護援助を実践し、評価できる ④女性・子どもと家族に対する看護実践をとおして研究課題を見出すことができる ⑤実習を通して専門性の追求や質の高い看護実践について考察できる
授業計画・授業外学修課題	実習期間；2週間 実習の進め方： 共通科目、母性看護学特論Ⅰ及び特論Ⅱで履修したことを基盤として医療施設において実習を行う。 1. 母性看護の教員と相談し、実習計画を立案する 2. 母性看護学の専門的な視点から看護の対象に看護過程を展開する 3. 看護実践のプロセスにおいて自ら研究への関心を見出す 4. 実習を通して専門性の追究や質の高い看護実践にいて文献をふまえて考察し、レポートを作成する 授業外事前学修課題：課題内容（時間）学習課題について資料を作成する（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）実習内容がわかる記録物やカンファレンス資料を提出し、教員から助言を受けて修正する（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ディスカッションをとおして課題や問題を明確にする
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：プレゼンテーション、課題レポート、その他（参加度、予習・復習） 評価割合：プレゼンテーション30%、課題レポート30%、その他40% 履修目標との対応： ※適宜追加してください
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する
実務経験のある教員による授業	看護師・助産師・保健師経験、研究指導の経験や査読経験がある。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
染谷 奈々子/大学院看護学研究科 山下 麻実/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	小児医療や小児看護の現状や課題について学び、子どもと家族の成長・発達や生活環境について理解し、変化する社会の中で子どもと家族が抱える課題について検討する。また、子どもとその家族が置かれているさまざまな状況を理解し、成長発達各期における子ども、親子関係、家族関係、さらに健康問題のある子どもと家族への看護援助の在り方を理論的視点から考察する。
履修目標	①子どもの成長発達に関する理論を理解できる。 ②子どもをケアするうえで必要な理論・概念を理解できる。 ③小児政策や小児看護の現状と課題について理解できる。 ④子どもの理解や看護援助に理論をどのように活用できるかを理解できる。
授業計画・授業外学修課題	1 イントロダクション 子どもを取り巻く環境の変化と健康課題 課題は、事前に提示する 2 文献を活用し概要を把握しておく こども観の変遷と小児看護 課題は、事前に提示する 3 文献を活用し概要を把握しておく 医療政策からみた小児看護学の課題；主な母子保健対策，学校保健対策 課題は、事前に提示する 4 文献を活用し概要を把握しておく 医療政策からみた小児看護学の課題；事故防止，予防接種，児童虐待 課題は、事前に提示する 5 文献を活用し概要を把握しておく 子どもの成長発達に関する理論の理解 愛着・親子関係理論 課題は、事前に提示する 6 文献を活用し概要を把握しておく 子どもの成長発達に関する理論の理解 自我・社会性の発達理論 課題は、事前に提示する 7 文献を活用し概要を把握しておく 子どもの成長発達に関する理論の理解 認知理論 課題は、事前に提示する 8 文献を活用し概要を把握しておく 子どもの成長発達とは；概念や原則，影響因子 課題は、事前に提示する 9 文献を活用し概要を把握しておく 子どもとその家族への看護実践に必要な理論 家族発達理論 課題は、事前に提示する 10 文献を活用し概要を把握しておく 子どもとその家族への看護実践に必要な理論 家族システム理論 課題は、事前に提示する 11 文献を活用し概要を把握しておく 子どもとその家族への看護実践に必要な理論 家族ストレス・対処理論 課題は、事前に提示する 12 文献を活用し概要を把握しておく 子どもとその家族への看護実践に必要な理論 エンパワメントモデル，カリガリー家族アセスメントモデル 課題は、事前に提示する 文献を活用し概要を把握しておく

	13	家族支援の実際 課題は、事前に提示する
	14	文献を活用し概要を把握しておく 諸外国の子育て支援の実際と日本の子育て支援の現状課題 課題は、事前に提示する
	15	文献を活用し概要を把握しておく まとめ：子どもの理解や看護援助に各理論をどのように活用できるかディスカッションする 課題は、事前に提示する 文献を活用し概要を把握しておく
アクティブラーニングを用いた授業方法		
課題のフィードバック方法と時期		
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：討議への参加態度 評価割合：20% 評価方法：課題資料提出 評価割合：20% 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：30% 評価方法：課題レポート 評価割合：30%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		適宜提示する
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先		
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
染谷 奈々子/大学院看護学研究科 山下 麻実/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	多様な対象に合わせた教育指導ができる。 研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる。		
履修条件			
授業概要	小児看護がもつさまざまな課題を医療・保健・福祉・教育など広い視野から理解し、子どもとその家族の健康保持増進・健康の回復のための健康問題をアセスメントし、その支援の在り方について研究論文の検討を通して子どもと家族の効果的な看護援助の方法や研究方法について探求する。また、関連諸領域の研究のクリティックを行い小児看護学領域の研究の動向と課題を検討し考察する。		
履修目標	①子どもたちをとりまく現状と課題について研究論文等から分析し、小児看護における課題について理解できる。 ②子どもの発達段階別の健康課題や健康問題についてアセスメントし、自らの小児看護の役割について説明できる。 ③研究課題に関連する小児看護に関する知識を確実なものとして修得する方法が説明できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	イントロダクション 子ども発達段階および発達課題に関する論文を購読する 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	2	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達に関連する理論とその活用 1 総論 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	3	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達に関連する理論とその活用 2 各論；フロイト、エリクソン 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	4	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達に関連する理論とその活用 3 各論；ピアジェ 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	5	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達と家族発達に関連する理論とその活用 1；システム理論・家族発達理論 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	6	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達と家族発達に関連する理論とその活用 2；カルガリー家族アセスメント 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。	
	7	小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 子どもの発達と家族発達に関連する理論とその活用 3；カルガリー家族アセスメント 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。	

	受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 8 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 小児看護における実践 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 9 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 注目される小児看護トピックス 1 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 10 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 注目される小児看護トピックス 2 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 11 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 小児看護におけるマネジメントと看護の役割 1 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 12 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 小児看護におけるマネジメントと看護の役割 2 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 13 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 小児看護の専門性の確保 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 14 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。 小児看護の学会活動、社会的役割の意義 課題は、事前に提示する。 課題を予習して講義に臨む。 15 受講生との協議によって課題を抽出し、関連文献学習とともに実践の中で活用される方法など意見交換を中心に進める。 小児看護の展望について学んできた内容を統合して、研究課題との関連について深める。
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ形式でおこなう。 各回のテーマに基づいて学生がプレゼンテーション資料を作成する。 そのプレゼンテーションをもとに参加者でディスカッションをする。
課題のフィードバック方法と時期	プレゼンテーションやディスカッションの課題はタイムリーにフィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：討議への参加態度 評価割合：20% 評価方法：課題資料の提出 評価割合：20%

	評価方法：プレゼンテーション 評価割合：30% 評価方法：課題レポート 評価割合：30%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	山下 麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 必要時、アポイントメントを取ってください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
染谷 奈々子/大学院看護学研究科 山下 麻実/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	小児の発達段階各期の特徴と健康問題を分析し、小児の臨床現場における個人及び家族等が抱える問題を明らかにして看護実践を行うことにより、小児とその家族への質の高い看護実践を探究する。
履修目標	①発達段階各期の特徴と健康問題を分析し、臨床現場における個人及び家族等が抱える問題を把握して、対象である小児と家族の健康問題をアセスメントできる。 ②小児看護学の視点から、対象である小児と家族の問題解決策を立案できる。 ③対象に対して看護実践するにあたって、適切な理論を活用した看護援助を実施し、評価できる。 ④実習での看護実践を通して、研究課題を明らかにすることができる。 ⑤実習を通して、専門性の追求および質の高い看護実践について考察でき、小児看護学で用いられる理論を踏まえて課題を把握する。また、理論や実践方法、研究方法を研究論文の検討を通して探究し、実践に応用できる。
授業計画・授業外学修課題	<実習期間：2週間> 1. 共通科目、小児看護学特論Ⅰおよび小児看護学特論Ⅱで履修し学んだことを基盤として、小児看護の臨床現場において実習を行う。2. 小児看護学の専門的な視点から、対象である小児と家族に看護援助を実践する。なお、小児看護学の指導教員と相談して実習計画を立案し、看護を実践する。 指定するテーマに関する資料や論文を用いてプレゼンテーションおよび討議の準備をする (英文抄読を含む) <実習の進め方> 3. .実習を通して、小児看護の専門性の追求や質の高い看護実践について文献を踏まえて考察し、レポートを作成する。4. 看護実践のプロセスにおいて、自らの研究についての関心を見出す。5. 作成した実習計画に基づいて実習を進める。なお、自らの看護実践を振り返って評価し、適宜実習指導者および教員とカンファレンスを行うなどして、学生自身が主体的に計画・運営する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	実習・ゼミ形式でおこなう。 研究テーマに基づいて学生が実習計画を作成し実習に臨む。 実習後は成果と課題をプレゼンテーションし、参加者でディスカッションをする。
課題のフィードバック方法と時期	プレゼンテーションやディスカッションの課題はタイムリーにフィードバックします。 実習終了時には学内で、実習全体を通したフィードバックを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題の準備・討議への参加度 評価割合：40% 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：30% 評価方法：課題レポート 評価割合：30%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	山下 麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 必要時、アポイントメントを取ってください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
西出 久美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1) 実践における様々な現象を言語化し判断することができる。 2) 多様な対象に合わせた教育指導ができる。 3) 研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる。 4) 組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる。		
履修条件	専門科目の中で専攻領域の特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの他、専攻以外の領域の特論から1科目2単位以上を履修してください。看護管理学以外の専攻領域を選択する場合、特論Ⅰ、特論Ⅱ、特論Ⅲは、特論Ⅰから先に履修し、特論Ⅲは、当該専攻領域のみ履修可能です。		
授業概要	成人期にある人の看護援助を行うために必要となる看護理論を理解する。成人期の書く健康レベル（急性・回復・慢性・終末期）に応じた健康上の問題・課題を抱える成人とその家族の特徴を理解し、各期の対象を理解するのに適した看護理論を用いて、具体的な看護の適応を考察する。看護理論、事例検討を通して、各健康レベルにある人の生活を援助するための問題・課題を議論し、成人を対象とした看護援助の在り方を探求する。		
履修目標	①成人看護における看護理論の活用の意義を修得できる。 ②成人期の各健康レベルにおける代表的な理論の枠組みと看護への適応を修得できる。 ③成人期の各健康レベルにおける看護援助体験をもとに事例分液を行い、成人を対象とした看護援助の在り方を探求する。		
授業計画・授業外学修課題	1	成人看護における看護理論活用の意義 授業外事前学修課題：テキスト該当ページを精読する。（60分）	
	2	授業外事後学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成する。課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（120分） 成人期にある人とその家族への教育と看護援助① セルフケア・自己効力理論－成人教育モデル－	
	3	授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 成人期にある人とその家族への教育と看護援助② セルフケア・自己効力理論－成人教育モデル－	
	4	授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 急性・回復期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用① －ストレス・コーピング、危機理論－	
	5	授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 急性・回復期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用② －ストレス・コーピング、危機理論－	
	6	授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 慢性期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用① －トランスセオリアルモデル、病みの軌跡、セルフケア理論－	
	7	授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 慢性期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用② －トランスセオリアルモデル、病みの軌跡、セルフケア理論－	

	授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 終末期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用① -悲嘆、死の受容、アドバンストケアプランニング、がん看護- 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 終末期にある人とその家族に関連する看護理論と看護への適用② -悲嘆、死の受容、アドバンストケアプランニング、がん看護- 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 急性・回復期にある人とその家族の事例検討① 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 急性・回復期にある人とその家族の事例検討② 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 慢性期にある人とその家族の事例検討① 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 慢性期にある人とその家族の事例検討② 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 終末期にある人とその家族の事例検討① 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分） 終末期にある人とその家族の事例検討② 自分の体験した看護援助について理論・文献を用いて分析 授業外事前学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッション、プレゼンテーションを行う
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①授業への参加態度 ②プレゼンテーションの内容と発表および質疑応答の内容 ③課題レポート 評価割合：①30%、②30%、③40% 評価基準：①自分の考えを述べ、討議に参加している。 ②資料の要点を整理し提示しており、質疑応答が明快である。

	③理論に関する文献レビューのクリティークの視点が明確に記載されている。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	看護実践に活かす中範囲理論, 野川道子, メヂカルフレンド社, 2016年
実務経験のある教員による授業	各回は看護師として、看護研究者としての実務経験を生かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する。knishide@soei.ac.jp
備考	ゼミ形式で行う。各回のテーマに基づいて学生がプレゼンテーション資料を作成する。その資料・発表をもとにゼミ参加者でディスカッションする。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
西出 久美/大学院看護学研究所			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1) 実践における様々な現象を言語化し判断することができる。 2) 多様な対象に合わせた教育指導ができる。 3) 研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる。 4) 組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる。		
履修条件	専門科目の中で専攻領域の特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの他、専攻以外の領域の特論から1科目2単位以上を履修してください。看護管理学以外の専攻領域を選択する場合、特論Ⅰ、特論Ⅱ、特論Ⅲは、特論Ⅰから先に履修し、特論Ⅲは、当該専攻領域のみ履修可能です。		
授業概要	成人期にある患者の急性・慢性・終末期における看護援助に関する包括的アセスメントやその支援及び評価方法に関する研究論文の検討を通して、対象と家族に対する効果的な看護援助の方法や研究方法について探究する。		
履修目標	①研究論文のクリティークの目的と方法を修得できる。 ②成人期にある人を対象にした研究論文のクリティークを行い、必要な看護援助について探求する。 ③研究論文のクリティークを通して探求した内容についてプレゼンテーションを行い、次の研究活動につなげることができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	研究論文のクリティーク、サブストラクション① 授業外事前学修課題：テキスト該当ページを精読する。（60分） 授業外事後学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成する。課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（120分）	
	2	研究論文のクリティーク、サブストラクション② 授業外事前学修課題：テキスト該当ページを精読する。（60分） 授業外事後学修課題：指定する理論、事例に関して文献を用いプレゼンテーション資料を作成する。課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（120分）	
	3	急性期・回復期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク① 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	4	研究論文（和文）のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	5	急性期・回復期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク② 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	6	研究論文（英文）のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	7	慢性期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク① 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	8	研究論文（和文）のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分） 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。（30分）	
	9	慢性期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク② 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む（150分）	

	分) 10 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) 研究論文(英文)のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む(150分) 11 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) 終末期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク① 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む(150分) 12 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) 研究論文(和文)のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む(150分) 13 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) 終末期にある人とその家族に関する研究論文クリティーク② 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む(150分) 14 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) 研究論文(英文)のクリティーク 授業外事前学修課題：指定するテーマに関する研究論文や参考資料を作成して授業に臨む(150分) 15 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分) まとめ 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッション、プレゼンテーションを行う
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①授業への参加態度 ②プレゼンテーションの内容と発表および質疑応答の内容 ③課題レポート 評価割合：①30%、②30%、③40% 評価基準：①自分の考えを述べ、討議に参加している。 ②資料の要点を整理し提示しており、質疑応答が明快である。 ③理論に関する文献レビューのクリティークの視点が明確に記載されている。
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	よくわかる看護研究論文のクリティーク, 山川みやえ/牧本清子編著, 日本看護協会出版会, 2014年
実務経験のある教員による授業	各回は看護師として、看護研究者としての実務経験を生かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する。knishide@soei.ac.jp
備考	ゼミ形式で行う。各回のテーマに基づいて学生がプレゼンテーション資料を作成する。その資料・発表をもとにゼミ参加者でディスカッションする。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
西出 久美/大学院看護学研究所			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1) 実践における様々な現象を言語化し判断することができる。 2) 多様な対象に合わせた教育指導ができる。 3) 研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる。 4) 組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる。		
履修条件	専門科目の中で専攻領域の特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの他、専攻以外の領域の特論から1科目2単位以上を履修してください。看護管理学以外の専攻領域を選択する場合、特論Ⅰ、特論Ⅱ、特論Ⅲは、特論Ⅰから先に履修し、特論Ⅲは、当該専攻領域のみ履修可能です。		
授業概要	成人急性/慢性疾患・がん患者の緩和ケアなどのPBLを通して、患者の健康問題を専門的・統合的に捉え、看護の質向上に向けた実践のあり方を追及する。		
履修目標	①自己の研究課題に関連した臨床現場の現状を理解する。 ②臨地での実習または演習を通して、自己の研究課題の意義や妥当性を確認し、研究の実現可能性などについて検討する。 ③臨地での実習または演習を通して、自己の研究内容を洗練させ、具体化することができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	臨床現場の現状とその課題 授業外事前学修課題：研究論文や参考資料を基にプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む。(150分) 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分)	
	2	PBLテーマ選定 授業外事前学修課題：研究論文や参考資料を基にプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む。(150分) 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分)	
	3	実習または演習計画立案 授業外事前学修課題：研究論文や参考資料を基にプレゼンテーション資料を作成して授業に臨む。(150分) 授業外事後学修課題：課題の意図の理解と多様な意見の理解及び自己の意見を整理しておくこと。(30分)	
	4	計画に沿って実習または演習の実施① 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	5	計画の沿って実習または演習の実施② 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	6	計画の沿って実習または演習の実施③ 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	7	計画の沿って実習または演習の実施④ 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	8	計画の沿って実習または演習の実施⑤ 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	9	中間報告会 授業外事前学修課題：発表資料等準備(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	10	計画の沿って実習または演習の実施⑥ 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分) 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。(30分)	
	11	計画の沿って実習または演習の実施⑦ 授業外事前学修課題：実習事前準備。(150分)	

	12 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。（30分） 計画の沿って実習または演習の実施⑧ 授業外事前学修課題：実習事前準備。（150分） 13 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。（30分） 計画の沿って実習または演習の実施⑨ 授業外事前学修課題：実習事前準備。（150分） 14 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。（30分） 計画の沿って実習または演習の実施⑩ 授業外事前学修課題：実習事前準備。（150分） 15 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておくこと。（30分） 成果報告会・まとめ 授業外事前学修課題：発表資料等準備（150分） 授業外事後学修課題：実習の振り返りをし、課題を整理しておく。（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッション、プレゼンテーションを行う
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①授業への参加態度 ②プレゼンテーションの内容と発表および質疑応答の内容 ③課題レポート 評価割合：①30%、②30%、③40% 評価基準：①自分の考えを述べ、討議に参加している。 ②資料の要点を整理し提示しており、質疑応答が明快である。 ③理論に関する文献レビューのクリティークの視点が明確に記載されている。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	特に指定しない。必要に応じて適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	各回は看護師として、看護研究者としての実務経験を生かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	別途提示する。knishide@soei.ac.jp
備考	ゼミ形式で行う。各回のテーマに基づいて学生がプレゼンテーション資料を作成する。その資料・発表をもとにゼミ参加者でディスカッションする。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
佐野 望/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①多様な看護実践・看護教育の場で教育・研究的視点をもち看護を創造することができる。 ②社会貢献を役割として地域医療の質向上に向けて看護実践力を発揮することができる。 ③組織の看護の向上に向けて役割を発揮することができる。 ④学問的裏付けに基づく看護管理力を発揮することができる。		
履修条件	特になし		
授業概要	老年医療や老年看護の現状と課題について学び、老年期にある人と家族の成長・発達や生活環境を理解し、変化する社会のなかで当事者が抱える健康課題について検討する。また老年看護の諸理論を学び老年期にある人と家族への主体的参加と医師決定を支える看護援助の在り方を理論的視点から考察する。		
履修目標	①老年期にある人と家族を取り巻く環境の変化と健康課題を説明できる ②老年看護の実践に必要な腫瘍な理論・概念を説明できる ③老年期にある人と家族への科学的根拠に基づく看護ケアについて文献を検索し討議ができる ④看護ケア提供の専門知識を深め、理論に基づいた看護援助を考察できる		
授業計画・授業外学修課題	1	老年期にある人と家族の看護に関する概念とその変遷 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	2	老年期にある人と家族の理解と課題 1 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	3	老年期にある人と家族の理解と課題 2 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	4	老年期にある人と家族の理解と課題 3 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	5	老年看護学における諸理論 1 エイジング フレイル ICF ウェルネス エンパワーメント セルフエフェカシー 等 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	6	老年看護学における諸理論 2 エイジング フレイル ICF ウェルネス エンパワーメント セルフエフェカシー 等 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分）	
	7	老年看護学における諸理論 3 エイジング フレイル ICF ウェルネス エンパワーメント セルフエフェカシー 等 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分） 授業外事後学修課題：	

	8 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護援助 1 研究論文のクリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 9 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護援助 2 研究論文のクリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 10 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護援助 3 研究論文のクリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 11 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護援助 4 研究論文のクリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 12 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 地域を基盤とする高齢者とその家族への支援システム 1 研究論文クリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 13 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 地域を基盤とする高齢者とその家族への支援システム 2 研究論文クリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 14 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 地域を基盤とする高齢者とその家族への支援システム 3 研究論文クリティーク 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 15 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 多職種との協働・連携と看護職の役割と課題 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	課題の事前準備と、発表・討議により学習を深める
課題のフィードバック方法と時期	講義中、Google Classroomにて配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題レポート 評価割合：60% 評価基準： 履修目標との対応： 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 評価方法：発表・討議の内容 評価割合：20% 評価基準： 履修目標との対応： 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 評価方法：討議への参加状況

	評価割合：20% 評価基準： 履修目標との対応：1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	随時紹介する
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	佐野 望 nsano@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
佐野 望/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①多様な看護実践・看護教育の場で教育・研究的視点を持ち看護を創造することができる。 ②社会貢献を役割として地域医療の質向上に向けて看護実践力を発揮することができる。 ③組織の看護の向上に向けて役割を発揮することができる。 ④学問的裏付けに基づく看護管理力を発揮することができる。		
履修条件	特になし		
授業概要	老年看護の理論と実践方法を学ぶ。老年看護がもつさまざまな課題を、社会・保健・医療・福祉など広い視野から理解し、老年期にある人とその家族の健康課題について包括アセスメントを行い、その支援の在り方について研究論文の検討を通して、老年看護の理論や看護実践について探求する。		
履修目標	①地域で健康課題を抱え生活する老年期にある人とその家族の看護実践に有用な理論の文献検討ができる ②老年看護の実践における研究論文の分析を通し、老年看護の役割が説明できる ③老年看護の実践における倫理的課題を明らかにし、倫理的に配慮されたケアが説明できる ④実践能力を向上させるための協働チームの理論と老年看護の実践と研究との統合について探求する		
授業計画・授業外学修課題	1	導入：健康な老い、加齢社会 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	2	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 1 発達段階と発達課題 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	3	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 1 自損感情、自己実現 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	4	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 2 老性変化と生活への影響 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	5	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 2 安全と保護のニーズ 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	6	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 3 ライフ 生活者 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする（90分）	
	7	授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する（90分） 老年看護に関連する理論とその活用 3 ライフ 生活者 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする	

	る (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老性変化と心身機能の調和を図る健康問題のアセスメント 老性変化とフィジカルアセスメントの事例検討 1 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老性変化と心身機能の調和を図る健康問題のアセスメント 老性変化とフィジカルアセスメントの事例検討 2 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 高齢者および家族への看護の実践における倫理的課題 1 医療的処置と緩和ケア 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 高齢者および家族への看護の実践における倫理的課題 2 経口食と胃瘻の選択 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護 論文クリティーク 1 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護 論文クリティーク 2 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 老年期にある人と家族への看護 論文クリティーク 3 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分) 実践能力を向上させるための協働・連携と看護職の役割 授業外事前学修課題： 学習課題に関する文献をクリティークし、論点を整理しプレゼンテーション及び討議の準備をする (90分) 授業外事後学修課題： 提示された課題について文献検討を経てレポート報告する (90分)
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
アクティブラーニングを用いた授業方法	課題の事前準備と、発表・討議により学習を深める
課題のフィードバック方法と時期	講義中、Google Classroomにて配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題レポート 評価割合：60% 評価基準： 履修目標との対応：1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 評価方法：発表・討議の内容 評価割合：20% 評価基準： 履修目標との対応：1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 評価方法：討議への参加状況

	評価割合：20% 評価基準： 履修目標との対応：1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	随時紹介する
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	佐野 望 nsano@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
佐野 望/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①多様な看護実践・看護教育の場で教育・研究的視点をもち看護を創造することができる ②社会貢献を役割として地域医療の質向上に向けて看護実践力を発揮することができる ③組織の看護の向上に向けて役割を発揮することができる ④学問的裏付けに基づく看護管理力を発揮することができる
履修条件	老年看護学特論Ⅰ を履修していること
授業概要	自らの研究課題をもとに実習計画を立案し、老年看護学分野の諸理論やエビデンスに基づくケアの実践・分析・評価を行うことによって、老年期にある人と家族の健康問題を専門的・統合的に捉え看護の質向上に向けた実践のあり方を探求する。
履修目標	①自己の研究課題を明確にして主体的に演習・実習計画を立案する ②老年看護学の視点からケアの実践を分析・評価し、自己の研究課題を見出すことができる ③研究課題の焦点化や研究方法について考查し実現可能性を検討する ④実習を通して専門性の高い老年看護実践について探求する
授業計画・授業外学修課題	2週間 老年看護学特論Ⅲ 内容 実習の進め方： 共通科目、老年看護学特論Ⅰ・Ⅱで履修したことを基盤として老年期にある人とその家族へのケア提供の場において行う。 1. 老年看護学の教員と相談し、演習・実習計画を立案する 2. 老年看護学の専門的視点から看護ケア緒場において展開する 3. 看護実践のプロセスにおいて自らの研究関心を言い出す 4. 実習を通して専門性の追求うあ質の高い看護j視線について文献を踏まえて考察し、レポートを作成する 実習方法： 実習場の担当者と相談しながら作成した実習計画に基づき十種を進める。自らの看護実践を振り返り評価し、適宜担当者緒及び教員とカンファレンスを行うなど学生が主体的に計画運営する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	研究課題を明確にし、課題を探求すべく学習（実習）計画からマネジメントと実践を自ら行う
課題のフィードバック方法と時期	演習・実習中もしくは、Google Classroomにて配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：演習・実習計画、実習内容・カンファレンスへの参加状況 評価割合：60％ 評価基準： 履修目標との対応： ① ○ ② ○ ③ ○ ④ ○ 評価方法：課題レポート 評価割合：40％ 評価基準： 履修目標との対応： ① ○ ② ○ ③ ○ ④ ○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	佐野望 nsano@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
山口 智美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	特になし
授業概要	地域・在宅看護学の変遷および関連する法やケアシステムと保健医療福祉の諸制度、訪問看護事業制度について理解する。地域在宅看護学で活用される理論と方法を学修し、事例や文献をもとに地域・在宅看護における個人と家族、集団、地域における健康問題の特性、および支援方法について文献検討や討議を通して看護実践に活用する方法を検証する。
履修目標	①. 地域・在宅療養に関わる保健・医療・福祉行政について理解できる。 ②. 在宅・療養移行支援のための看護ケアと訪問看護事業所との連携について説明できる。 ③. 地域・在宅療養者を取り巻く要素と資源の連携、課題について、考察することができる。 ④. 地域・在宅看護の専門職倫理を理解し、人間関係づくり、コラボレーション、コンサルテーション、家族へのアプローチの方法を修得する。 ⑤. 地域・在宅看護におけるセルフケア能力や療養環境の社会的背景と課題について討議できる。
授業計画・授業外学修課題	1 国民の健康課題と社会ニーズの変化 「国民の健康課題と社会ニーズの変化」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 2 地域・在宅看護に関わる保健・医療・福祉行政 「地域・在宅看護に関わる保健・医療・福祉行政」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 3 地域包括ケアシステムと共生社会① 「地域包括ケアシステムと共生社会」各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 4 地域包括ケアシステムと共生社会② 「地域包括ケアシステムと共生社会」各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 5 地域包括ケアシステムの事例から地域包括ケアのあり方の検討① 「地域包括ケアシステムの事例から地域包括ケアのあり方」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 6 地域包括ケアシステムの事例から地域包括ケアのあり方の検討② 「地域包括ケアシステムの事例から地域包括ケアのあり方」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 7 在宅療養移行支援の中の看護に関する文献検討① 「在宅療養移行支援の中の看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 8 在宅療養移行支援の中の看護に関する文献検討② 「在宅療養移行支援の中の看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）

	9	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護に関する文献検討① 「地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	10	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護に関する文献検討② 「地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	11	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護に関する文献検討③ 「地域・在宅で暮らす健康障害のある人の看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	12	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 要介護者を介護する家族の健康課題と看護に関する文献検討① 「要介護者を介護する家族の健康課題と看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	13	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 要介護者を介護する家族の健康課題と看護に関する文献検討② 「要介護者を介護する家族の健康課題と看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	14	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 要介護者を介護する家族の健康課題と看護に関する文献検討③ 「要介護者を介護する家族の健康課題と看護」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分）
	15	授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分） 地域・在宅で看取るケアシステムの現状と課題 「地域・在宅で看取るケアシステムの現状と課題」の各自レポートを発表し、討議を行う 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポート作成する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容について整理し、授業内容をまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		課題について各自でレポートを作成し、発表・討議を行う
課題のフィードバック方法と時期		授業のグループワーク・討議でフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：課題レポート 評価割合：70% 評価基準：課題内容が記載されていれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇、④〇、⑤〇 評価方法：課題レポートでのグループワーク参加度 評価割合：30% 評価基準：グループワークの参加度（発表、発言内容等） 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇、④〇、⑤〇
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		授業前、授業時に適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業		保健師、訪問看護師、退院調整看護師、病棟看護師の経験を活かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先		山口智美 tyamaguchi@soei.ac.jp 時間は初回に説明します。
備考		これからは地域・在宅を意識した看護が重要です。今までの各自の看護経験を振り返り、生活者である患者の支援について一緒に考えていきましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
山口 智美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	特になし
授業概要	さまざまな健康問題を持ち地域や施設で生活する個人とその家族への看護ケアの現状を理解し、現在起きている現象を多角的に評価する視点を持ち、課題と解決方法を探求する。そのために必要となる理論を活用して対象のフィジカルアセスメントの視点、家族の視点、セルフケアの視点から地域在宅看護の在り方を学び、倫理的判断・臨床的判断に基づき地域在宅看護実践および研究への適用可能性と課題、今後の研究の方向性について探求する。
履修目標	①地域で生活する対象の健康および家族への看護ケアの現状と評価ができる。 ②. 地域や施設で生活する対象と家族への看護ケアの評価に基づき課題について考察できる。 ③疾患や障害をもち、地域・在宅で生活する人への看護について考察できる。 ④. 公衆衛生看護活動方法に理解し、地域における保健師活動について考察できる。
授業計画・授業外学修課題	1 公衆衛生看護の歴史と変遷 「公衆衛生看護の歴史と変遷」についてレポートを作成し、公衆衛生看護の歴史と今後の方向について討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 2 社会環境の変化と健康課題① 「社会環境の変化と健康課題」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 3 社会環境の変化と健康課題② 「社会環境の変化と健康課題」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 4 公衆衛生看護の対象と活動方法① 「公衆衛生看護の対象とその特性および健康課題」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 5 公衆衛生看護の対象と活動方法② 「公衆衛生看護活動方法」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 6 公衆衛生看護の対象と活動方法③ 「公衆衛生看護活動方法」についてレポートを作成し、公衆衛生看護の歴史と今後の方向について討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 7 公衆衛生看護活動理論モデルと方法論① 「保健行動理論」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 8 公衆衛生看護活動理論モデルと方法論② 「保健行動理論」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分）

	9	公衆衛生看護活動理論モデルと方法論③ 「地域診断に関する理論」についてレポートを作成し、討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	10	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 保健政策のPDCAサイクル（計画、実践、評価、査定） 「保健政策のPDCAサイクル（計画、実践、評価、査定）」についてレポートを作成し、保健活動及び看護活動におけるPDCSサイクルの必要性・意義について討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	11	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 健康危機管理（災害・感染症暴露等）と リスクマネジメント① 「健康危機管理（災害・感染症暴露等）と リスクマネジメント」について今までの事例を用いてレポートを作成し、地域における健康危機管理について討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	12	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 健康危機管理（災害・感染症暴露等）と リスクマネジメント② 「健康危機管理（災害・感染症暴露等）と リスクマネジメント」について今までの事例を用いてレポートを作成し、地域における健康危機管理について討議を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	13	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 健康レベルに応じたヘルスプロモーションと看護活動① 各自の経験した事例を用いて、地域で暮らす患者を支える看護活動についてのレポートを作成し、事例検討を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	14	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 健康レベルに応じたヘルスプロモーションと看護活動② 各自の経験した事例を用いて、地域で暮らす患者を支える看護活動についてのレポートを作成し、事例検討を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分）
	15	授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分） 健康レベルに応じたヘルスプロモーションと看護活動③ 各自の経験した事例を用いて、地域で暮らす患者を支える看護活動についてのレポートを作成し、事例検討を行う。 授業外事前学修課題：授業タイトルについて調べ、レポートを作成する、（90分） 授業外事後学修課題：授業内容について整理し学習内容をまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎時、課題レポートを発表し、討議を行う。	
課題のフィードバック方法と時期	授業時に、発表内容等についてフィードバックを行う。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題レポート 評価割合：70% 評価基準：課題内容が記載されていれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇、4〇 評価方法：課題レポートでのグループワーク参加度 評価割合：30% 評価基準：グループワークの参加度（発表、発言内容等） 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇、4〇	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	授業時に、説明する。	
実務経験のある教員による授業	保健師・訪問看護師・人間ドック情報管理指導士・退院調整看護師・病棟師長の経験を活かした授業を行います。	
オフィスアワー・連絡先	山口智美 tyamaguchi@soei.ac. 時間は初回に説明します。	
備考	公衆衛生看護は生活者をその人の暮らす地域で支援するものです。看護職は生活者を支援します。生活者が生活する地域を理解し、病院看護師としての役割を考えましょう。 課題については文献を活用してレポートを作成すること 今までの経験をもとに地域での暮らす生活者の看護を考えてください。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
山口 智美/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	地域・在宅看護学特論Ⅰ・Ⅱを履修していること
授業概要	さまざまな健康問題を持ちながら地域や在宅で生活する個人と家族を対象に、実践看護学分野の諸理論やエビデンスに基づく判断のもと、専門的知識・技術を適用し、看護実践を行うことによって健康問題を専門的・統合的に捉え、看護実践の質の向上に向けた看護について探求する。
履修目標	①1. 自己の研究課題に関連した地域・在宅での看護の現状を理解する。 ②地域・在宅での実習または演習を通して、自己の研究課題の意義や妥当性を確認し、研究の実現可能性などについて検討する。 ③. 地域・在宅での実習または演習を通して、自己の研究内容を洗練させ、具体化することができる。
授業計画・授業外学修課題	1 自己の研究課題に関連する地域・在宅の現状とその課題 「自己の研究課題に関連する地域・在宅の現状とその課題」についてレポートを作成し、討議を行う 授業外事前学修課題：課題について文献を活用しレポートを作成する。（90分） 授業外事後学修課題：学習内容を整理し、自己の研究課題を再考する。（90分） 2 PBLテーマ選定 PBLテーマ選定を行う 授業外事前学修課題：PBLテーマについて検討し、レポートを作成する。（90分） 授業外事後学修課題：PBLテーマについて決定し、実習または演習計画を立案する。（90分） 3 実習または演習計画立案 実習または演習計画立案 授業外事前学修課題：：PBLテーマについての実習または演習計画を立案する。（90分） 授業外事後学修課題：計画実施のための具体的な方法を検討する（90分） 4 計画に沿って実習または演習の実施① 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 5 計画に沿って実習または演習の実施② 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 6 計画に沿って実習または演習の実施③ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 7 計画に沿って実習または演習の実施④ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 8 計画に沿って実習または演習の実施⑤ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 9 中間発表会 実習または演習計画の実施状況・評価を行う

	授業外事前学修課題：実施した5回分の実習または演習内容をまとめ、評価を行い、レポートを作成する。（時間） 10 授業外事後学修課題：評価から次回からの実施計画を修正する。（時間） 計画に沿って実習または演習の実施⑥ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 11 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 計画に沿って実習または演習の実施⑦ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 12 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 計画に沿って実習または演習の実施⑧ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 13 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 計画に沿って実習または演習の実施⑨ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 14 授業外事後学修課題：実施した内容を振り返り、次回の実施計画・内容を検討する（90分） 計画に沿って実習または演習の実施⑩ 計画に沿って実習または演習の実施する。 授業外事前学修課題：計画に沿って実習または演習の内容を計画する。（90分） 15 授業外事後学修課題：実施した10回の内容を振り返り、PBLテーマの達成状況を確認し、評価kを行う。（90分） まとめ 10回分の実習または演習の目標の達成状況を確認し、評価を行う。 授業外事前学修課題：実施した10回分の実習または演習の目標達成状況をまとめ、評価を行い、レポートを作成する。（90分） 授業外事後学修課題：15回の実習または演習からの学びについてレポートを作成する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	課題解決のための演習・実習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	演習・実習時にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：演習または実習への取り組み 評価割合：50% 評価基準：演習または実習目標を達成すれば合格 履修目標との対応：①○、②○、③○ 評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：演習または実習での学びを十分に記載していれば合格 履修目標との対応：①○、②○、③○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	地域・在宅看護学特論Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト。その他、随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	保健師、訪問看護師、退院調整看護師、病棟師長等の経験を活かした演習や実習を行います。
オフィスアワー・連絡先	山口智美 tyamaguccho@soei.ac.jp 時間は初回に伝えます。
備考	自分の課題を明らかにした上で、演習や実習に臨んでください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
横山 恵子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①実践における様々な現象を言語化し判断することができる ②多様な対象に合わせた教育指導ができる ③研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ④組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる		
履修条件			
授業概要	精神医療の歴史的背景および精神保健医療福祉の制度やシステムを理解し、精神障害者や家族、学校、職場、地域など、さまざまな場や人々に対する、精神保健看護の役割と機能を学ぶ。		
履修目標	①精神保健医療福祉の歴史的変遷を踏まえた精神保健福祉制度が説明できる。 ②精神障害者の人権と精神看護における倫理的課題、精神看護の在り方が説明できる。 ③精神保健医療福祉の連携、地域精神保健活動（産業保健、学校保健）における、看護専門職の在り方が探求できる。 ④精神専門看護師の実践から、これからの精神看護の可能性が説明できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション 学習内容と課題・目標の設定 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学びたい内容を整理しておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	2	精神医療・看護の歴史的変遷、保護隔離の時代から、精神障害者福祉の時代への展望 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	3	精神医療・看護の歴史的変遷、保護隔離の時代から、精神障害者福祉の時代への展望 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	4	精神保健福祉法の歴史と位置付け、精神障害とスティグマ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	5	精神保健福祉法の歴史と位置付け、精神障害とスティグマ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	6	各国の精神医療保健福祉に関するさまざまな制度やシステムとの比較から、精神保健看護のありかたを考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	7	精神障害者の人権とアドボカシー、精神看護における倫理的課題（隔離・拘束、インフォームドコンセント） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	8	精神障害者の人権とアドボカシー、精神看護における倫理的課題（隔離・拘束、インフォームドコンセント） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	9 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) 家族心理教育など家族に対する基本的支援のあり方、医療保護入院における家族の役割、成年後見人制度などの法律 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分) 10 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) 家族心理教育など家族に対する基本的支援のあり方、医療保護入院における家族の役割、成年後見人制度などの法律 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分) 11 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) 産業保健・学校保健とメンタルヘルスに関する理解、精神保健看護の新しい動きについて洞察する 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分) 12 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) 産業保健・学校保健とメンタルヘルスに関する理解、精神保健看護の新しい動きについて洞察する 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分) 13 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) 地域における精神保健医療福祉の連携、当事者の生活を支える地域資源（デイケア、訪問看護、グループホーム、地域活動支援センター、など）における看護者の役割と地域ケアシステム 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分) 14 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) 地域における精神保健医療福祉の連携、当事者の生活を支える地域資源（デイケア、訪問看護、グループホーム、地域活動支援センター、など）における看護者の役割と地域ケアシステム 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分) 15 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) 精神看護専門看護師の役割と機能、リエゾン精神看護の実践 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	事前課題のプレゼンテーションを教材とし、ディスカッション形式で学修する
課題のフィードバック方法と時期	授業内やGoogleClassroomを活用してフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：プレゼンテーションの資料と発表内容 評価割合：40% 評価基準： 履修目標との対応：①～④ ④ 評価方法：ディスカッションへの参加 評価割合：30% 評価基準： 履修目標との対応：①～④ 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準： 履修目標との対応：①～④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	横山 恵子 メールアドレス kyokoyama@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
横山 恵子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①実践における様々な現象を言語化し判断することができる ②多様な対象に合わせた教育指導ができる ③研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ④組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる		
履修条件			
授業概要	精神看護の理論と実践方法を学ぶ。地域における、精神保健上の問題を抱えた個人、集団および家族を対象とした精神看護のあり方を考える。また、当事者や家族へのさまざまなアプローチの理論と援助方法、セルフヘルプグループによるピアサポートや連携の在り方の実際を学ぶ。		
履修目標	①患者・看護師関係における援助者としての自己活用について説明できる。 ②地域精神看護における当事者性、セルフヘルプグループと専門家との関係の在り方が説明できる。 ③精神障害者や家族の孤立から起きる問題を理解し、早期介入やアウトリーチサービスの必要性を説明できる。 ④リカバリー、ストレングスモデル、オープンダイアログ、WRAPなど、当事者性の視点と理論を説明できる。 ⑤地域における精神科事例を取り上げ、支援の意味付けや看護者の役割について説明できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション 学習内容と課題・目標の設定 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学びたい内容を整理しておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	2	力動的看護者－患者関係、援助者としての自己活用、看護者－患者の治療的関係に関する理解を深める 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	3	力動的看護者－患者関係、援助者としての自己活用、看護者－患者の治療的関係に関する理解を深める 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	4	地域精神看護における当事者性と専門性、医学モデルとリカバリーモデルの相違、当事者と家族のリカバリー、パーソナルリカバリーと臨床的リカバリー、エンパワメント、ストレングスモデル、権利擁護 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	5	地域精神看護における当事者性と専門性、医学モデルとリカバリーモデルの相違、当事者と家族のリカバリー、パーソナルリカバリーと臨床的リカバリー、エンパワメント、ストレングスモデル、権利擁護 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	6	当事者活動としてのセルフヘルプグループ、専門家とのパートナーシップのあり方、当事者会、精神障害者家族会、AA、NA、断酒会 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を整理し、課題に取り組む（90分）	
	7	当事者活動としてのセルフヘルプグループ、専門家とのパートナーシップのあり方、当事者会、精神障害者家族会、AA、NA、断酒会 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容を事前学習しまとめておくこと（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	8	授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) アウトリーチ支援事業、ACT (Assertive Community Treatment) の発展の歴史と概要、地域包括ケアシステムと精神障害 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分)
	9	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) アウトリーチ支援事業、ACT (Assertive Community Treatment) の発展の歴史と概要、地域包括ケアシステムと精神障害 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分)
	10	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) 精神障害者家族の現状、家庭内での暴力など問題の理解、早期介入方法、家族支援のあり方地域における家族のピアサポートの実践、家族ピア教育 (家族による家族学習会) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分)
	11	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) 精神障害者家族の現状、家庭内での暴力など問題の理解、早期介入方法、家族支援のあり方地域における家族のピアサポートの実践、家族ピア教育 (家族による家族学習会) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分)
	12	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) WRAP (Wellness Recovery Action Plan/元気回復行動プラン)、オープンダイアログ、当事者研究の理論と活用の実践 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分)
	13	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) WRAP (Wellness Recovery Action Plan/元気回復行動プラン)、オープンダイアログ、当事者研究の理論と活用の実践 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分)
	14	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) 訪問看護での具体事例から地域支援を考える 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分)
	15	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分) 訪問看護での具体事例から地域支援を考える 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を事前学習しまとめておくこと (90分)
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を整理し、課題に取り組む (90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法		事前課題のプレゼンテーションを教材とし、ディスカッション形式で学修する
課題のフィードバック方法と時期		授業内やGoogleClassroomを活用してフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：プレゼンテーションの資料と発表内容 評価割合：40% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤ 評価方法：ディスカッションへの参加 評価割合：30% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤ 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)		参考文献 ・精神科訪問看護のいろは - 「よき隣人」 から「仲間」へ (精神看護出版) その他、適宜紹介する
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先		横山 恵子 メールアドレス kyokoyama@soei.ac.jp
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2 年	2 単位	選択
担当教員			
横山 恵子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①実践における様々な現象を言語化し判断することができる ②多様な対象に合わせた教育指導ができる ③研究的視点を持ち、新たな看護を創造することができる ④組織、地域社会の人々のケアの向上のため、専門的役割を発揮することができる
履修条件	
授業概要	自らの関心のある領域から選択した精神科臨床現場における個人及び集団が抱える問題に対して、実践看護学分野の諸理論やエビデンスに基づく判断のもと、専門的知識・技術を適用し、看護実践を行うことによって健康問題を専門的・統合的に捉え、看護実践の質の向上に向けた看護について探求する。
履修目標	①精神科臨床現場における個人及び集団が抱える問題を把握し、対象の健康問題をアセスメントできる。 ②精神看護学の視点から対象の問題解決策を立案できる。 ③対象に対して適切な理論を活用した看護援助を実施し、評価できる。 ④精神科臨床現場における個人及び集団が抱える問題に対する看護実践を通し研究課題を見出すことができる。 ⑤実習を通して専門性の追求や質の高い看護実践について考察できる。
授業計画・授業外学修課題	精神看護学実習 実習期間：2週間 実習の進め方： 共通科目、地域精神看護学特論Ⅰ及び地域精神看護学特論Ⅱで履修したことを基盤として精神科臨床現場において実習を行う。 1. 精神看護学の教員と相談し、実習計画を立案する。 2. 地域精神看護学の専門的な視点から看護の対象に看護援助を実践する。 3. 看護実践のプロセスにおいて自らの研究関心を見出す。 4. 実習を通して専門性の追求や質の高い看護実践について文献を踏まえて考察し、レポートを作成する。 実習方法 選択した精神科臨床現場の担当者と相談しながら作成した実習計画に基づき実習を進める。自らの看護実践を振り返り評価し、適宜担当者および教員とカンファレンスを行うなど学生が主体的に計画運営する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	事前課題のプレゼンテーションを教材とし、ディスカッション形式で学修する
課題のフィードバック方法と時期	授業内やGoogleClassroomを活用してフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習内容 評価割合：40% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤ 評価方法：カンファレンスやディスカッションへの参加 評価割合：20% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤ 評価方法：実習レポート 評価割合：40% 評価基準： 履修目標との対応：①～⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	横山 恵子 メールアドレス kyokoyama@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護管理史および看護管理のプロセス、組織論、リーダーシップ論について学修を深める。さらに、キャリア開発、人的資源活用に必要な知識や理論を学修する。様々な事象を統合的にとらえ、看護管理の在り方を研究的視点から考究する。
履修目標	① 管理とは何か、管理プロセスとは何かを理解する。 ② 看護管理に関連する歴史的経緯を看護管理者の教育的体系とともに理解する。 ③ 組織の定義、組織文化、組織変革、組織分析の手法を学び、事例分析を通じて、改善・変革に向け主体的に思考することができる。 ④ 看護マネジメントに必要なリーダーシップ・フォロワーシップについて追求する。 ⑤ 看護専門職の人材活用や労務管理の基礎となる法律や制度について理解する。 ⑥ キャリア開発、人材育成について文献クリティークを行い課題を明らかにする。
授業計画・授業外学修課題	1 看護管理学の概念、看護管理の歴史 看護管理の概念、看護管理史について 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 2 マネジメントプロセス、看護管理者の教育制度の変遷 マネジメントプロセスとは システムアプローチ 看護管理者の教育制度の変遷 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 3 組織論・経営管理論 組織の定義、組織図、組織文化、経営理念 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 4 マーケティングと組織分析 ・マーケティングとは ・組織分析 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 5 変革理論 変革理論 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 6 リーダーシップ理論 リーダーシップとフォロワーシップ 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 7 人的資源活用論 グループマネジメント 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）

	8	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 労務人事管理 労務管理、人事管理 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	9	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 看護要員算定（Sfaffing） 看護要員算定（staffing） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	10	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 看護職員配置 研究論文の動向 看護職員配置 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	11	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） キャリア開発 キャリア開発 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	12	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） キャリアマネジメント キャリアマネジメント 自施設のラダーについて 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	13	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 看護専門職論 質の高い医療の実践とスペシャリストの活用 米国との比較：APN（アドバンス・プラクティス・ナース）とDNP（ドクター・オブ・ナーシング・プラクティス） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	14	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 看護継続教育（基礎教育と現任教育） 看護継続教育 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる（90分）
	15	授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分） 看護教育の課題 看護教育の課題 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストや参考書を読む。指定された論文を読みまとめる。プレゼンテーション準備をする（90分） 授業外事後学修課題：授業の復習および授業で考えたことをまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		講義形式でなくディスカッションをしながら授業をすすめる 事前に資料を読みプレゼンテーション準備をすることで、課題について深く知ることができ、ディスカッションも深まることが期待できる
課題のフィードバック方法と時期		質疑・討論は授業内で回数や内容を評価する プレゼンテーションや文献検討は、提出したプレゼンテーション資料、授業内での発言、プレゼンテーションを評価する（ルーブリック評価） レポートは返却し内容のフィードバックをする（ルーブリック評価）
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：質疑・討論 評価割合：30% 評価基準：授業内での発言回数、討論の内容 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 評価方法：プレゼンテーション（文献検討のプレゼンテーション含む） 評価割合：50% 評価基準：授業内でのプレゼンテーションの内容（ルーブリック評価） 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 評価方法：レポート 評価割合：20%

	評価基準：レポートの内容（ルーブリック評価） 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ ⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 井部俊子(監修)．(2023)．看護管理学習テキスト第3版第1巻，ヘルスケアシステム論．日本看護協会出版会． 手島恵(監修)．(2023)．看護管理学習テキスト第3版第3巻，人材管理論．日本看護協会出版会． 井部俊子(監修)．(2023)．看護管理学習テキスト第3版第4巻，組織管理論．日本看護協会出版会． 参考文献： 見藤隆子ほか(2017)．看護職者のための政策過程入門．日本看護協会出版会． 浅見 浩(2010)．離職防止・働きやすい職場をつくる;看護管理者の労務管理かんたんQ&A．日総研．
実務経験のある教員による授業	大学および大学院における看護管理学教育経験14年。認定看護管理者研修講師として13年。職場での管理職経験10年以上。
オフィスアワー・連絡先	e-mail による事前連絡にて日時を調整する 連絡先： e-mail ykamiyo@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護管理学におけるサービス提供論について、質の保証、医療安全、看護管理に必要な情報管理の側面から学修を深める。看護サービス提供のための運営管理の方法や、ナレッジマネジメントに関する理論を理解し、看護管理の実践と合わせ、看護の質を保証するために、組織的な取り組みはいかにあるべきかについて探求する。
履修目標	① サービスの概念、看護サービス提供システムを理解する。 ② 安全な医療提供のため看護管理者が担うべき役割について追求する。 ③ 質評価の方法、ナレッジマネジメントを理解し、所属する組織の質保証の課題と方策について考える。 ④ 医療におけるデータの重要性・情報管理について看護管理的側面、倫理的側面、教育的側面から考察する。
授業計画・授業外学修課題	1 サービスの概念と定義 サービスとは 医療サービスとは 授業外事前学修課題：テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業をまとめる。指定された論文を読みクリティークする（90分） 2 医療の質について（Donabedianの定義） 医療の質評価 授業外事前学修課題：テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業をまとめる。英語の論文を読む（90分） 3 看護管理における情報管理 看護における情報管理 授業外事前学修課題：テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業をまとめる。（90分） 4 医療情報の扱いと倫理的問題、看護研究倫理 看護研究倫理（捏造、改ざん、剽窃、オーサiership等） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキストを読む。APAマニュアルを読む。 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 5 医療サービスの評価 医療サービスの評価（論文抄読） 授業外事前学修課題：指定された論文を読んでまとめてくる。テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 6 看護サービスの改善と質保証 看護サービスの改善と質保証（英文論文抄読） 授業外事前学修課題：指定された論文を読み、内容をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 7 看護サービス提供システムと問題解決 看護サービス提供システムと問題解決 授業外事前学修課題：テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 8 DPC分析 DPC分析 授業外事前学修課題：DPCについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：自分の施設のDPCについて調べ考察する（90分） 9 ナレッジマネジメント； 暗黙知と形式知、経営資源としてのナレッジ ナレッジマネジメント

	授業外事前学修課題：ナレッジマネジメントの体験についてまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） ナレッジマネジメント； 看護実践・看護管理の中のナレッジマネジメント ナレッジマネジメント 授業外事前学修課題：文献検討（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 医療安全管理と患者安全 医療安全管理と患者安全 授業外事前学修課題：日本医療機能評価機構のレポートを読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 医療安全のための戦略 教育、ガイドライン、工学的解決、コミュニケーション 授業外事前学修課題：テキストを読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 医療安全管理と患者安全（文献検討） 医療安全管理と患者安全（文献検討） 授業外事前学修課題：文献検討（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 医療安全管理と患者安全（文献検討） 医療安全管理と患者安全（文献検討） 授業外事前学修課題：プレゼンテーション準備をする（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 看護サービス・質保証における課題 看護サービス・質保証における課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間）プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で考えたことをまとめレポートを作成する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	講義形式でなくディスカッションをしながら授業をすすめる 事前に資料を読みプレゼンテーション準備をすることで、課題について深く知ることができ、ディスカッションも深まることが期待できる
課題のフィードバック方法と時期	質疑・討論は授業内で回数や内容を評価する プレゼンテーションや文献検討は、提出したプレゼンテーション資料、授業内での発言、プレゼンテーションを評価する（ループリック評価） レポートは返却し内容のフィードバックをする（ループリック評価）
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：質疑・討論 評価割合：30% 評価基準：授業内での発言内容・発言の数 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：プレゼンテーション・文献検討 評価割合：50% 評価基準：内容が的確であること 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：レポート 評価割合：20% 評価基準：APA形式で書かれていること、内容が的確であること 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 井部俊子（監修），秋山智弥（編）（2022）．看護管理学習テキスト第3版第2巻，看護サービスの質管理．日本看護協会出版会． 参考文献： Avedis Donabedian, 東 尚弘（訳）（2010）．医療の質の定義と評価方法．iHope． 相馬孝博（監訳），上條優子（訳）（2006）．患者安全のシステムを創る－米国JCAHO推奨のノウハウ．医学書院． 大串正樹（2007）．ナレッジマネジメント－創造的な看護管理のための12章．医学書院． DPC点数早見表2024年4月版．医学通信社． American Psychological Association(2019)．Publication Manual of the American Psychological Association: The Official Guide to Apa Style
実務経験のある教員による授業	大学および大学院における看護管理学教育経験14年。認定看護管理者研修講師として13年。職場での管理職経験10年以上。
オフィスアワー・連絡先	e-mail による事前連絡にて日時を調整する 連絡先： e-mail ykamijo@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 年	2 単位	選択
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究科 金井Pak雅子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	看護管理学に必要な、経済・経営、看護政策の知識・理論を学修し、それらの動向を身近な情報として活用し働きかける力を養う。看護経済・経営、保健医療福祉政策に関する概念と動向について学修し、現状の課題を探究する。また、政策が及ぼす健康や看護への影響を把握し、管理者として改善にむけた行動について考察する。
履修目標	① 保健・医療・福祉の主要な法律とその基盤となるシステムについて理解する。 ② 専門職としてより質の高いケアの提供を保証するための政策提言について検討する。 ③ 看護サービスの経済評価について考察する。
授業計画・授業外学修課題	1 政策決定プロセスとロビー活動（上條） 授業外事前学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第1章、第2章を読みまとめ、プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第1章、第2章について考えたことをまとめる（90分） 2 看護職者の政策過程への参画（上條） 授業外事前学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第3章を読みまとめ、プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第3章について考えたことをまとめる。政策提言を考える（90分） 3 看護に関する政策：保健師助産師看護師法の課題、診療報酬における看護職員配置、平均在院日数の短縮（上條） 授業外事前学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第4章を読みまとめ、プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第4章について考えたことをまとめる。文献検討をしながら政策提言を考える（90分） 4 看護に関する政策：看護師等人材確保法と看護教育大学化、卒後研修・特定行為研修。（上條） 授業外事前学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第4章を読みまとめ、プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：「看護職者のための政策過程入門」第4章について考えたことをまとめる。ベッドサイドから政策を変えるための行動について考察する（90分） 5 ヘルスケア提供システム； 医療制度改革と地域包括ケア（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 6 ヘルスケア提供システム； 看護の評価（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む。指定された論文を読みまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 7 医療福祉と経済（金井） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 8 財務管理と看護（金井） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 9 経営分析の手法（金井） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 10 看護における制度・政策（金井） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分）

	11 医療福祉の経営、看護経営の現状（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む。指定された論文をよみプレゼンテーションの準備をする（90分） 12 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 医療福祉の経営、看護経営の現状（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む。指定された論文をよみプレゼンテーションの準備をする（90分） 13 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 看護経済・経営の課題（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 14 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 看護経済・経営の課題（上條） 授業外事前学修課題：看護管理学習テキスト第3版第5巻「経営資源管理論」を読む（90分） 15 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる（90分） 看護経済・経営の課題（上條） 授業外事前学修課題：医療制度改革、地域包括ケアシステム、診療報酬など総合的にまとめ、政府・行政期間に対しての提言を考えプレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：授業で考えたことをまとめる。課題レポートの作成（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	講義形式でなくディスカッションをしながら授業をすすめる 事前に資料を読みプレゼンテーション準備をすることで、課題について深く知ることができ、ディスカッションも深まることが期待できる
課題のフィードバック方法と時期	質疑・討論は授業内で回数や内容を評価する プレゼンテーションや文献検討は、提出したプレゼンテーション資料、授業内での発言、プレゼンテーションを評価する（ループリック評価） レポートは返却し内容のフィードバックをする（ループリック評価）
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：質疑・討論 評価割合：30% 評価基準：授業内での発言回数、討論の内容 履修目標との対応：① ② ③ 評価方法：プレゼンテーション（文献検討のプレゼンテーション含む） 評価割合：40% 評価基準：授業内でのプレゼンテーションの内容（ループリック評価） 履修目標との対応：① ② ③ 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準：レポートの内容（ループリック評価） 履修目標との対応：① ② ③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 井部俊子（監修）. (2023). 看護管理学習テキスト第3版第5巻, 経営資源管理論. 日本看護協会出版会. 見藤隆子ほか. (2017). 看護職者のための政策過程入門. 日本看護協会出版会. 参考書： 福井トシ子 他. (2023). 看護管理者が知っておきたい「様式9」の基礎講座. メディカ出版.
実務経験のある教員による授業	大学および大学院における看護管理学教育経験14年。認定看護管理者研修講師として13年。職場での管理職経験10年以上。
オフィスアワー・連絡先	e-mailによる事前連絡にて日時を調整する 連絡先： ykami.jo@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2 年	8 単位	必修
担当教員			
上條 優子/大学院看護学研究科			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	各専門領域において研究計画書に基づき研究を実施し、その結果を踏まえて修士論文の作成の指導を行う。
履修目標	①各専門領域における研究課題に関する研究計画書に基づいて研究を実施することができる。 ②研究発表会においてプレゼンテーションを行うことができる。 ③修士論文を作成することができる。
授業計画・授業外学修課題	1～4 倫理審査申請後、研究計画に基づいてデータの収集を行う。研究フィールドの開拓 5～6 研究対象者の選択 研究協力依頼の検討 7～10 適切なデータ収集方法の検討 研究データ収集に伴う諸問題の検討および対処方法の検討 11～14 データ収集の実施 15～18 データ収集の実施とデータの分析 19～22 分析結果の検討分析結果を踏まえて文献検討 23～26 文献検討を踏まえて考察を深める 27～30 中間発表会に向けた準備 中間発表会でのプレゼンテーション 31～34 発表会で指摘された課題を確認し、問題解決を行う論文の全体構成の検討 35～39 資料・データの整理 図表作成など論文作成を目指し、指導を受けながら論文を作成させる。 40～45 考察、結論まで一連の研究成果をまとめる。 修士論文の作成 46～48 内容を点検・ブラッシュアップを行い修士論文を作成 49～54 55～60 論文審査、最終試験の準備 修士論文の最終提出
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	修士論文作成の過程において、研究に取り組む姿勢・研究発表内容・論文内容を総合的に評価する。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究テーマにそって適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	指導教員への事前連絡にて日時を調整する。
オフィスアワー・連絡先	

備考	特別研究以外の修了要件の単位が認定されているか、または同時履修中であること。
----	--